

## Ⅵ 保護者(小学1年生・小学5年生・中学2年生)調査(クロス集計)

### 6. 1 就労について

#### (1) 就労状況「母親」

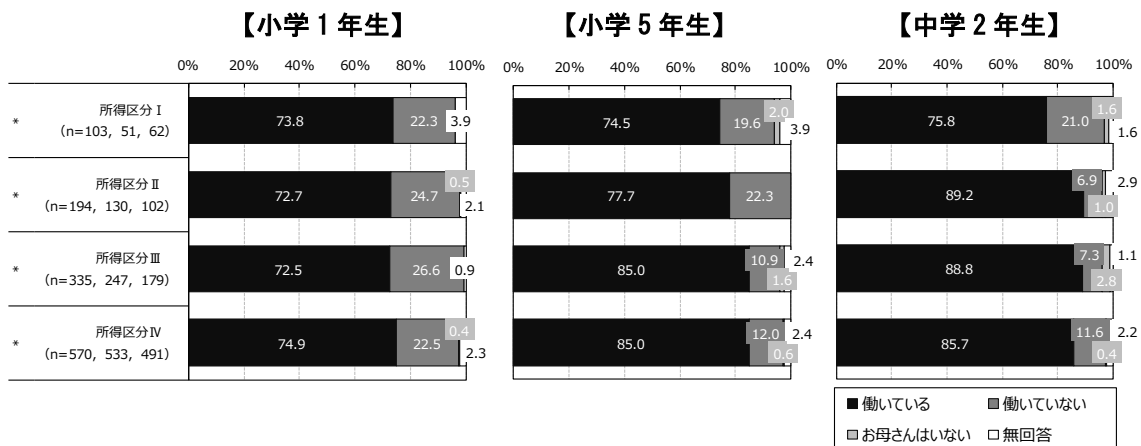
【小学1年生・小学5年生・中学2年生：問5-1】

お子さんのお母さん（またはお母さんに代わる方）は、現在働いていますか。  
あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

#### 《所得区分別》

母親の就労状況については、いずれの学年・所得区分においても「働いている」の割合が最も高くなっています。小1では「働いていない」がいずれの所得区分においても2割以上となっています。

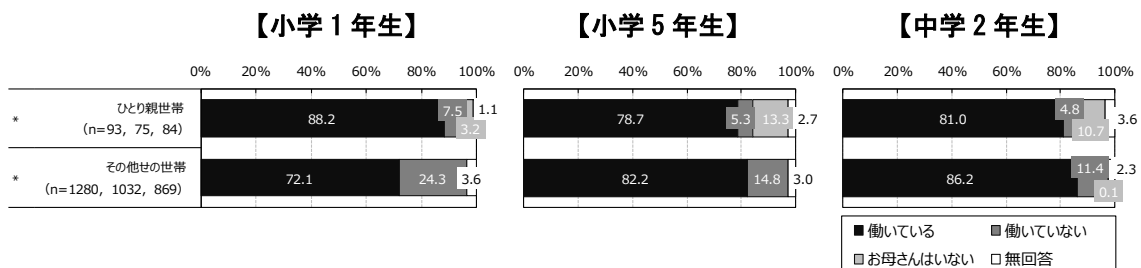
図表 17-1 就労状況「母親」



#### 《世帯別》

母親の就労状況については、いずれの学年・世帯においても「働いている」の割合が最も高くなっており、小1のひとり親世帯が88.2%と最も高くなっています。また、「働いていない」では、小1のその他の世帯が24.3%と最も高くなっています。

図表 17-2 就労状況「母親」



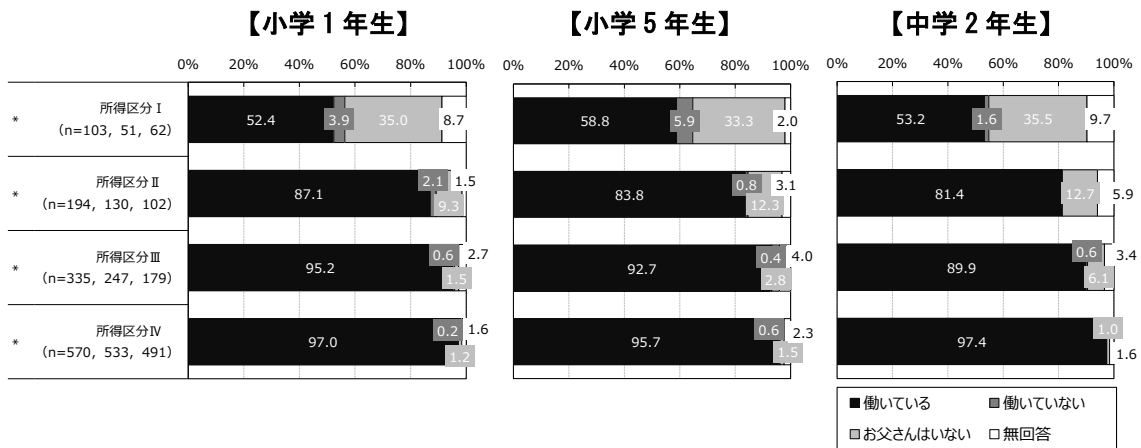
(2) 就労状況「父親」

【小学1年生・小学5年生・中学2年生：問7-1】  
 お子さんのお父さん（またはお父さんに代わる方）は、現在働いていますか。  
 あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

《所得区分別》

父親の就労状況については、所得区分Ⅰを除く、いずれの学年・所得区分においても「働いている」が大半を占めています。一方、所得区分Ⅰではいずれの学年においても「働いている」お父さんは約半数となっており、「お父さんはいない」子の割合は、3割以上となっています。また、所得区分Ⅳでは「働いている」お父さんの割合は、いずれの学年においても9割以上となっています。

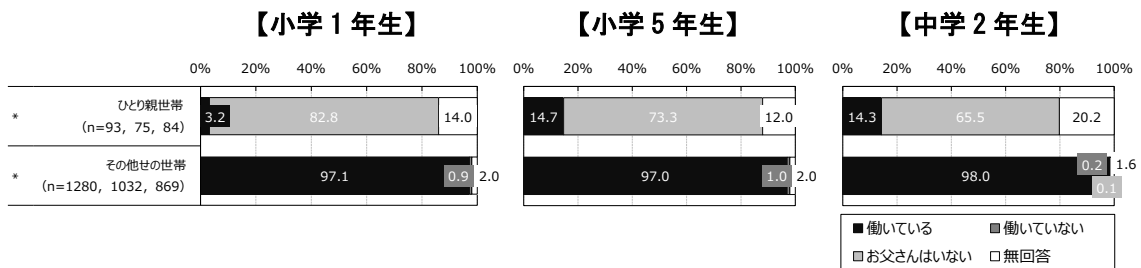
図表 18-1 就労状況「父親」



《世帯別》

父親の就労状況については、いずれの学年においても、その他の世帯では「働いている」が9割以上となっており、大半を占めています。一方、ひとり親世帯ではいずれの学年においても「お父さんはいない」の割合が高くなっています。

図表 18-2 就労状況「父親」



## 6.2 お子さんのことについて

### (1) ひらがな

【小学1年生のみ：問9-1】

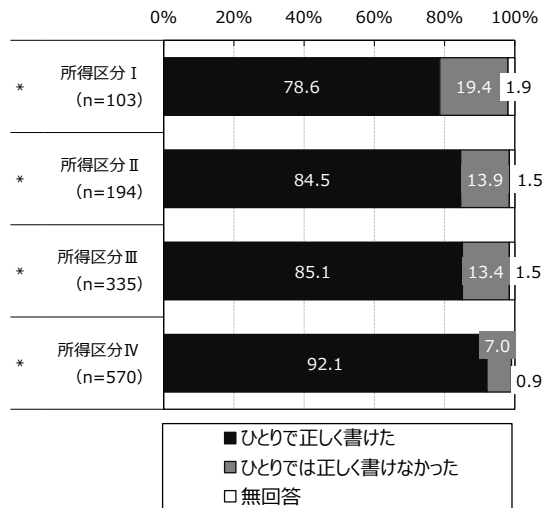
あなたのお子さんは小学校入学の時点で、自分の名前をひらがなで書けましたか。  
あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

#### 《所得区分別》

小学校入学の時点で、自分の名前をひらがなで書けたかについては、「ひとりで正しく書けた」が大半を占めており、所得が上がるにつれて、割合が高くなっています。一方「ひとりで正しく書けなかった」では、所得が上がるにつれて、割合が低くなっています。

図表 19-1 ひらがな

【小学1年生】

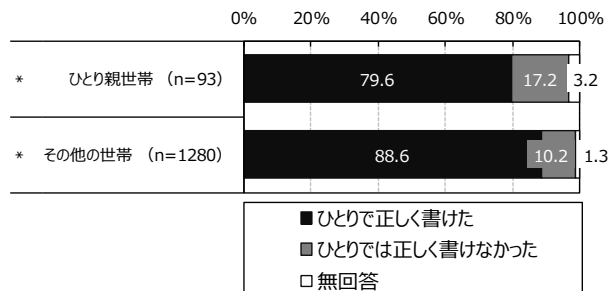


#### 《世帯別》

小学校入学の時点で、自分の名前をひらがなで書けたかについては、いずれの世帯においても「ひとりで正しく書けた」が大半を占めています。ひとり親世帯に比べて、その他の世帯では9ポイント高くなっています。

図表 19-1 ひらがな

【小学1年生】



(2) ひらがなについて (現在)

【小学1年生のみ：問9-2】

※問9-1で「2」と回答した方に伺います。

現在、あなたのお子さんは、自分の名前をひらがなで書けるようになりましたか。  
あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

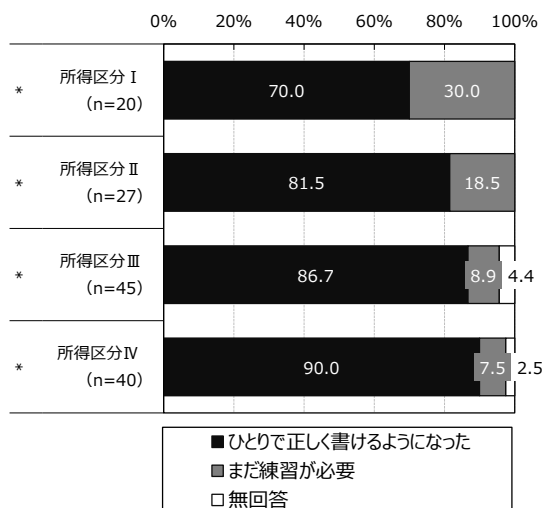
※問9-1で「ひとりでは正しく書けなかった」と回答した方のみ

《所得区分別》

現在、自分の名前をひらがなで書けるようになったかについては、「ひとりで正しく書けるようになった」が大半を占めており、所得が上がるにつれて、割合が高くなっています。一方「まだ練習が必要」では、所得区分Ⅰが3割となっており、所得が上がるにつれて、割合は低くなっています。

図表 20-1 ひらがな (現在)

【小学1年生】

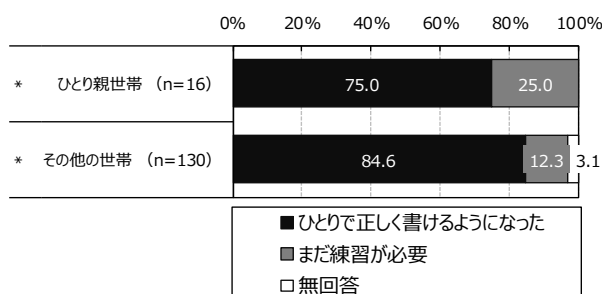


《世帯別》

現在、自分の名前をひらがなで書けるようになったかについては、「ひとりで正しく書けるようになった」でひとり親世帯が7割以上、その他の世帯が8割以上となっています。「まだ練習が必要」では、ひとり親世帯がその他の世帯よりも12.7ポイント高くなっています。

図表 20-2 ひらがな (現在)

【小学1年生】



(3) これまでの子育ての中で、あたり思ったりしたこと

【小学1年生のみ：問11】

これまでの育児について思っていることをお聞かせください。  
 これまでの子育ての中でA～Iのようなことがあたり、思ったりしたことは  
 ありますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

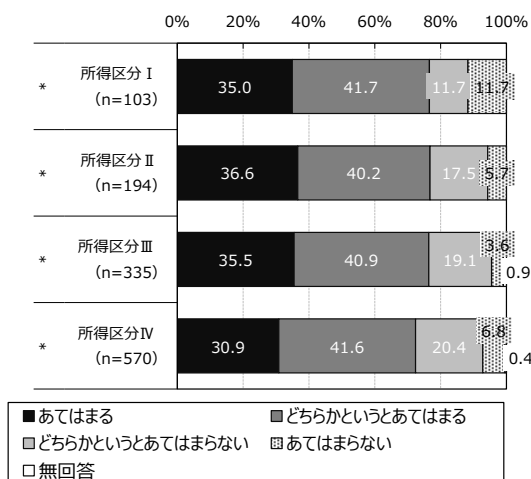
(3-1) A ついつい子どもにあたってしまった

《所得区分別》

ついつい子どもにあたってしまったについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、いずれの所得区分においても7割以上となっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの所得区分においても2割以上となっています。

図表 21-1 A ついつい子どもにあたってしまった

【小学1年生】

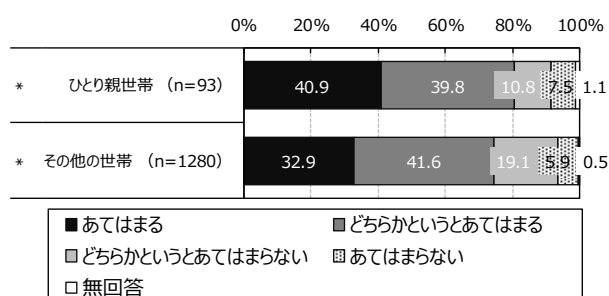


《世帯別》

ついつい子どもにあたってしまったについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）が、ひとり親世帯では80.7%となっており、その他の世帯よりも6.2ポイント高くなっています。「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、その他の世帯がひとり親世帯よりも6.7ポイント高く、25.0%となっています。

図表 21-2 A ついつい子どもにあたってしまった

【小学1年生】

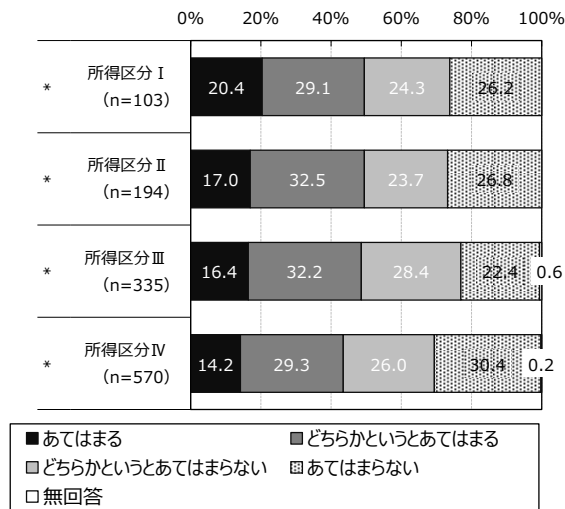


### (3-2) B ついつい子どもを叩いてしまった

#### 《所得区分別》

ついつい子どもを叩いてしまったについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、いずれの所得区分においても4割以上となっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの所得区分においても半数以上となっています。

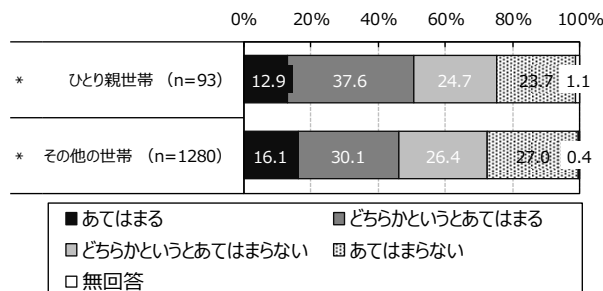
図表 21-3 B ついつい子どもを叩いてしまった  
【小学1年生】



#### 《世帯別》

ついつい子どもを叩いてしまったについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）が、ひとり親世帯では50.5%となっており、半数を超えています。一方、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、その他の世帯が53.4%となっており、半数を超えています。

図表 21-4 B ついつい子どもを叩いてしまった  
【小学1年生】

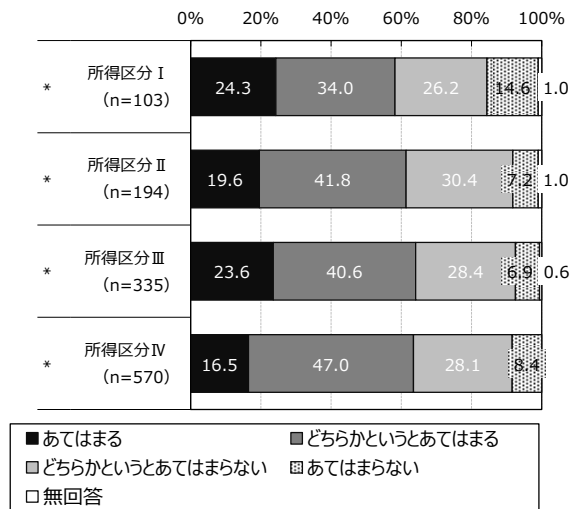


(3-3) C しつけのため、よく厳しく叱った

《所得区分別》

しつけのため、よく厳しく叱ったについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらか」というとあてはまる）」の割合が、いずれの所得区分においても半数以上となっています。また、「あてはまらない」（「どちらか」というとあてはまらない」＋「あてはまらない）」では、いずれの所得区分においても3割以上となっており、所得区分Ⅰでは4割を超えています。

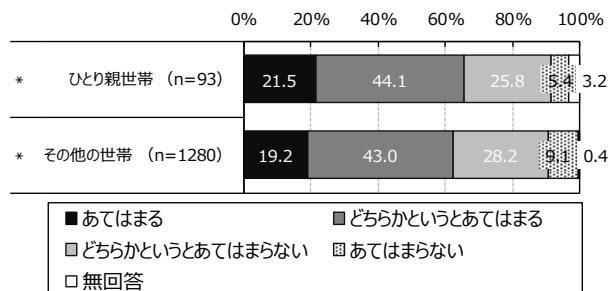
図表 21-5 C しつけのため、よく厳しく叱った  
【小学1年生】



《世帯別》

しつけのため、よく厳しく叱ったについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらか」というとあてはまる）」の割合が、いずれの世帯においても6割以上となっています。また、「あてはまらない」（「どちらか」というとあてはまらない」＋「あてはまらない）」では、いずれの世帯においても3割以上となっており、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が、6.1ポイント高くなっています。

図表 21-6 C しつけのため、よく厳しく叱った  
【小学1年生】

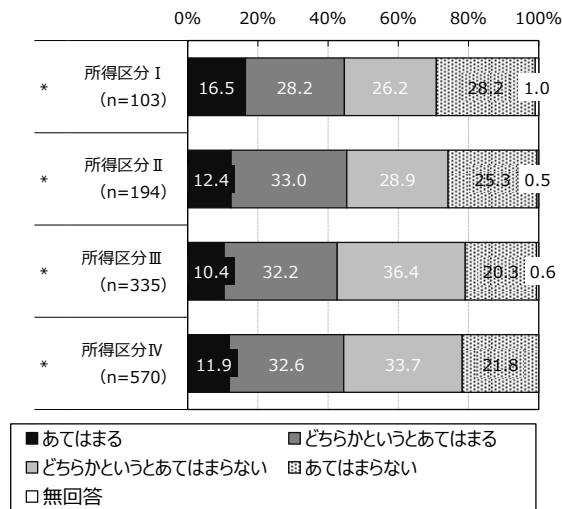


### (3-4) D 子どもがわずらわしくてイライラした

#### 《所得区分別》

子どもがわずらわしくてイライラしたについては、「あてはまる」(「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」)の割合が、いずれの所得区分においても4割以上となっています。また、「あてはまらない」(「どちらかというにあてはまらない」+「あてはまらない」)では、いずれの所得区分においても半数以上となっています。

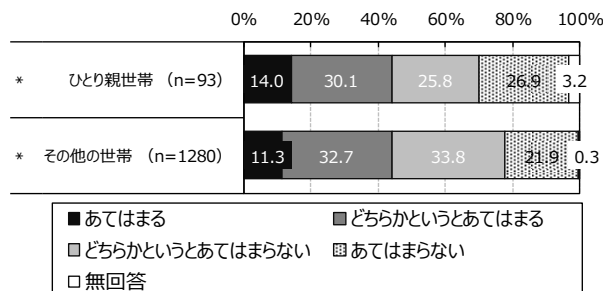
図表 21-7 D 子どもがわずらわしくてイライラした  
【小学1年生】



#### 《世帯別》

子どもがわずらわしくてイライラしたについては、「あてはまる」(「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」)の割合が、いずれの世帯においても4割以上となっています。また、「あてはまらない」(「どちらかというにあてはまらない」+「あてはまらない」)では、いずれの世帯においても半数以上となっています。

図表 21-8 D 子どもがわずらわしくてイライラした  
【小学1年生】



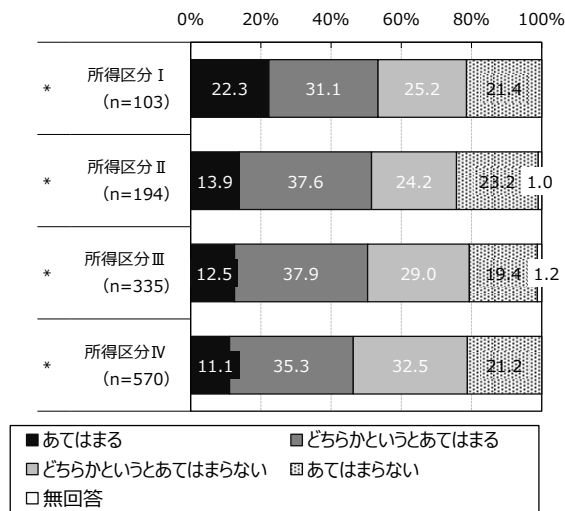


(3-5) E 毎日毎日同じことの繰り返ししかしていない

《所得区分別》

毎日毎日同じことの繰り返ししかしていないについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、所得区分Ⅳを除く、いずれの所得区分においても半数以上となっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの所得区分においても4割以上となっており、所得区分Ⅳでは53.7%と最も高くなっています。

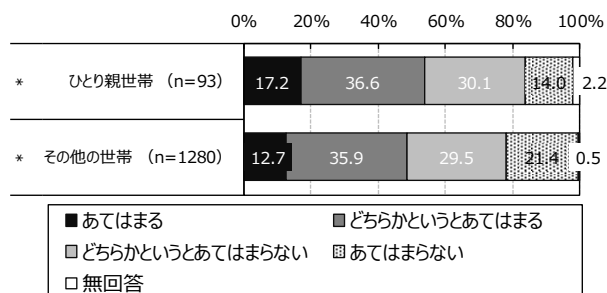
図表 21-9 E 毎日毎日同じことの繰り返ししかしていない  
【小学1年生】



《世帯別》

毎日毎日同じことの繰り返ししかしていないについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）が、ひとり親世帯では53.8%となっており、その他の世帯よりも5.2ポイント高くなっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、その他の世帯で50.9%となっており、ひとり親世帯に比べて6.8ポイント高くなっています。

図表 21-10 E 毎日毎日同じことの繰り返ししかしていない  
【小学1年生】

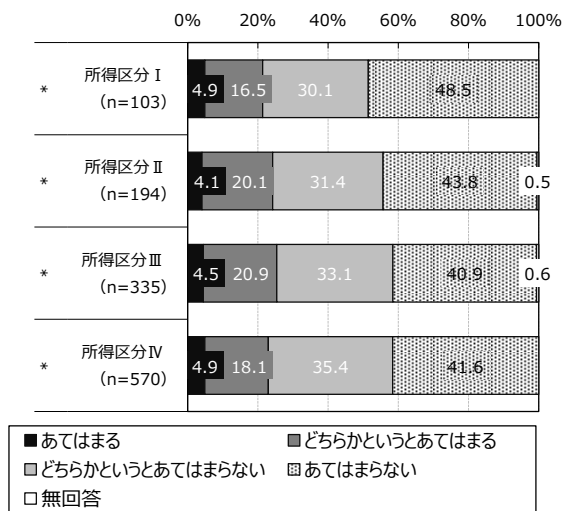


(3-6) F 育児から解放されたい

《所得区分別》

育児から解放されたいについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、いずれの所得区分においても2割以上となっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの所得区分においても7割以上となっています。

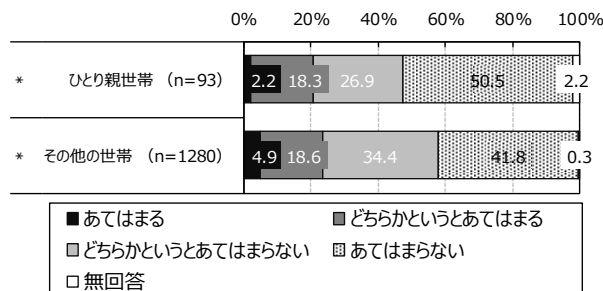
図表 21-11 F 育児から解放されたい  
【小学1年生】



《世帯別》

育児から解放されたいについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、いずれの世帯においても2割以上となっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの世帯においても7割以上となっています。

図表 21-12 F 育児から解放されたい  
【小学1年生】



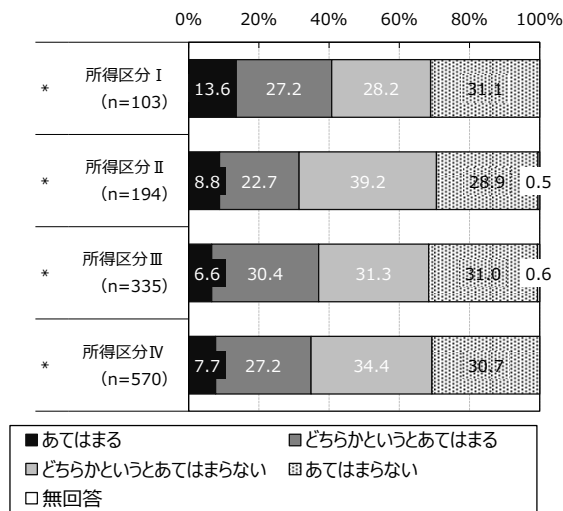
(3-7) G 子どもを育てるために我慢している

《所得区分別》

子どもを育てるために我慢しているについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、いずれの所得区分においても3割以上となっており、所得区分Ⅰが40.8%と最も高くなっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの所得区分においても5割以上となっており、所得区分Ⅱでは68.1%と最も高くなっています。

図表 21-13 G 子どもを育てるために我慢している

【小学1年生】

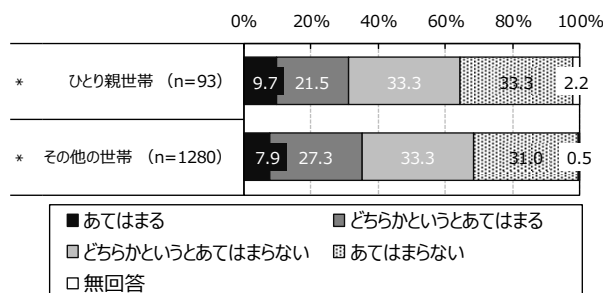


《世帯別》

子どもを育てるために我慢しているについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、いずれの世帯においても3割以上となっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの世帯においても6割以上となっています。

図表 21-14 G 子どもを育てるために我慢している

【小学1年生】



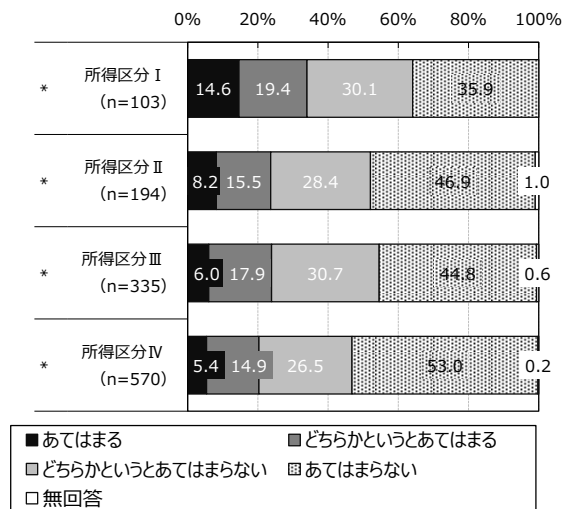
(3-8) H 自分一人で育てているという圧迫感を感じる

《所得区分別》

自分一人で育てているという圧迫感を感じるについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、いずれの所得区分においても2割以上となっており、所得区分Ⅰでは34.0%と最も高くなっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの所得区分においても6割以上となっており、所得区分Ⅳでは79.5%と最も高くなっています。

図表 21-15 H 自分一人で育てているという圧迫感を感じる

【小学1年生】

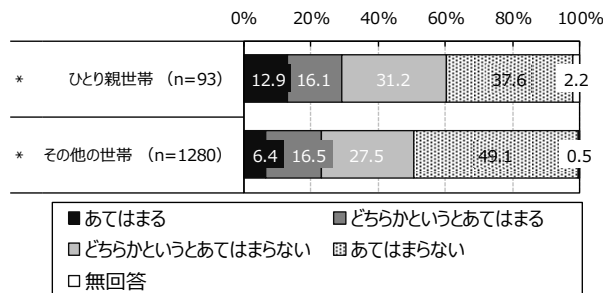


《世帯別》

自分一人で育てているという圧迫感を感じるについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、いずれの世帯においても2割以上となっており、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が6.1ポイント高く、29.0%となっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの世帯においても6割以上となっており、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が7.8ポイント高く、76.6%となっています。

図表 21-16 H 自分一人で育てているという圧迫感を感じる

【小学1年生】

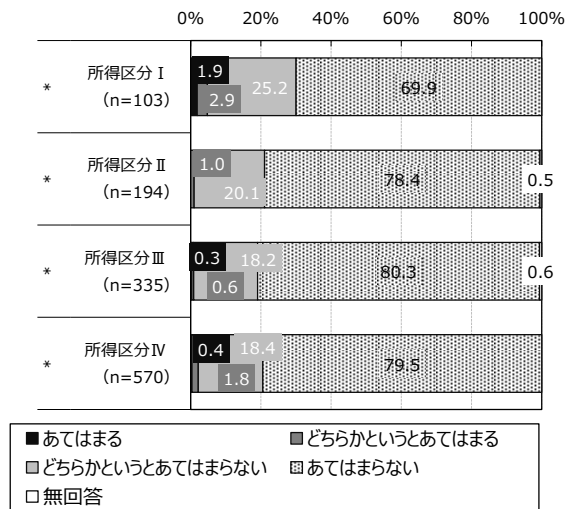


(3-9) I 子どもの世話にはあまり関心がない

《所得区分別》

子どもの世話にはあまり関心がないについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、いずれの所得区分においても1割未満となっています。「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの所得区分においても9割以上となっており、大半を占めています。

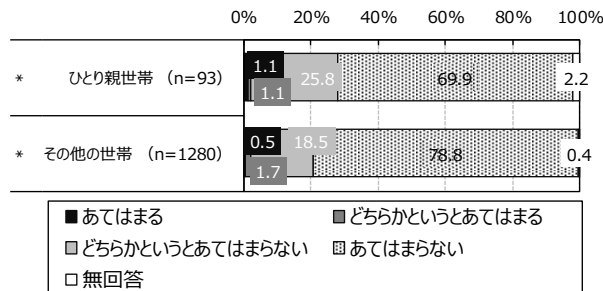
図表 21-17 I 子どもの世話にはあまり関心がない  
【小学1年生】



《世帯別》

子どもの世話にはあまり関心がないについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、いずれの世帯においても1割未満となっています。「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの世帯においても9割以上となっており、大半を占めています。

図表 21-18 I 子どもの世話にはあまり関心がない  
【小学1年生】



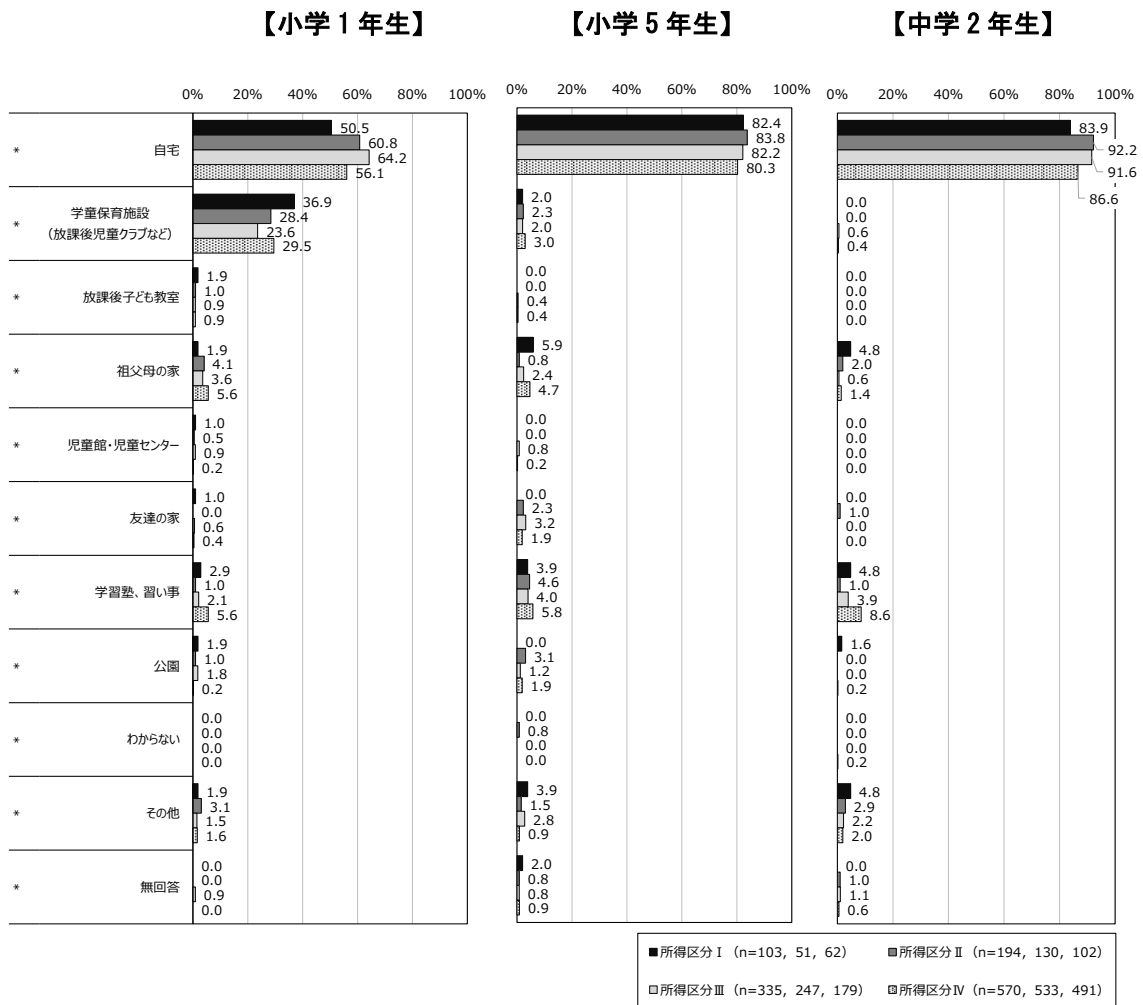
(4) 子どもが放課後の時間を過ごす場所

【小学1年生：問12-1：小学5年生・中学2年生：問9】  
 お子さんは、現在、学校が終わってからの放課後の時間を、主にどこで過ごしていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

《所得区分別》

子どもが放課後の時間を過ごす場所については、小5・中2のいずれの所得区分においても「自宅」が8割以上となっており、大半を占めています。小1では、いずれの所得区分においても「自宅」が半数以上となっており、次いで「学童保育施設(放課後児童クラブなど)」が2割以上となっています。

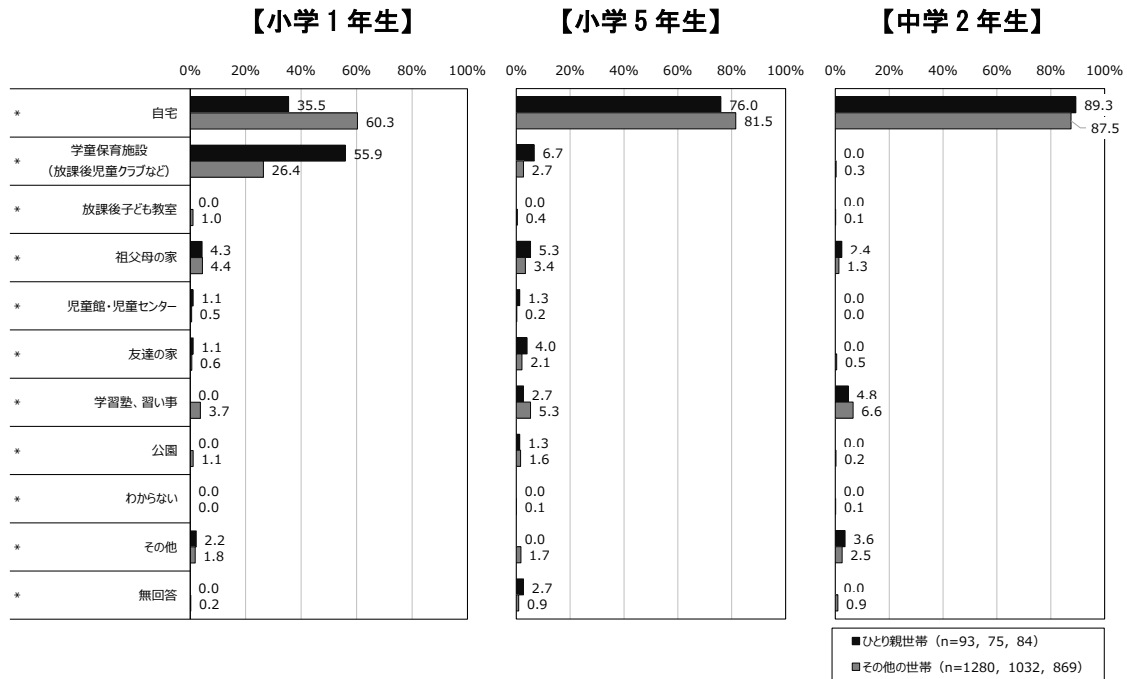
図表 22-1 子どもが放課後の時間を過ごす場所



《世帯別》

子どもが放課後の時間を過ごす場所については、いずれの学年・世帯においても「自宅」の割合が高くなっており、大半を占めています。小1は、その他の世帯では「自宅」が60.3%となっており、ひとり親世帯よりも24.8ポイント高くなっています。一方、ひとり親世帯では「学童保育施設（放課後児童クラブなど）」が55.9%と、その他の世帯よりも29.5ポイント高くなっています。

図表 22-2 子どもが放課後の時間を過ごす場所



(5) 学童保育施設の1ヶ月の利用料

【小学1年生のみ：問12-2】

※問12-1で「2」と答えた方にお伺いします。

現在利用している学童保育施設のおおよその1ヶ月の利用料を教えてください。

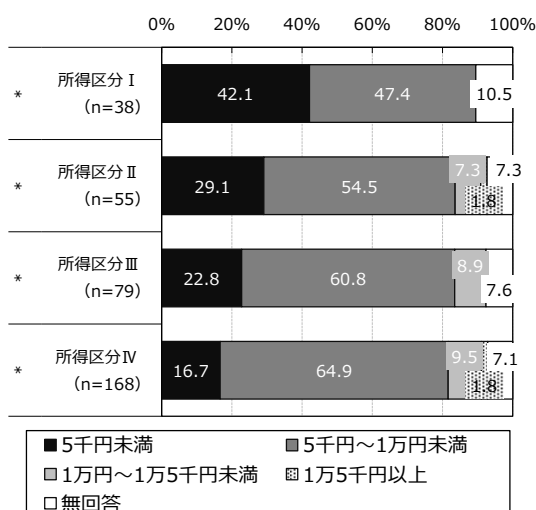
※小学1年生の問12-1で「放課後児童クラブ（学童保育）」と回答した方のみ

《所得区分別》

学童保育施設の1ヶ月の利用料については、いずれの所得区分においても「5千円～1万円未満」が最も高くなっています。「5千円未満」では、所得が低いほど、高くなっており、所得区分Ⅰが42.1%と最も高くなっています。「1万円～1万5千円未満」と「1万5千円以上」では、いずれの所得区分においても1割未満となっています。

図表 23-1 学童保育施設の1ヶ月の利用料

【小学1年生】

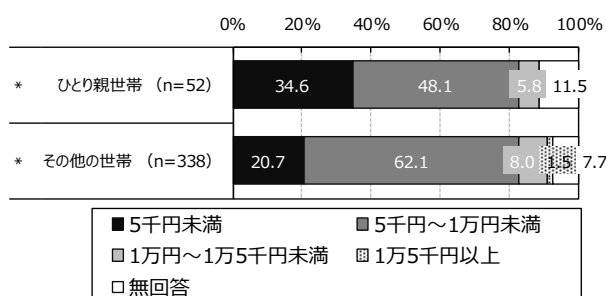


《世帯別》

学童保育施設の1ヶ月の利用料については、いずれの世帯においても「5千円～1万円未満」が最も高くなっています。「5千円未満」では、ひとり親世帯が34.6%と、その他の世帯よりも13.9ポイント高くなっています。「1万円～1万5千円未満」と「1万5千円以上」では、いずれの世帯においても1割未満となっています。

図表 23-2 学童保育施設の1ヶ月の利用料

【小学1年生】





(6) 子どもが放課後誰と過ごすことが多いか

【小学5年生・中学2年生のみ：問10】

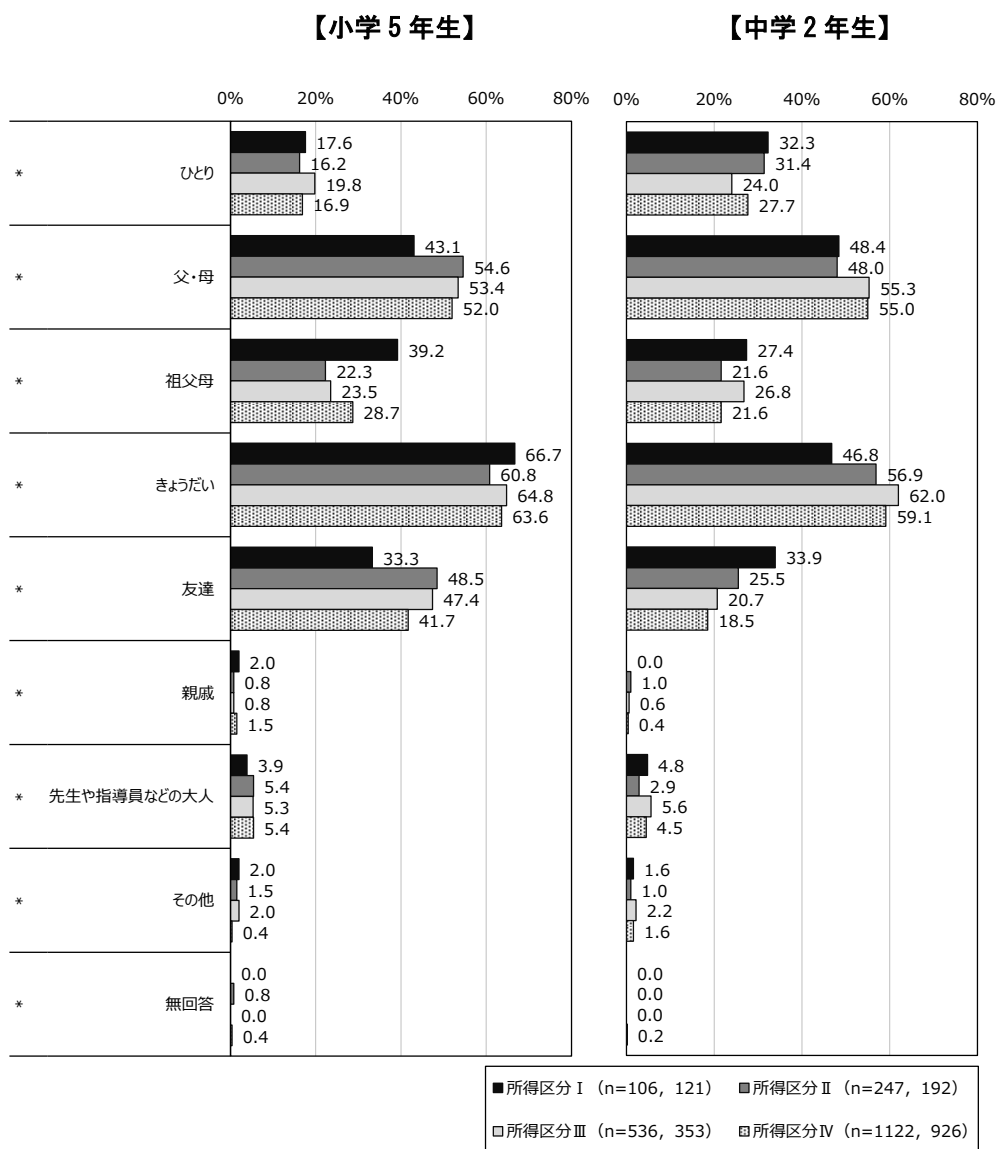
お子さんは、放課後、誰と過ごすことが多いですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも) ※複数回答

《所得区分別》

子どもが放課後誰と過ごすことが多いかについては、小5ではいずれの所得区分においても「きょうだい」が最も高く、次いで「父・母」となっています。所得区分Iでは「祖母」が高く、他の所得区分では「友達」が高くなっています。中2では所得区分Iでは、「父・母」が最も高く、他の所得区分では「きょうだい」が最も高くなっています。次いで、所得区分Iでは「きょうだい」、他の所得区分では「父・母」となっています。

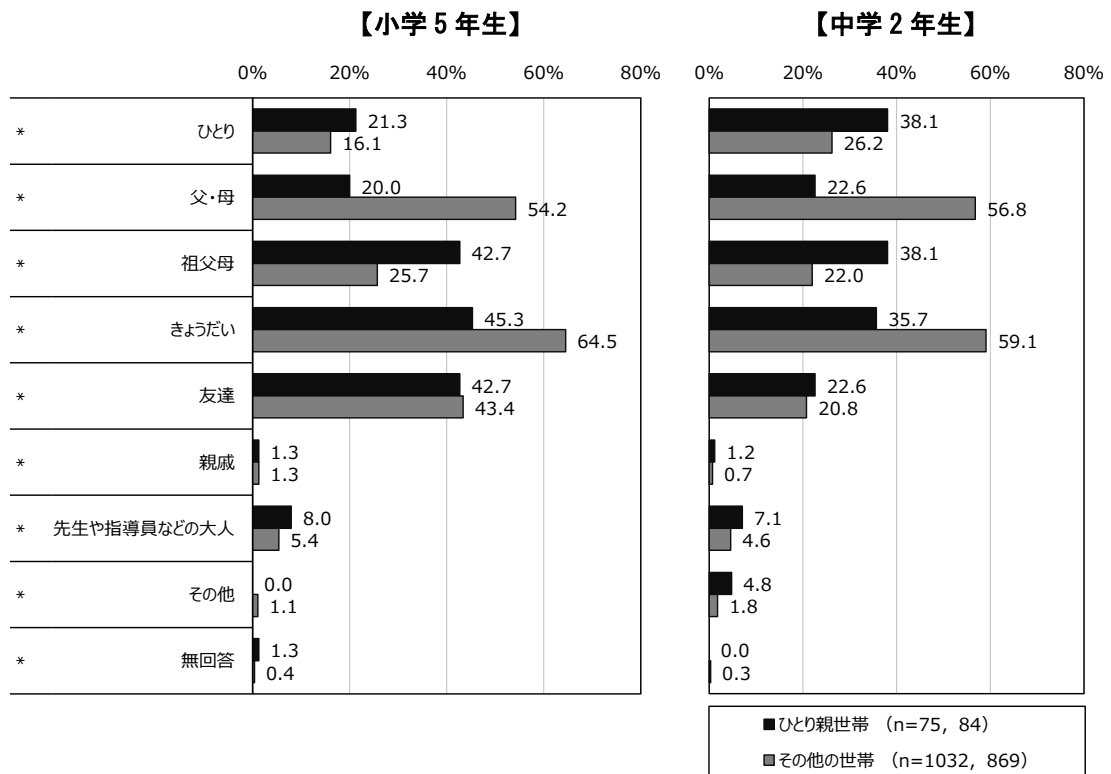
図表 24-1 子どもが放課後誰と過ごすことが多いか



《世帯別》

子どもが放課後誰と過ごすことが多いかについては、小5ではいずれの世帯においても「きょうだい」が最も高くなっていますが、その他の世帯が、ひとり親世帯に比べて19.2ポイント高くなっています。次いで、その他の世帯では「父・母」が高く、ひとり親世帯では、「祖父母」、「友達」（ともに42.7%）が高くなっています。中2では、その他の世帯では「きょうだい」が最も高く、次いで「父・母」となっています。ひとり親世帯では、「ひとり」、「祖父母」（ともに38.1%）が最も高くなっています。

図表 24-2 子どもが放課後誰と過ごすことが多いか



(7) 子ども用のもの

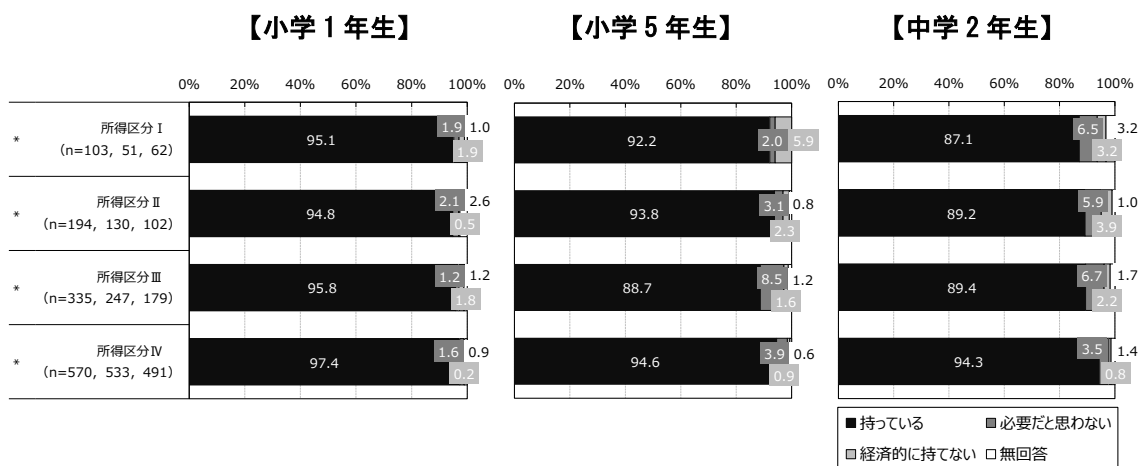
【小学1年生：問14、小学5年生・中学2年生：問11】  
 あなたのご家庭ではお子さん用の次のものをお持ちですか。  
 A～Kについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

(7-1) A 子どもの本

《所得区分別》

子どもの本については、いずれの学年・所得区分においても「持っている」が8割以上となっており、大半を占めています。小1では、いずれの所得区分においても9割以上となっています。

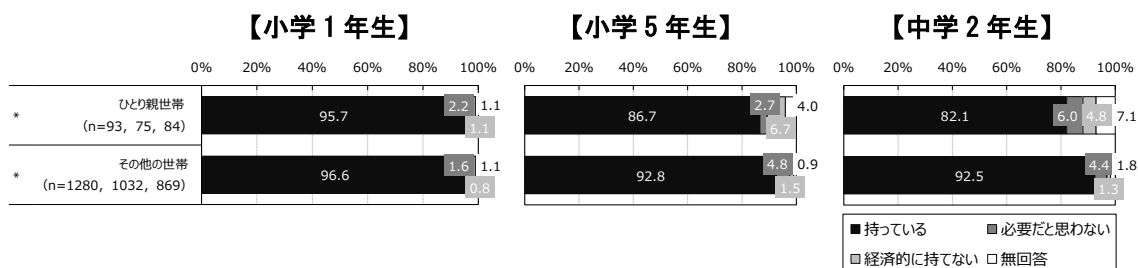
図表 25-1 A 子どもの本



《世帯別》

子どもの本については、いずれの学年・世帯においても「持っている」が8割以上となっており、大半を占めています。「必要だと思わない」、「経済的に持てない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 25-2 A 子どもの本

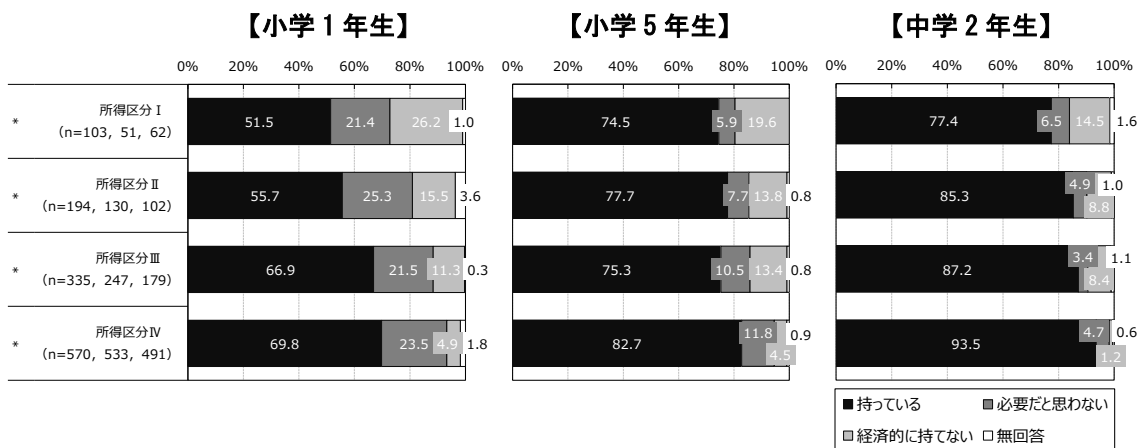


(7-2) B 子ども部屋

《所得区分別》

子ども部屋については、いずれの学年・所得区分においても「持っている」が半数以上となっており、所得区分が上がるにつれて「持っている」の割合が高くなる傾向があります。中2の所得区分Ⅳでは「持っている」の割合が9割以上となっています。また、小1では「必要だと思わない」が、いずれの所得区分においても2割以上となっています。「経済的に持てない」は、所得が低いほど割合が高くなっています。

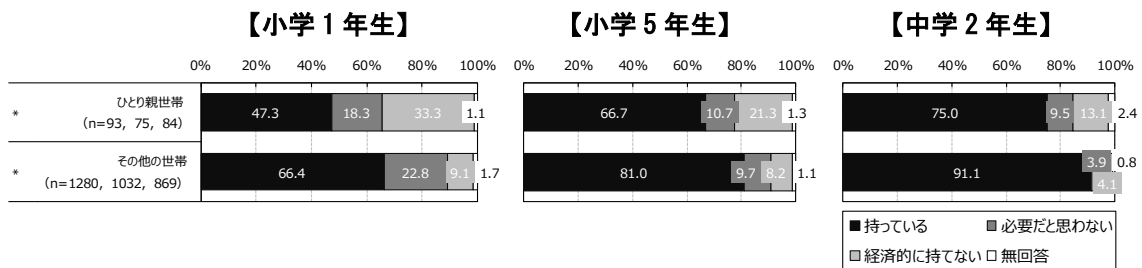
図表 25-3 B 子ども部屋



《世帯別》

子ども部屋については、小1のひとり親世帯を除く、いずれの世帯においても「持っている」が6割以上となっています。また、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が「持っている」の割合が高くなっています。

図表 25-4 B 子ども部屋

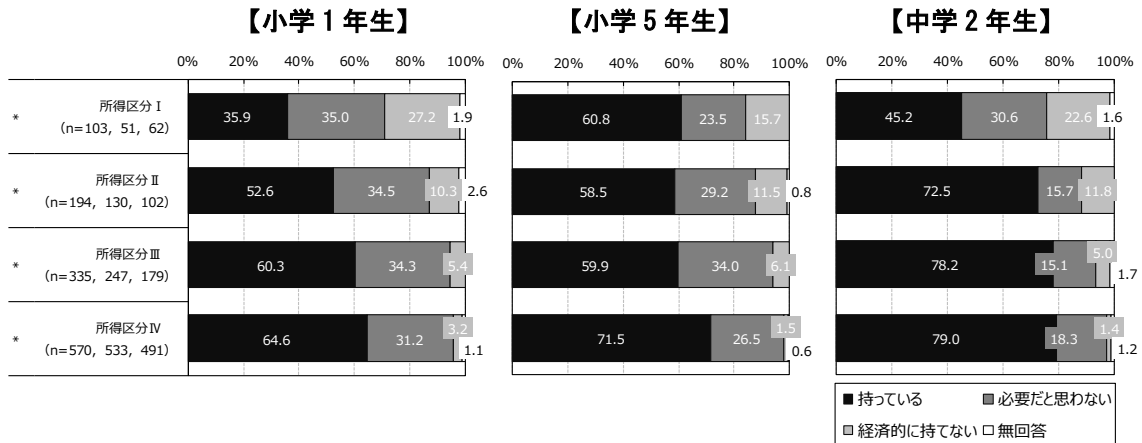


### (7-3) C インターネットにつながるパソコン

#### 《所得区分別》

インターネットにつながるパソコンについては、いずれの学年においても、全体的に所得が上がるにつれて「持っている」の割合が高くなる傾向があります。「必要だと思わない」では、小1の所得区分Ⅰが35.0%と高くなっています。「経済的に持てない」では、所得が低いほど割合が高くなっています。

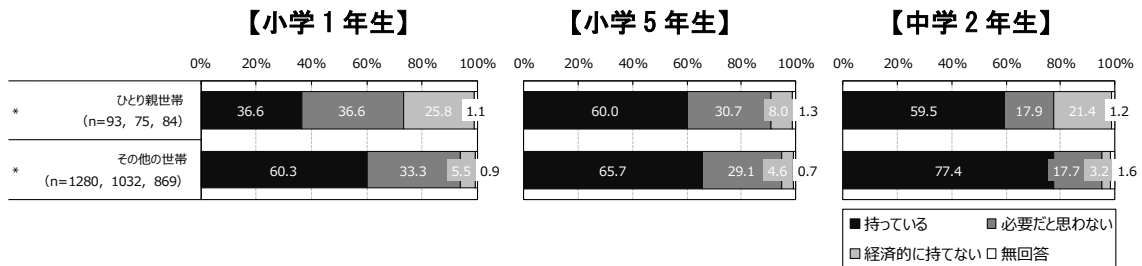
図表 25-5 C インターネットにつながるパソコン



#### 《世帯別》

インターネットにつながるパソコンについては、小1のひとり親世帯を除く、いずれの世帯においても「持っている」が半数以上となっており、中2のその他の世帯では、77.4%と最も高くなっています。「必要だと思わない」では、小1のひとり親世帯で36.6%と最も高くなっています。「経済的に持てない」では、ひとり親世帯の方の割合が高くなっています。

図表 25-6 C インターネットにつながるパソコン

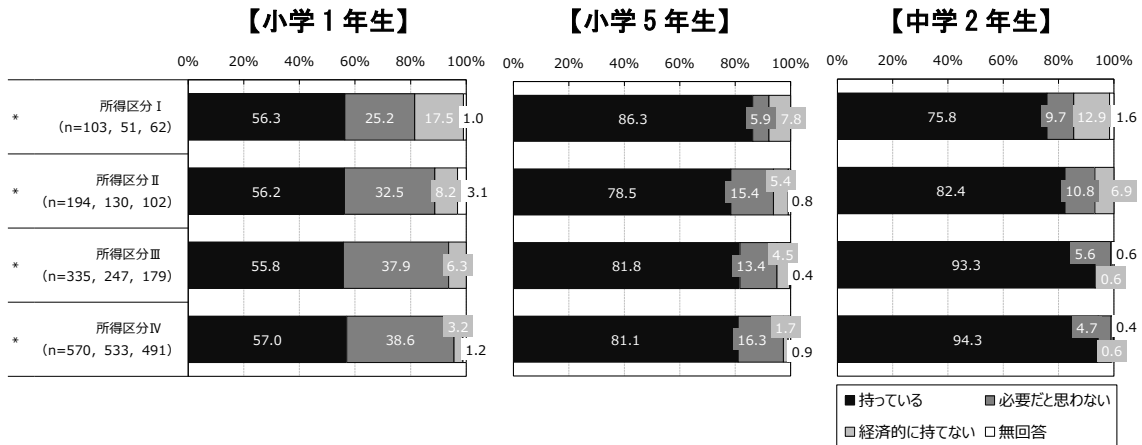


(7-4) D 子ども専用の勉強机

《所得区分別》

子ども専用の勉強机については、小1では、いずれの学年・所得区分においても「持っている」の割合が約半数となっており、「必要だと思わない」の割合が高くなっています。小5・中2では、いずれの所得区分においても「持っている」の割合が大半を占めています。「経済的に持てない」では、所得が低いほど割合が高くなっています。

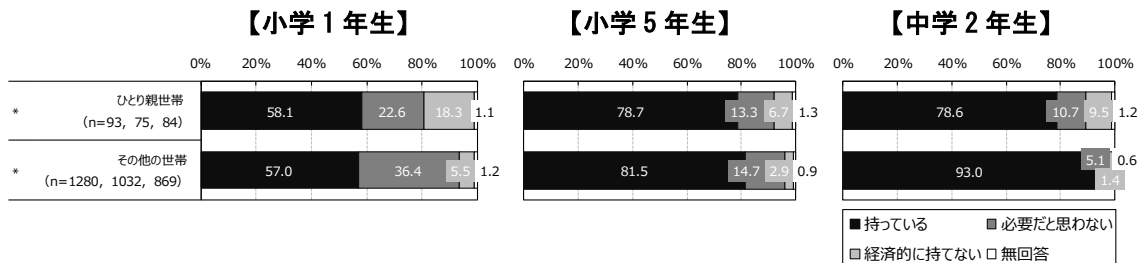
図表 25-7 D 子ども専用の勉強机



《世帯別》

子ども専用の勉強机については、小1では、いずれの学年・世帯においても「持っている」が半数以上となっており、「必要だと思わない」の割合が高くなっています。小5・中2では、いずれの世帯においても「持っている」の割合が大半を占めており、中2のその他の世帯では93.0%と最も高くなっています。「必要だと思わない」では、小1のその他の世帯が36.4%と最も高くなっています。「経済的に持てない」では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっており、小1が18.3%と最も高くなっています。

図表 25-8 D 子ども専用の勉強机

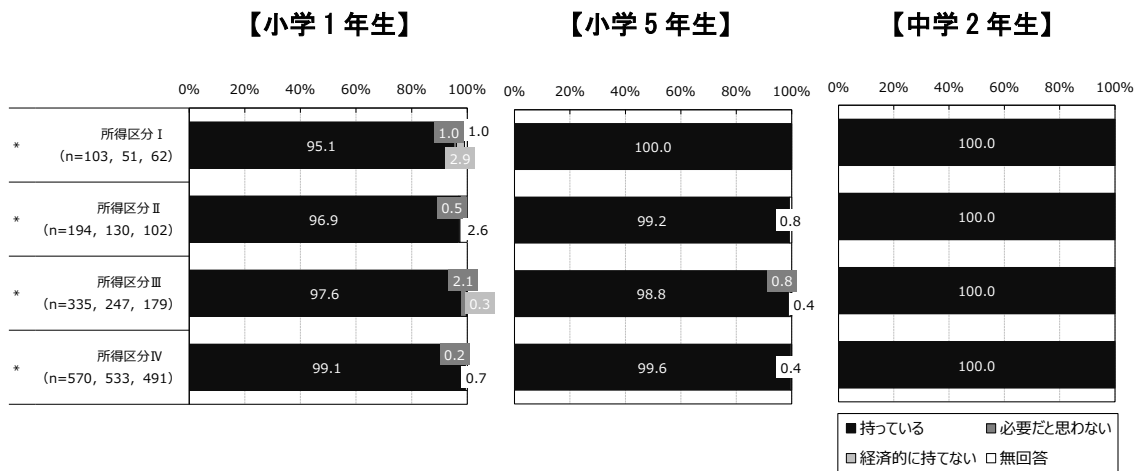


(7-5) E そのお子さん専用の文房具

《所得区分別》

そのお子さん専用の文房具については、いずれの学年・所得区分においても「持っている」が9割以上となっており、大半を占めています。小5の所得区分Ⅰと、中2のいずれの所得区分においても「持っている」が100%となっています。

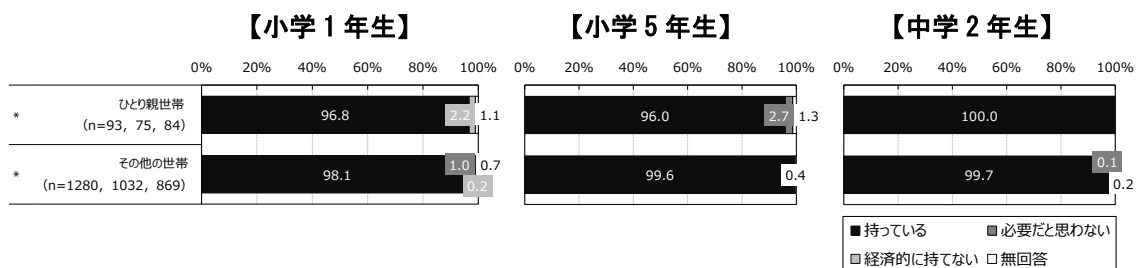
図表 25-9 E そのお子さん専用の文房具



《世帯別》

そのお子さん専用の文房具については、いずれの学年・世帯においても「持っている」が9割以上と、大半を占めています。「必要だと思わない」、「経済的に持てない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 25-10 E そのお子さん専用の文房具

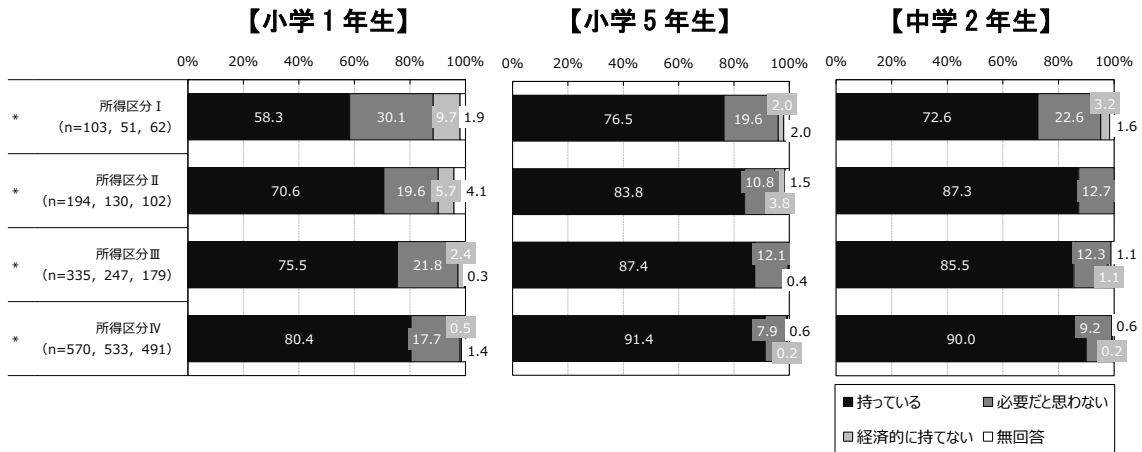


(7-6) F スポーツ用品

《所得区分別》

スポーツ用品については、所得が上がるにつれて「持っている」の割合が高くなる傾向があり、小5と中2の所得区分Ⅳでは9割以上が所持しています。「必要だと思わない」では、所得が低いほど高くなる傾向があり、「経済的に持てない」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

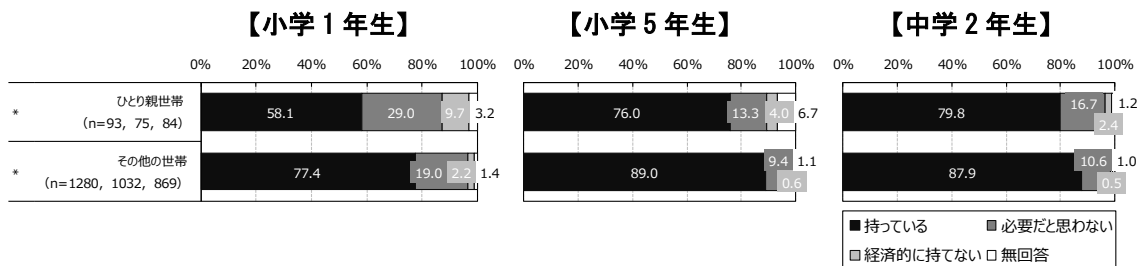
図表 25-11 F スポーツ用品



《世帯別》

スポーツ用品については、いずれの学年においても、その他の世帯で「持っている」の割合が高くなっており、小5のその他の世帯が89.0%と最も高くなっています。「必要だと思わない」では、いずれの学年においても、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっています。「経済的に持てない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 25-12 F スポーツ用品



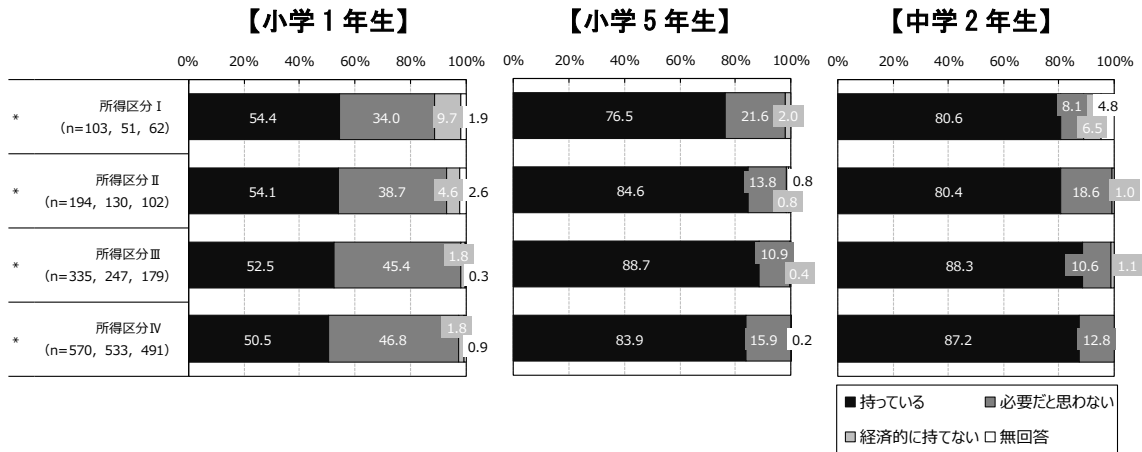


## (7-7) G ゲーム機

### 《所得区分別》

ゲーム機については、小1では、いずれの所得区分においても「持っている」の割合が約半数となっており「必要だと思わない」の割合も高くなっています。小5と中2では、いずれの所得区分においても「持っている」が大半を占めています。「経済的に持てない」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

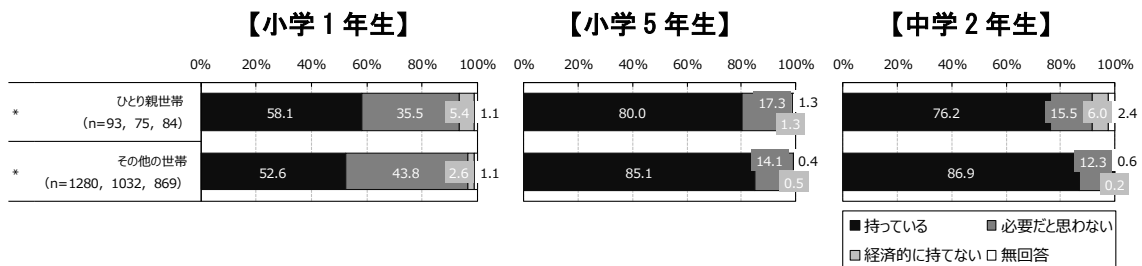
図表 25-13 G ゲーム機



### 《世帯別》

ゲーム機については、小1では、いずれの世帯においても「持っている」が半数以上となっており「必要だと思わない」の割合も高くなっています。小5と中2では、いずれの世帯においても「持っている」が大半を占めており、中2のその他の世帯が86.9%と最も高くなっています。「経済的に持てない」では、いずれの世帯においても1割未満となっています。

図表 25-14 G ゲーム機

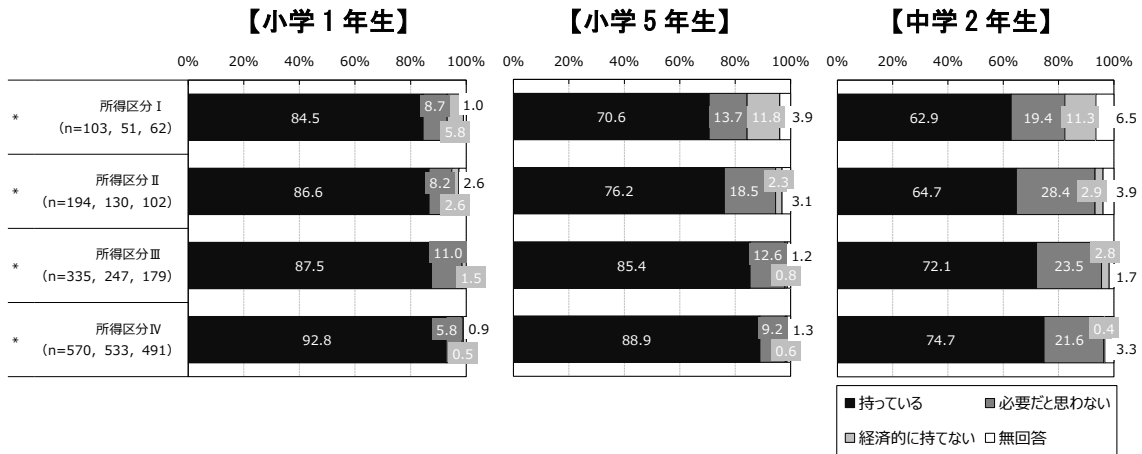


(7-8) H 多くの子どもが持っているおもちゃ

《所得区分別》

多くの子どもが持っているおもちゃについては、いずれの学年・所得区分においても「持っている」の割合が高くなっており、小1の所得区分Ⅳが92.8%と最も高くなっています。「経済的に持てない」では、小5と中2の所得区分Ⅰで1割以上となっています。

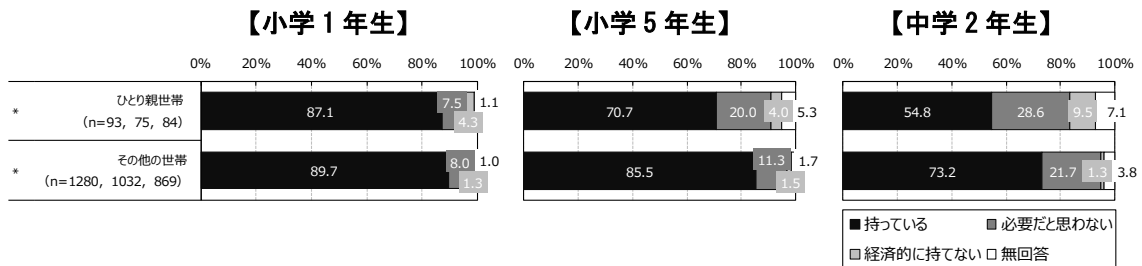
図表 25-15 H 多くの子どもが持っているおもちゃ



《世帯別》

多くの子どもが持っているおもちゃについては、いずれの学年・世帯においても「持っている」の割合が高くなっており、小1のその他の世帯が89.7%と最も高くなっています。「経済的に持てない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 25-16 H 多くの子どもが持っているおもちゃ

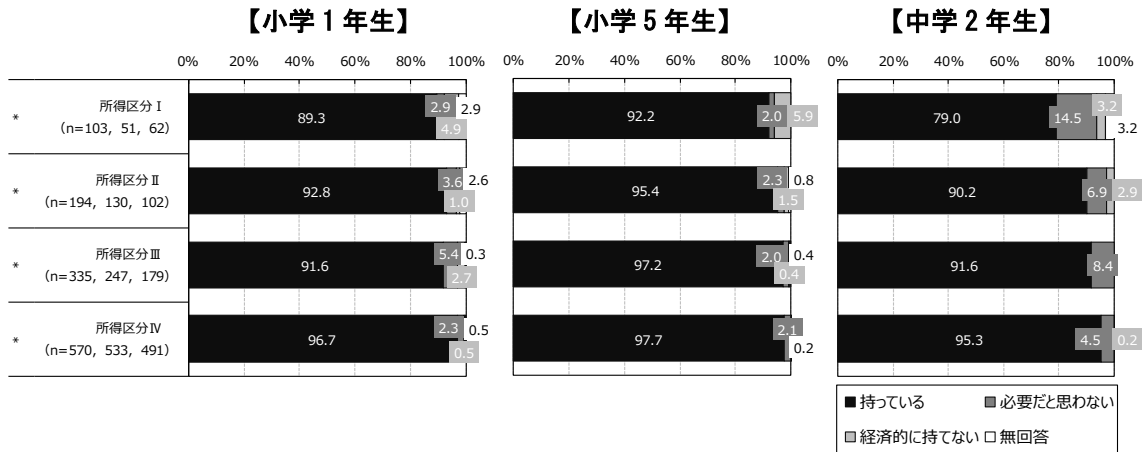


(7-9) I 自転車

《所得区分別》

自転車については、いずれの学年・所得区分においても「持っている」が大半を占めていますが、中2の所得区分Iで「必要だと思わない」の割合が14.5%と、他の所得区分と比べて高くなっています。「経済的に持てない」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

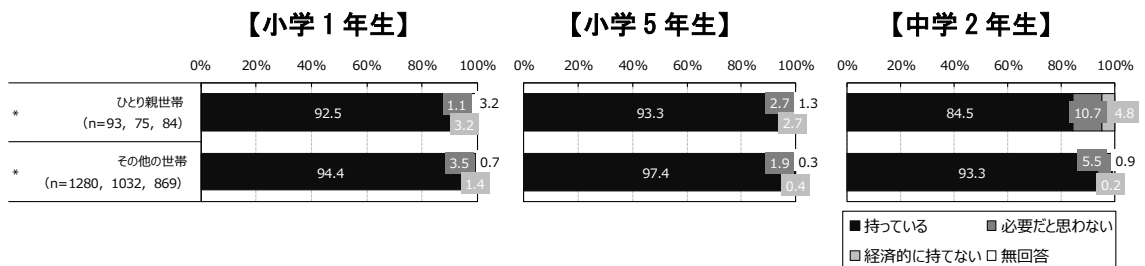
図表 25-17 I 自転車



《世帯別》

自転車については、いずれの学年・世帯においても「持っている」が大半を占めています。中2のひとり親世帯では「必要だと思わない」が10.7%と、他の学年・世帯と比べて高くなっています。「経済的に持てない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 25-18 I 自転車

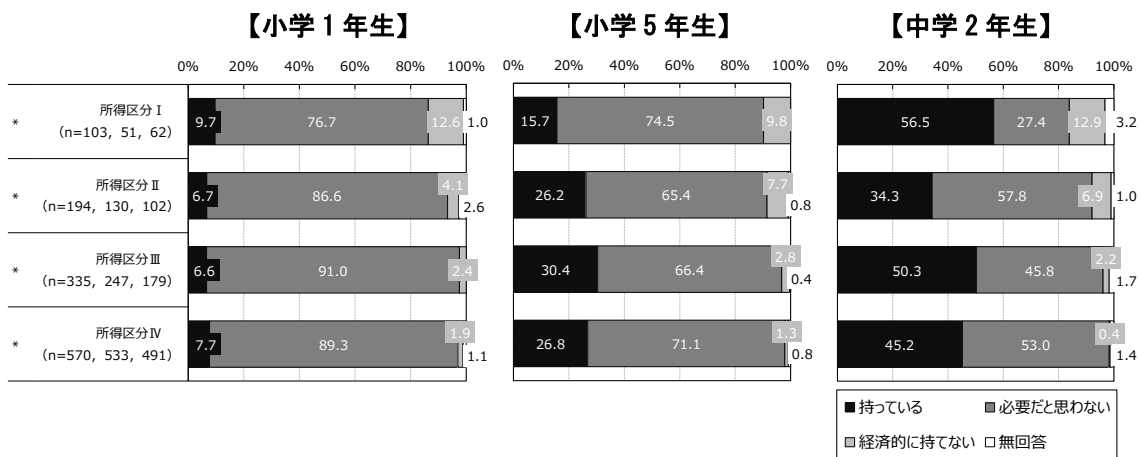


(7-10) J 携帯電話・スマートフォン

《所得区分別》

携帯電話・スマートフォンについては、小1・小5のいずれの所得区分においても「必要だと思わない」の割合が高くなっています。小1では、いずれの所得区分でも「必要だと思わない」が大半を占めており、「持っている」は1割未満となっています。小5では、いずれの所得区分においても「必要だと思わない」が、6割以上となっています。中2の所得区分ⅠとⅢでは「持っている」が半数以上となっています。

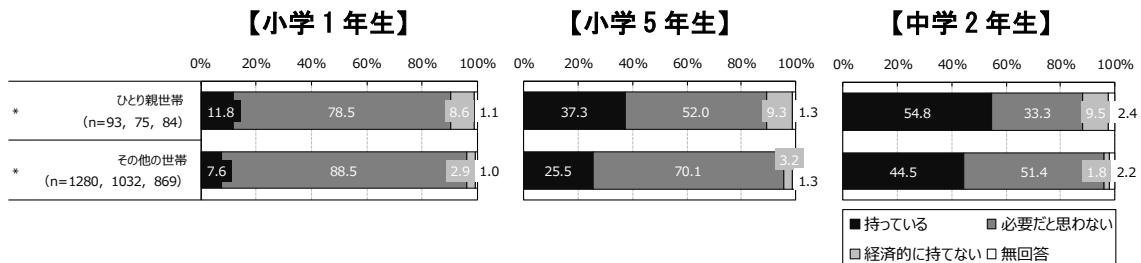
図表 25-19 J 携帯電話・スマートフォン



《世帯別》

携帯電話・スマートフォンについては、小1・小5のいずれの所得区分においても「必要だと思わない」の割合が高くなっています。また、中2のひとり親世帯のみ「持っている」が54.8%と半数を超えており、いずれの学年においても、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっています。「経済的に持てない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 25-20 J 携帯電話・スマートフォン

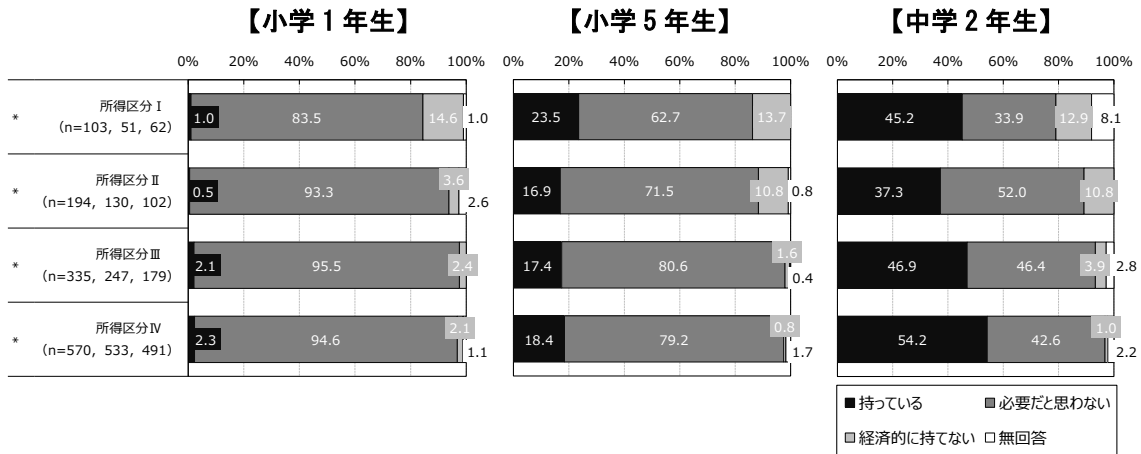


(7-11) K 携帯音楽プレイヤー等

《所得区分別》

携帯音楽プレイヤー等については、小1では、いずれの所得区分においても「必要だと思わない」が大半を占めており、「持っている」は1割未満となっています。小5では、いずれの所得区分においても「必要だと思わない」が、6割以上となっています。中2の所得区分Ⅳのみ「持っている」が半数以上となっています。

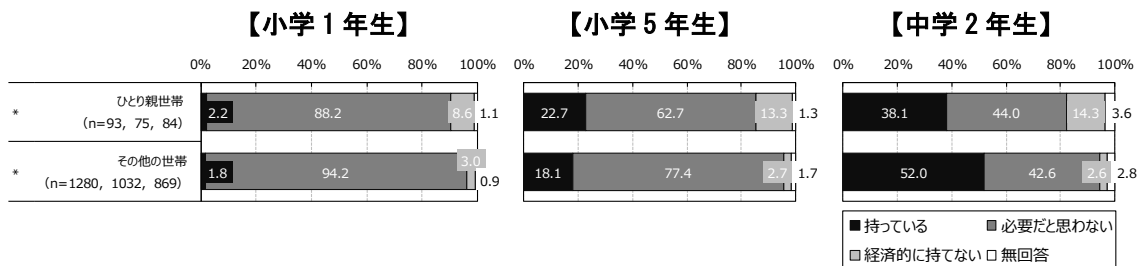
図表 25-21 K 携帯音楽プレイヤー等



《世帯別》

携帯音楽プレイヤー等については、小1では、いずれの世帯においても「必要だと思わない」が大半を占めており、「持っている」は1割未満となっています。小5では、いずれの世帯においても「必要だと思わない」が、6割以上となっています。中2のその他の世帯のみ「持っている」が52.0%と半数を超えています。小5と中2のひとり親世帯では「経済的に持てない」が1割以上となっています。

図表 25-22 K 携帯音楽プレイヤー等



(8) 子どもにしていること

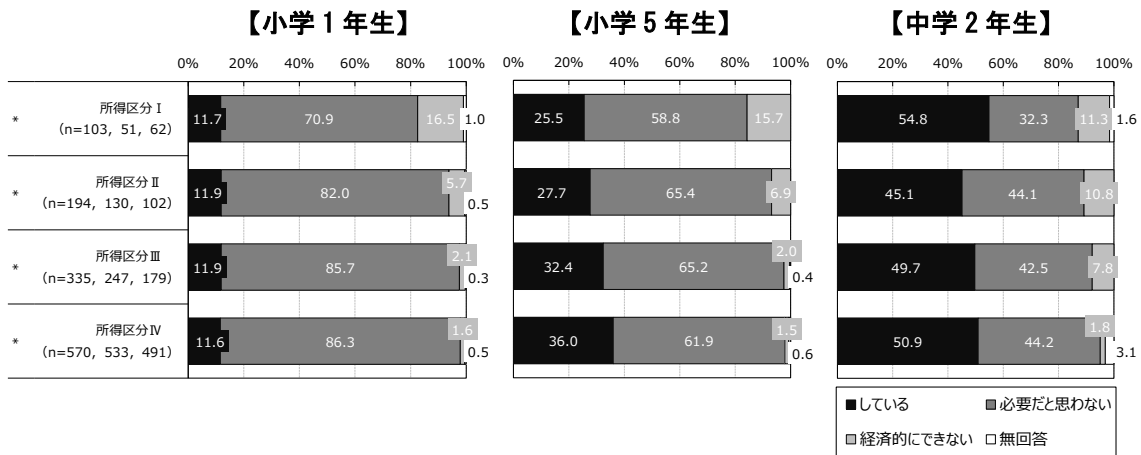
【小学1年生：問15、小学5年生・中学2年生：問12】  
 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。  
 A～Jについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

(8-1) A 毎月おこづかいを渡す

《所得区分別》

毎月おこづかいを渡すについては、小1はいずれの所得区分においても「必要だと思わない」が大半を占めており、「している」は約1割となっています。小5では、いずれの所得区分においても「必要だと思わない」が約6割となっており、所得が上がるにつれて「している」の割合が高くなっています。中2では、いずれの所得区分においても約半数が「している」となっています。「経済的にできない」はいずれの学年においても、所得が低いほど割合が高くなっています。

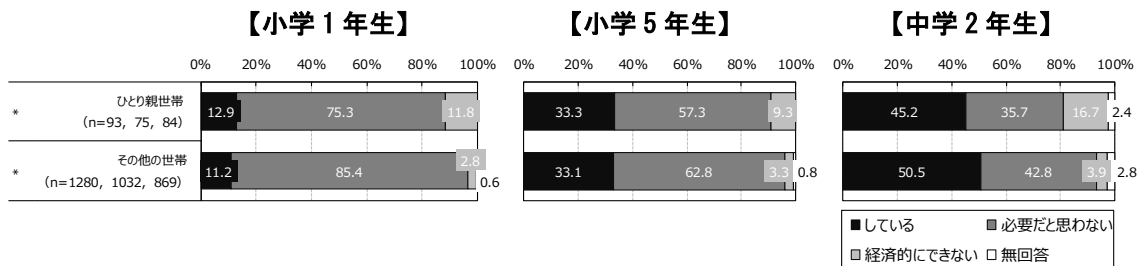
図表 26-1 A 毎月おこづかいを渡す



《世帯別》

毎月おこづかいを渡すについては、小1はいずれの世帯においても「必要だと思わない」が大半を占めており、「している」は、約1割となっています。小5では、いずれの世帯においても「必要だと思わない」が約6割となっており、「している」が約3割となっています。中2では、ひとり親世帯では4割以上、その他の世帯では5割以上が「している」となっています。「経済的にできない」は小1と中2のひとり親世帯で1割以上となっています。

図表 26-2 A 毎月おこづかいを渡す

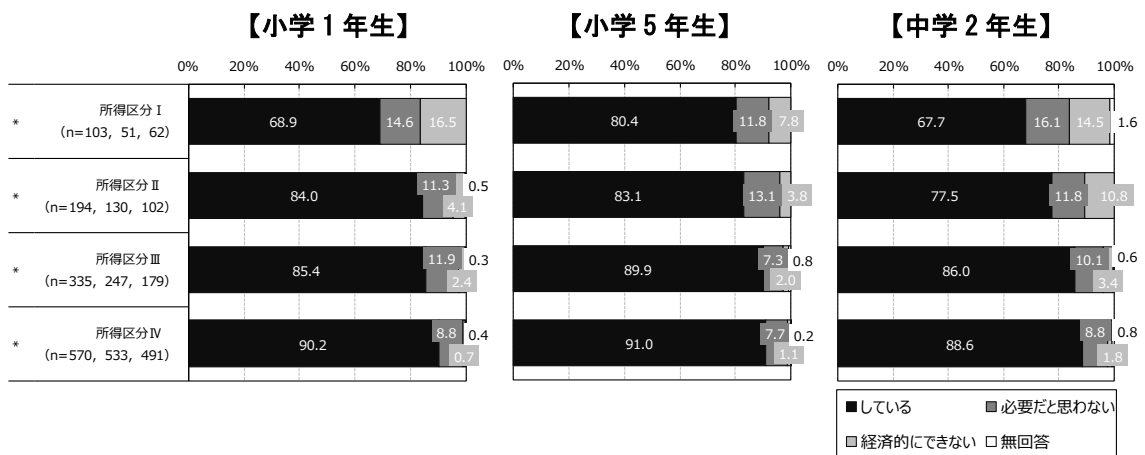


(8-2) B 毎年新しい洋服・靴を買う

《所得区分別》

毎年新しい洋服・靴を買うについては、いずれの学年においても、所得区分が上がるにつれて「している」の割合が高くなっています。小1と小5の所得区分Ⅳでは、9割以上が「している」となっています。「必要だと思わない」では、小1と中2では所得区分Ⅰが最も高くなっており、小5では、所得区分Ⅱが最も高くなっています。いずれの学年においても「経済的にできない」は所得が低くなるにつれて、割合が高くなっています。

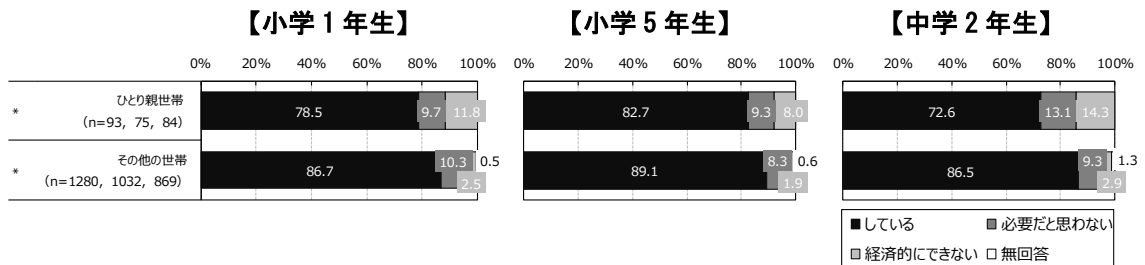
図表 26-3 B 毎年新しい洋服・靴を買う



《世帯別》

毎年新しい洋服・靴を買うについては、いずれの学年においても、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が「している」の割合が高くなっており、小5のその他の世帯が89.1%と最も高くなっています。「必要だと思わない」では、小1のその他の世帯と、中2のひとり親世帯で1割以上となっています。「経済的にできない」は、小1と中2のひとり親世帯で1割以上となっています。

図表 26-4 B 毎年新しい洋服・靴を買う

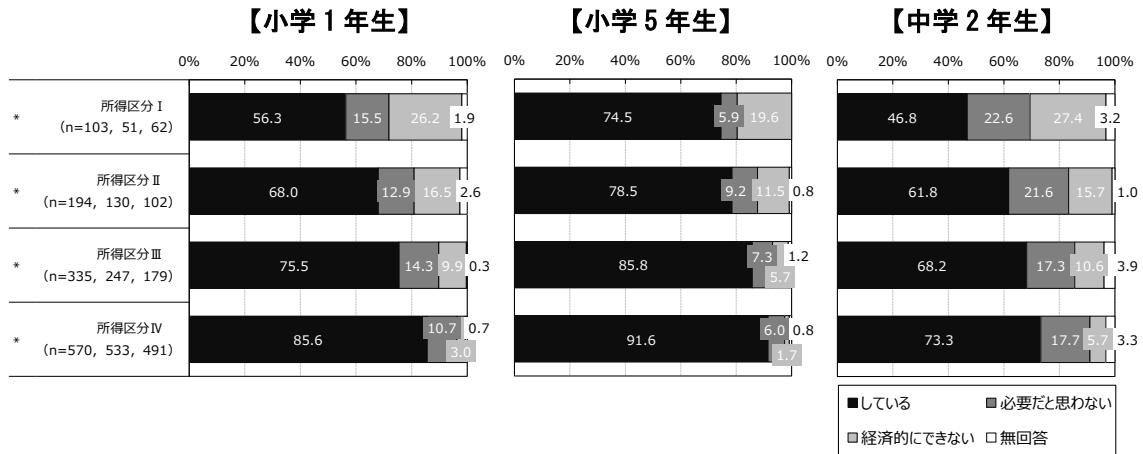


### (8-3) C 習い事に通わせる

#### 《所得区分別》

習い事に通わせるについては、いずれの学年においても所得区分が上がるにつれて「している」割合が高くなっています。「経済的にできない」は、いずれの所得区分においても、所得が低くなるにつれて割合が高くなっており、中2の所得区分Ⅰが27.4%と最も高くなっています。

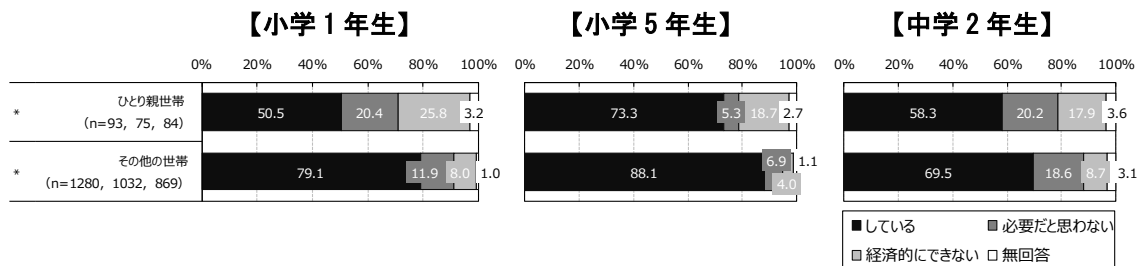
図表 26-5 C 習い事に通わせる



#### 《世帯別》

習い事に通わせるについては、いずれの学年においても、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が「している」の割合は高くなっており、小5のその他の世帯が88.1%と最も高くなっています。「必要だと思わない」では、小1と中2のひとり親世帯で約2割となっています。「経済的にできない」では、いずれの学年においても、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高く、小1が25.8%と最も高くなっています。

図表 26-6 C 習い事に通わせる



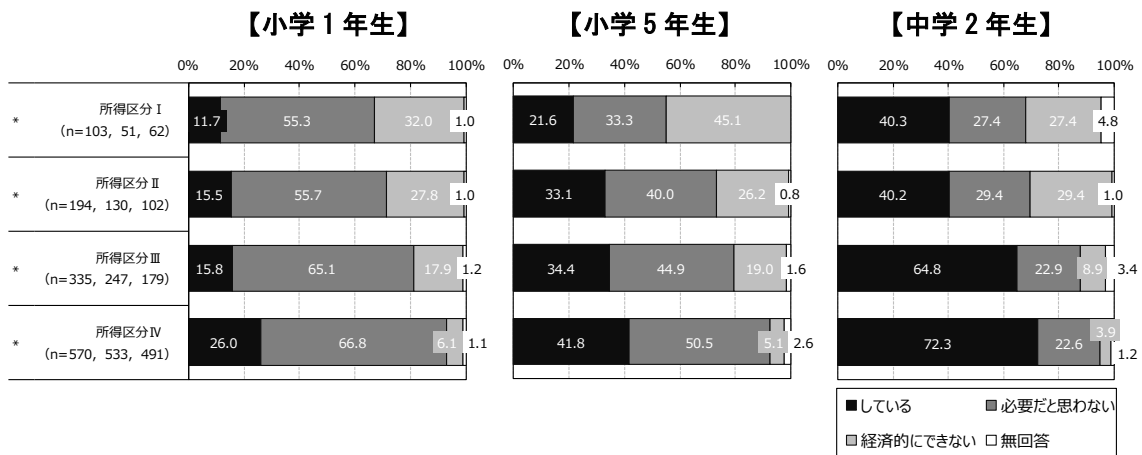


(8-4) D 学習塾に通わせる

《所得区分別》

学習塾に通わせるについては、いずれの学年においても、所得が上がるほど「している」割合が高くなる傾向があります。「経済的にできない」では、いずれの学年においても、所得が低くなるにつれて割合が高くなっています。

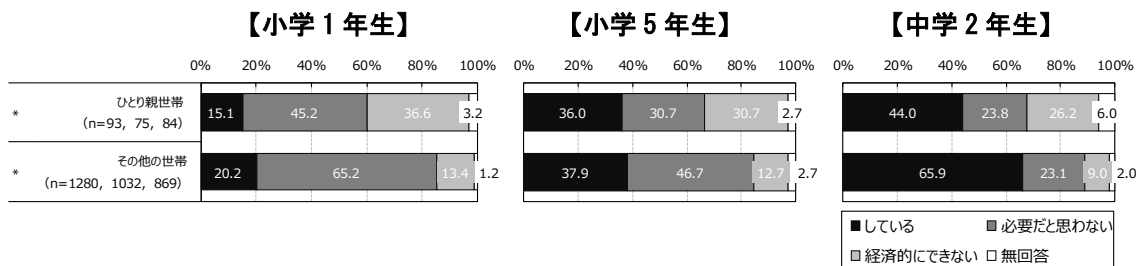
図表 26-7 D 学習塾に通わせる



《世帯別》

学習塾に通わせるについては、いずれの学年においても、その他の世帯で「している」の割合が高くなっています。中2のその他の世帯が65.9%と最も高くなっており、ひとり親世帯と比較すると、21.9ポイント高くなっています。「経済的にできない」では、いずれの学年においても、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっており、小1が36.6%と最も高くなっています。

図表 26-8 D 学習塾に通わせる

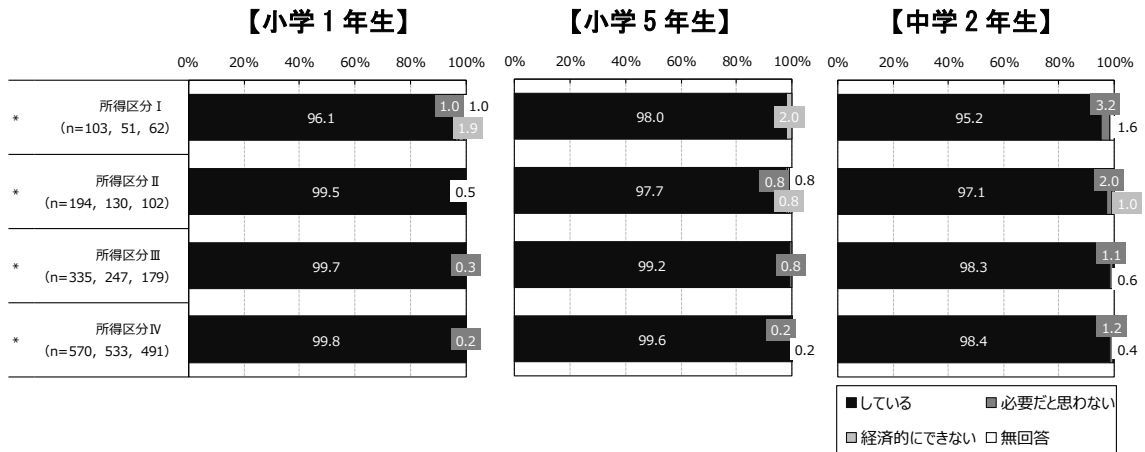


(8-5) E お誕生日のお祝いをする

《所得区分別》

お誕生日のお祝いをするについては、いずれの学年・所得区分においても「している」が9割を超えており、大半を占めています。

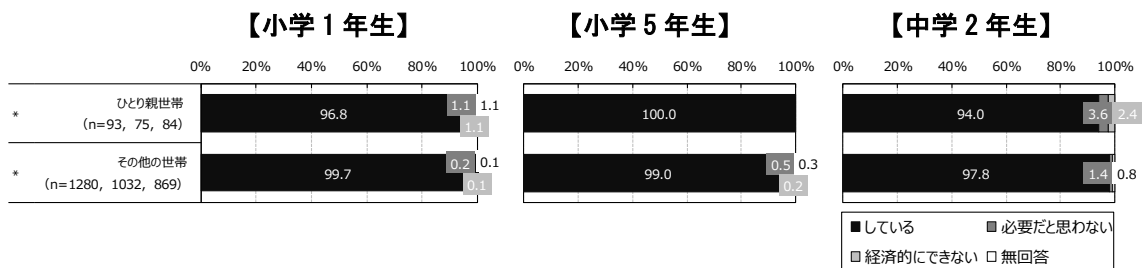
図表 26-9 E お誕生日のお祝いをする



《世帯別》

お誕生日のお祝いをするについては、いずれの学年・世帯においても「している」が9割を超えており、大半を占めています。「必要だと思わない」、「経済的にできない」では、いずれの世帯においても1割未満となっています。

図表 26-10 E お誕生日のお祝いをする

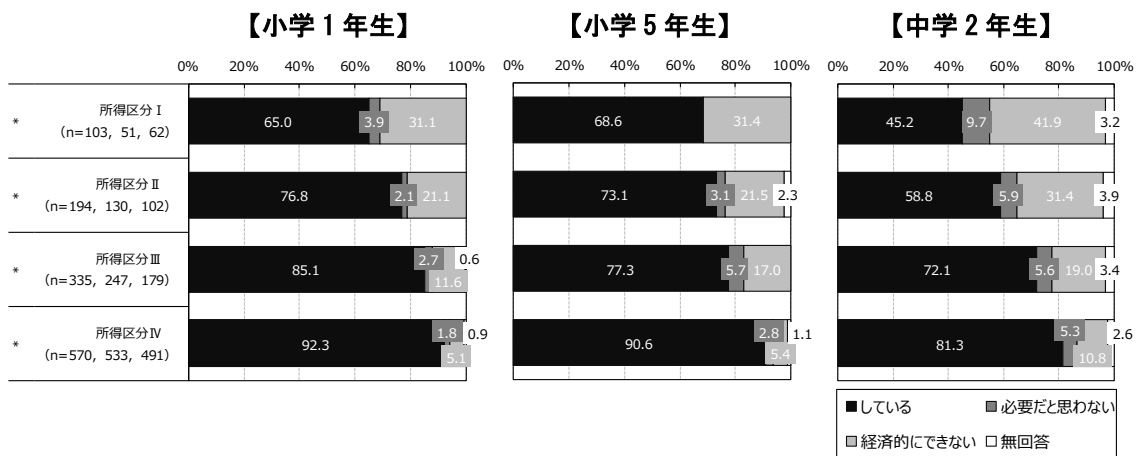


(8-6) F 1年に1回くらい家族旅行に行く

《所得区分別》

1年に1回くらい家族旅行に行くについては、いずれの学年においても、所得区分が上がるにつれて「している」割合が高くなっています。所得区分Ⅳでは「している」が8割を超えており、大半を占めています。「必要だと思わない」では、いずれの学年・所得区分においても、1割未満となっています。「経済的にできない」では、いずれの学年においても、所得が低いほど割合が高くなっており、中2の所得区分Ⅰが41.9%と最も高くなっています。

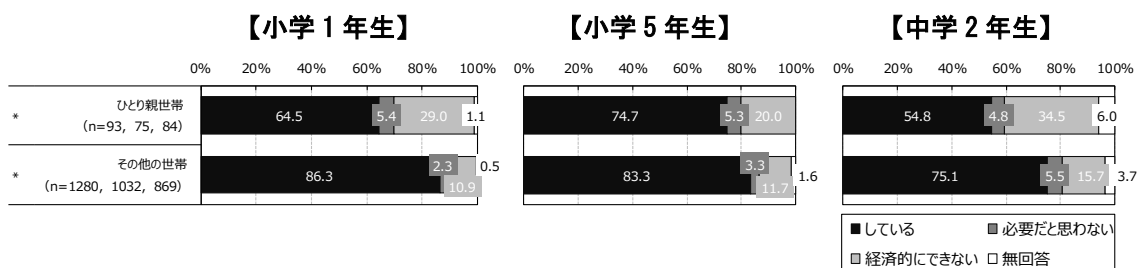
図表 26-11 F 1年に1回くらい家族旅行に行く



《世帯別》

1年に1回くらい家族旅行に行くについては、いずれの学年においても、その他の世帯で「している」割合は高くなっており、小1が86.3%と最も高くなっています。「必要だと思わない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。「経済的にできない」では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっており、中2が34.5%と最も高くなっています。

図表 26-12 F 1年に1回くらい家族旅行に行く

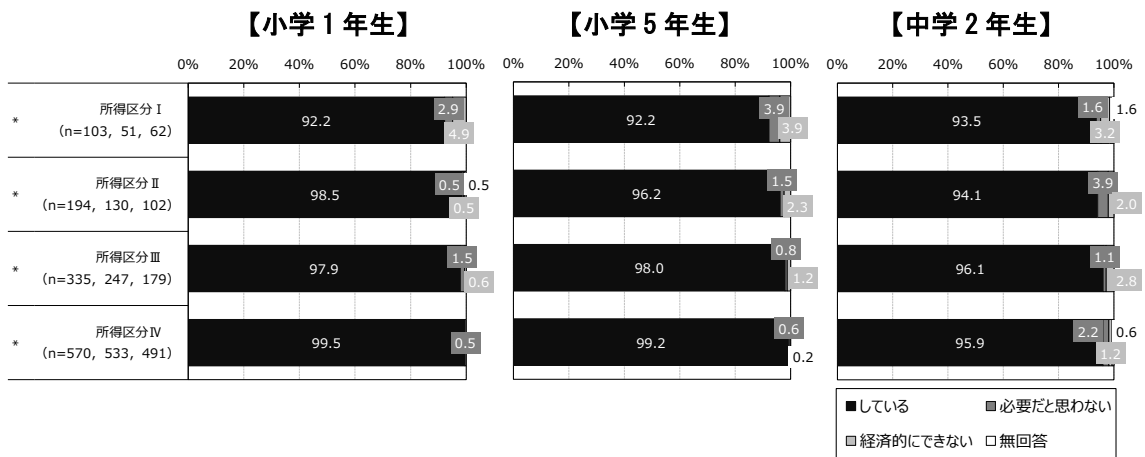


(8-7) G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる

《所得区分別》

クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげるについては、いずれの学年・所得区分においても「している」が9割以上となっており、大半を占めています。「必要だと思わない」、「経済的にできない」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

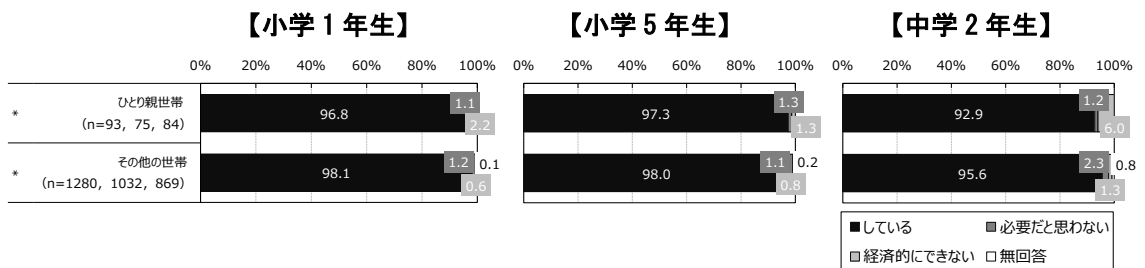
図表 26-13 G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる



《世帯別》

クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげるについては、いずれの学年・世帯においても「している」が9割以上となっており、大半を占めています。「必要だと思わない」、「経済的にできない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 26-14 G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる

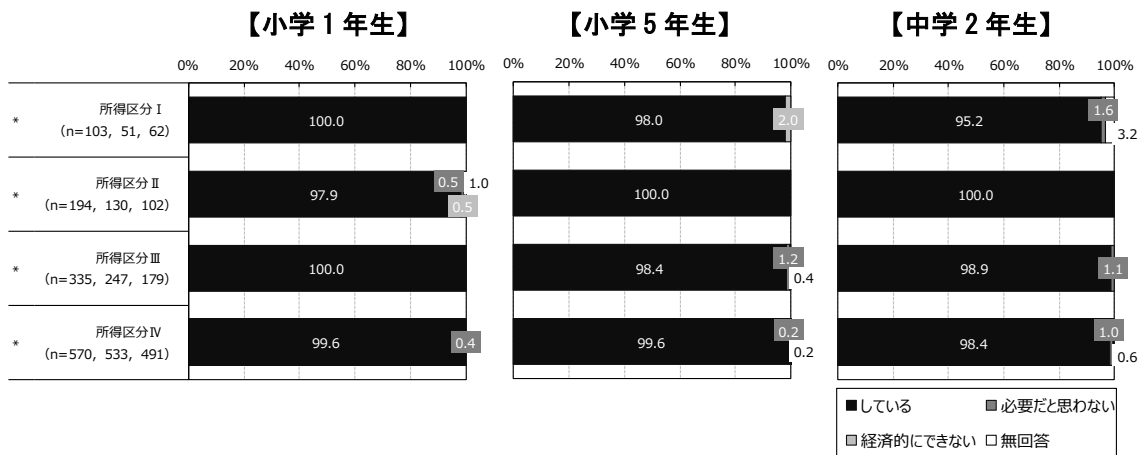


(8-8) H 医者に行く

《所得区分別》

医者に行くについては、いずれの学年・所得区分においても「している」が9割以上となっており、大半を占めています。小1の所得区分ⅠとⅢ、小5と中2の所得区分Ⅱでは100%となっています。

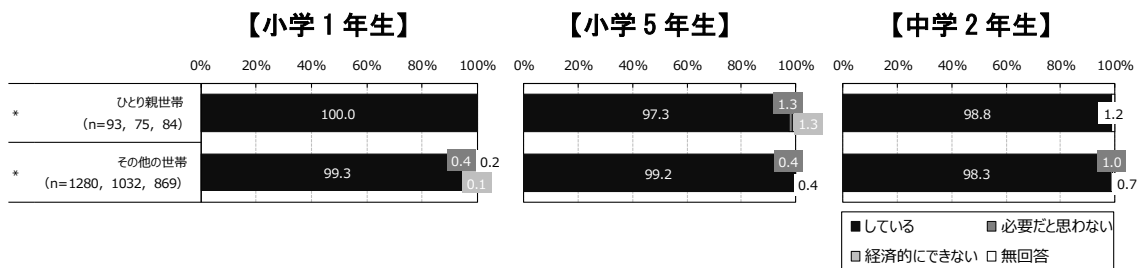
図表 26-15 H 医者に行く



《世帯別》

医者に行くについては、いずれの学年・世帯においても「している」が9割以上となっており、大半を占めています。「必要だと思わない」、「経済的にできない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 26-16 H 医者に行く

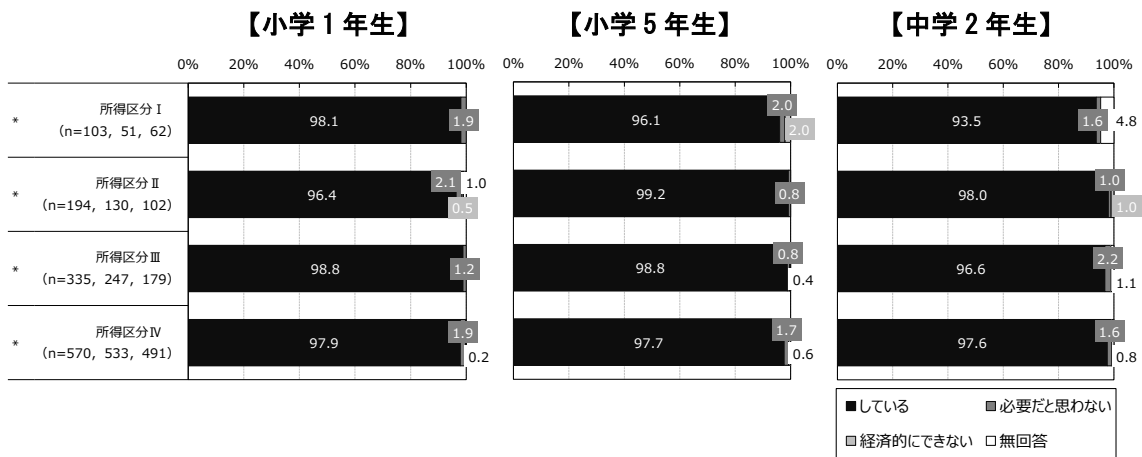


(8-9) I 歯医者に行く

《所得区分別》

歯医者に行くについては、いずれの学年・所得区分においても「している」が9割以上となっており、大半を占めています。「必要だと思わない」と「経済的にできない」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

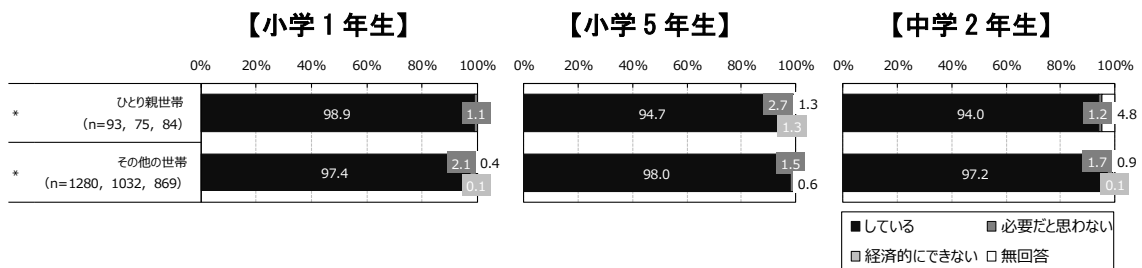
図表 26-17 I 歯医者に行く



《世帯別》

歯医者に行くについては、いずれの学年・世帯においても「している」が9割以上となっており、大半を占めています。「必要だと思わない」、「経済的にできない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 26-18 I 歯医者に行く

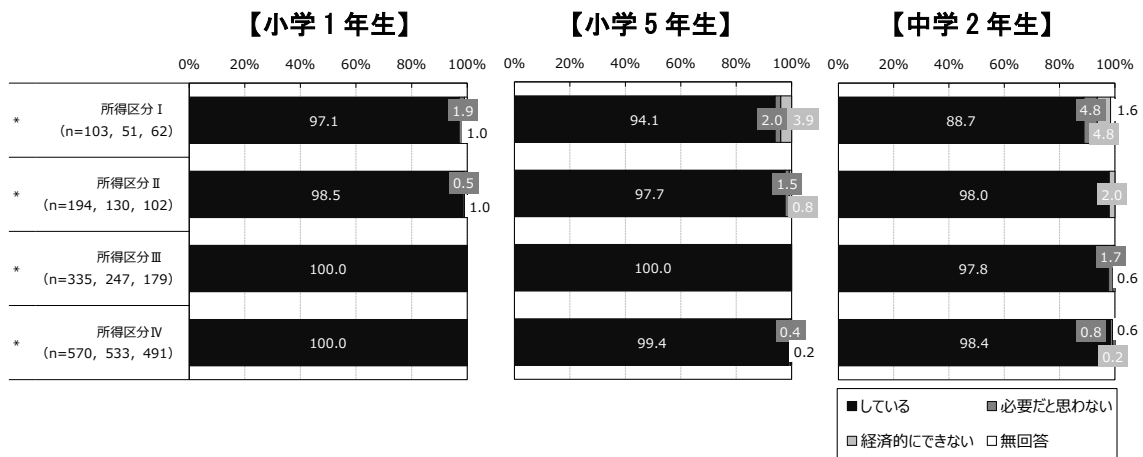


(8-10) J 子どもの学校行事などへ親が参加する

《所得区分別》

子どもの学校行事などへ親が参加するについては、いずれの学年・所得区分においても「している」が大半を占めています。小1の所得区分ⅢとⅣ、小5の所得区分Ⅲでは100%となっています。

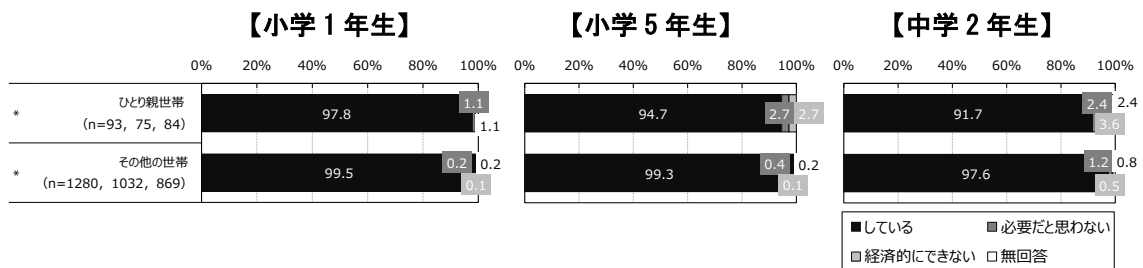
図表 26-19 J 子どもの学校行事などへ親が参加する



《世帯別》

子どもの学校行事などへ親が参加するについては、いずれの学年・世帯においても「している」が大半を占めています。「必要だと思わない」、「経済的にできない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 26-20 J 子どもの学校行事などへ親が参加する



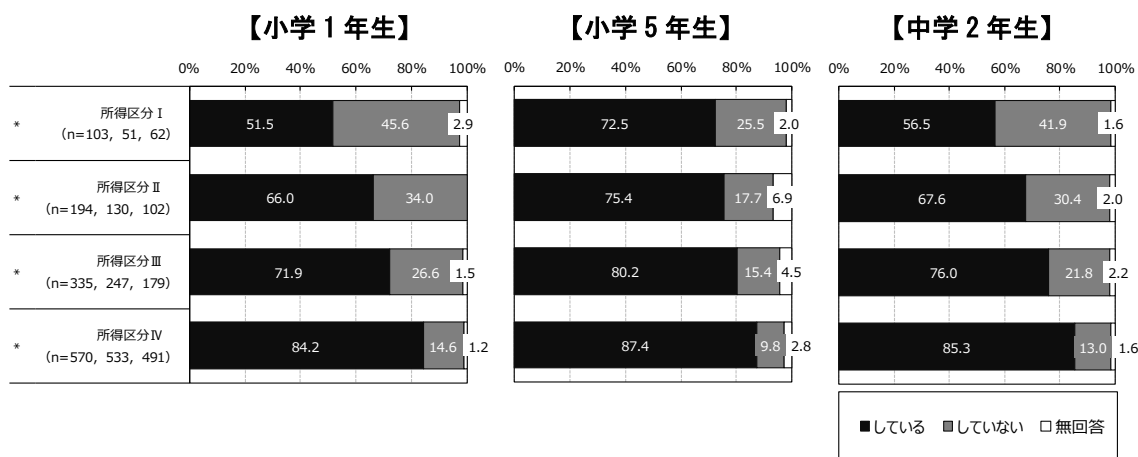
(9) 地域のクラブ活動等以外の有料の習い事

【小学1年生：問17-1、小学5年生・中学2年生：問14-1】  
 お子さんは、習い事等（スポーツクラブ・学習塾を含む）をしていますか。  
 あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

《所得区分別》

地域のクラブ活動等以外の有料の習い事については、いずれの学年においても、所得が上がるにつれて「している」の割合が高くなっており、所得が低いほど「していない」の割合が高くなっています。また、小1と中2の所得区分Ⅰでは「していない」が4割を超えています。

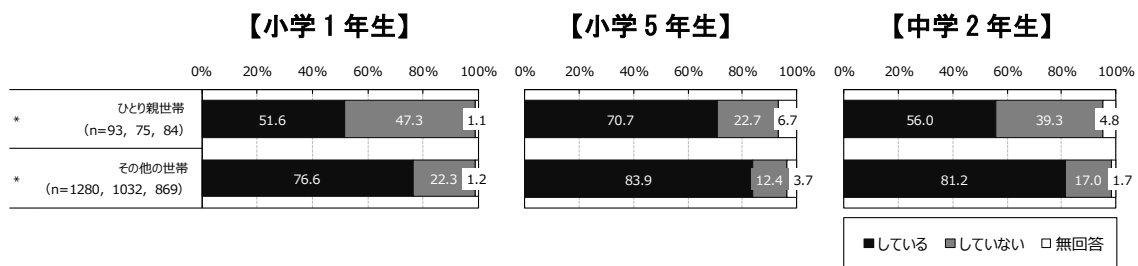
図表 27-1 地域のクラブ活動等以外の有料の習い事



《世帯別》

地域のクラブ活動等以外の有料の習い事については、いずれの学年においても、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が「している」の割合は高くなっており、小5で83.9%と最も高くなっています。一方、「していない」では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっており、小1で47.3%と最も高くなっています。

図表 27-2 地域のクラブ活動等以外の有料の習い事





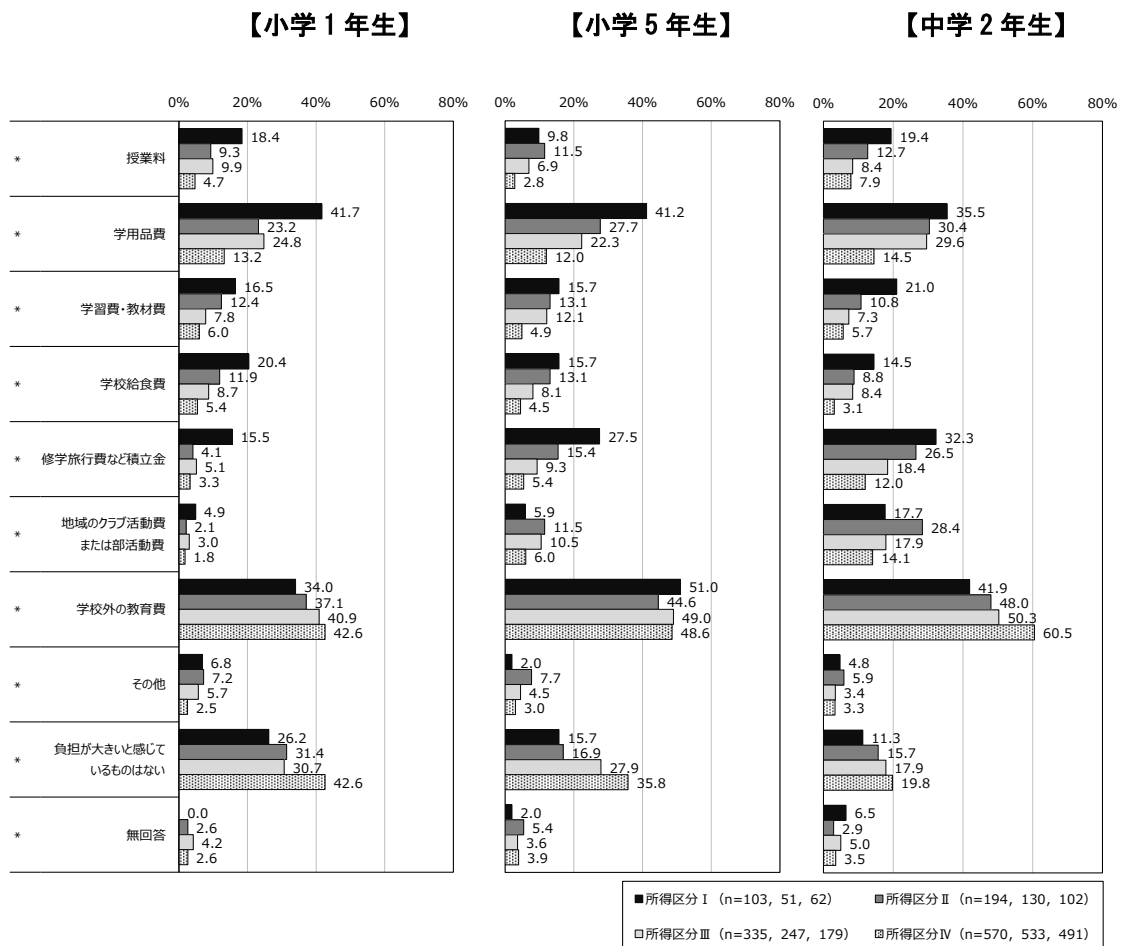
(10) 教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているもの

【小学1年生：問18、小学5年生・中学2年生：問15】  
 お子さんの教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているものはありますか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも) ※複数回答

《所得区分別》

教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているものについては、小1の所得区分Ⅰでは「学用品費」が最も高くなっており、その他の所得区分では「学校外の教育費」となっています。また、所得区分Ⅳでは「負担が大きいと感じているものはない」も高くなっていきます。小5と中2では「学校外の教育費」が最も高くなっていきます。次いで小5の所得区分ⅠとⅡでは「学用品費」、所得区分ⅢとⅣでは「負担が大きいと感じているものはない」がそれぞれ高くなっていきます。中2の所得区分ⅠとⅡとⅢでは「学用品費」も高くなっており、所得区分Ⅳでは「負担が大きいと感じているものはない」が高くなっていきます。

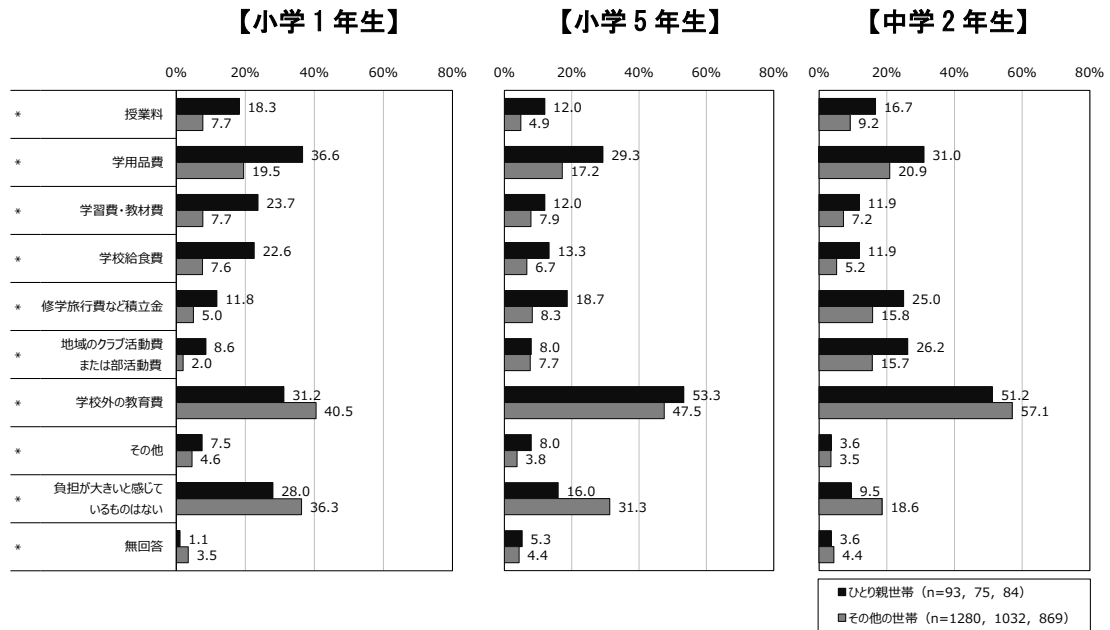
図表 28-1 教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているもの



《世帯別》

教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているものについては、小1のひとり親世帯では「学用品費」が最も高くなっており、その他の世帯では「学校外の教育費」が最も高くなっています。小5と中2では、いずれの学年・世帯においても「学校外の教育費」が最も高くなっています。

図表 28-2 教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているもの



(11) どの段階まで教育を受けさせたいか

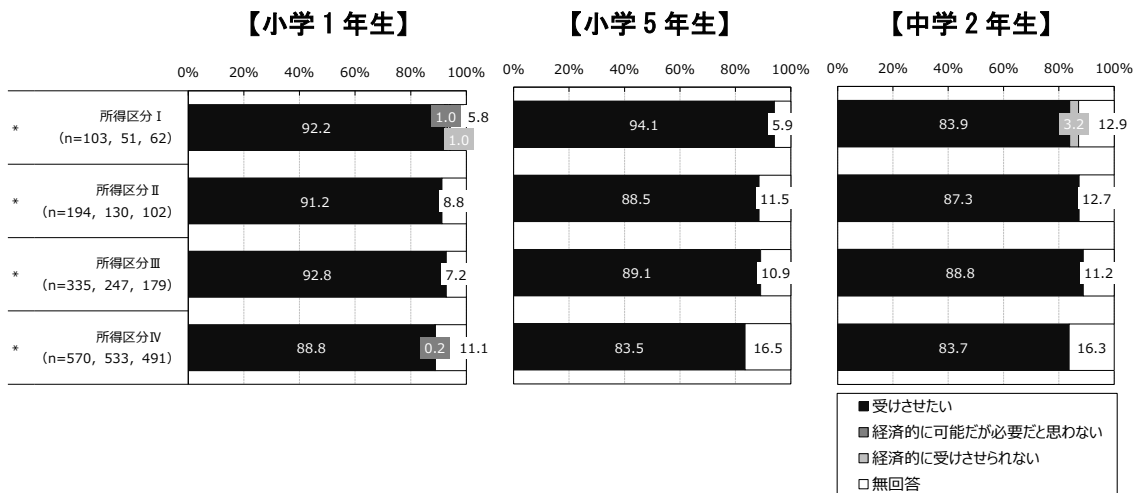
【小学1年生：問19、小学5年生・中学2年生：問16】  
 あなたのご家庭では、お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。  
 A～Cについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

(11-1) A 高等学校

《所得区分別》

高等学校については、いずれの学年・所得区分においても「受けさせたい」が8割を超えており、大半を占めています。

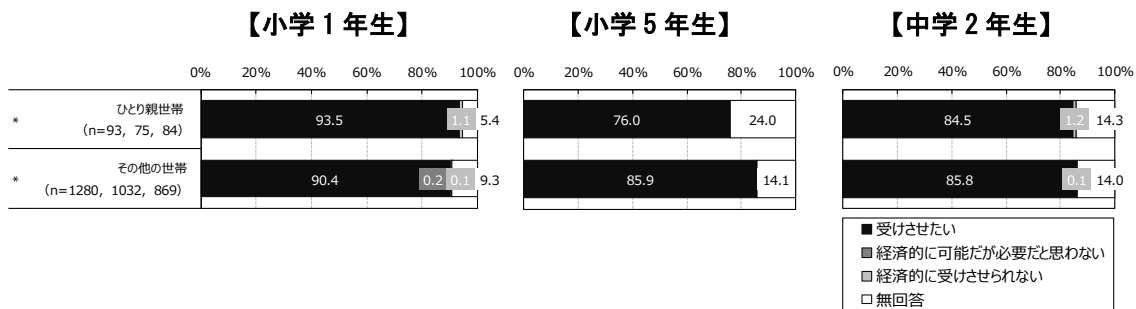
図表 29-1 A 高等学校



《世帯別》

高等学校については、いずれの学年・世帯においても「受けさせたい」が大半を占めています。

図表 29-2 A 高等学校

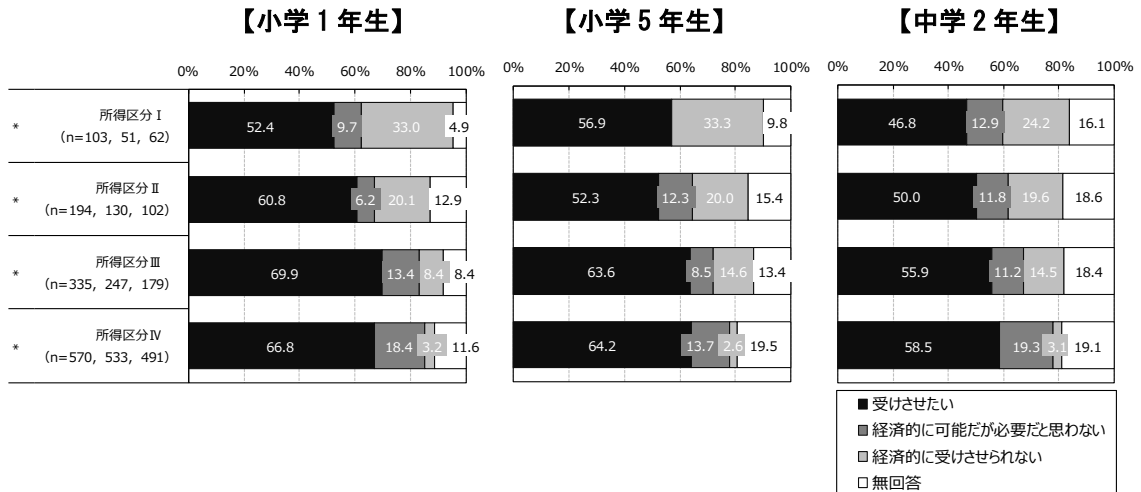


(11-2) B 短大・高専・専門学校

《所得区分別》

短大・高専・専門学校については、中2の所得区分Iを除く、いずれの学年・所得区分においても「受けさせたい」が半数以上となっています。「経済的に可能だが必要だと思わない」では、所得区分IVが最も高くなっています。「経済的に受けさせられない」では、所得が低いほど高くなっており、いずれの学年においても、所得区分Iが最も高くなっています。

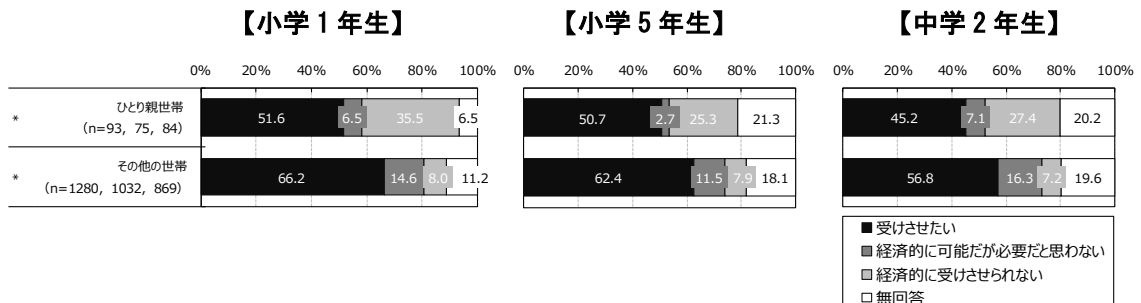
図表 29-3 B 短大・高専・専門学校



《世帯別》

短大・高専・専門学校については、中2のひとり親世帯を除く、いずれの世帯においても「受けさせたい」が半数以上となっています。「経済的に可能だが必要だと思わない」では、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が割合は高くなっています。一方、「経済的に受けさせられない」では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっており、小1では35.5%と最も高くなっています。

図表 29-4 B 短大・高専・専門学校

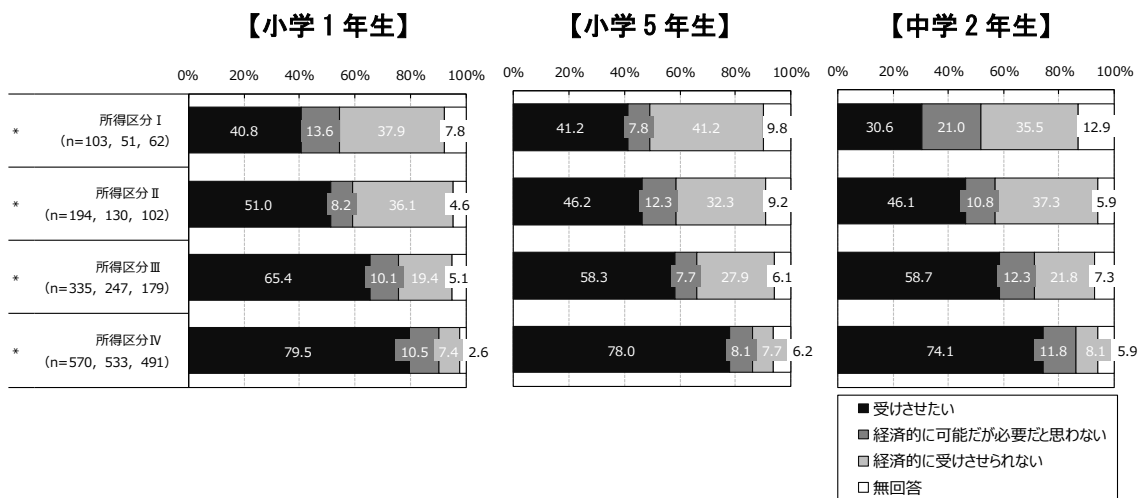


(11-3) C 大学・大学院

《所得区分別》

大学・大学院については、いずれの学年・所得区分においても、所得が上がるにつれて「受けさせたい」が高くなっており、いずれの学年においても、所得区分Ⅳが7割以上と最も高くなっています。「経済的に可能だが必要だと思わない」では、中2の所得区分Ⅰが21.0%と最も高くなっています。「経済的に受けさせられない」では、所得が低いほど割合が高くなる傾向があり、小5の所得区分Ⅰが41.2%と最も高くなっています。

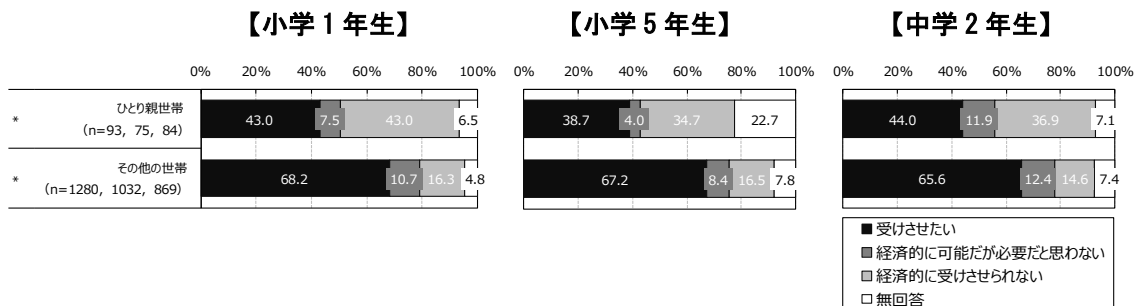
図表 29-5 C 大学・大学院



《世帯別》

大学・大学院については、いずれの学年においても、その他の世帯で「受けさせたい」が6割以上となっていますが、ひとり親世帯では約4割となっています。「経済的に可能だが必要だと思わない」では、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が割合は高くなっており、中2のその他の世帯が12.4%と最も高くなっています。「経済的に受けさせられない」では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっており、小1では43.0%と最も高くなっています。

図表 29-6 C 大学・大学院



## 6.3 お子さんとの関係について

### (1) 子どもとの関係

【小学1年生：問20、小学5年生・中学2年生：問17】

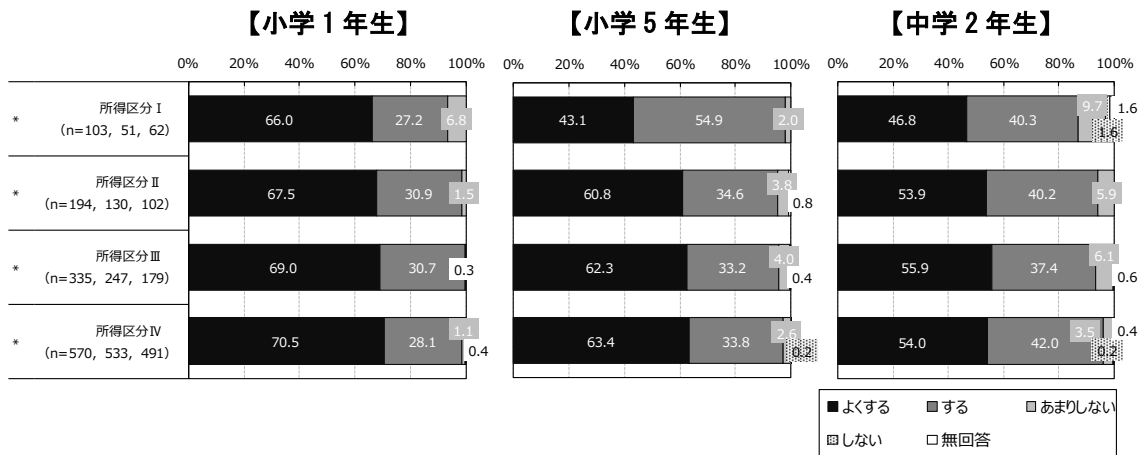
あなたとお子さんの関係について、もっとも近いもの1つに○をつけてください。  
(○はそれぞれひとつ)

#### (1-1) A 子どもとよく会話するか

##### 《所得区分別》

子どもとよく会話するかについては、いずれの学年・所得区分においても「する」（「よくする」＋「する」）が、大半を占めています。

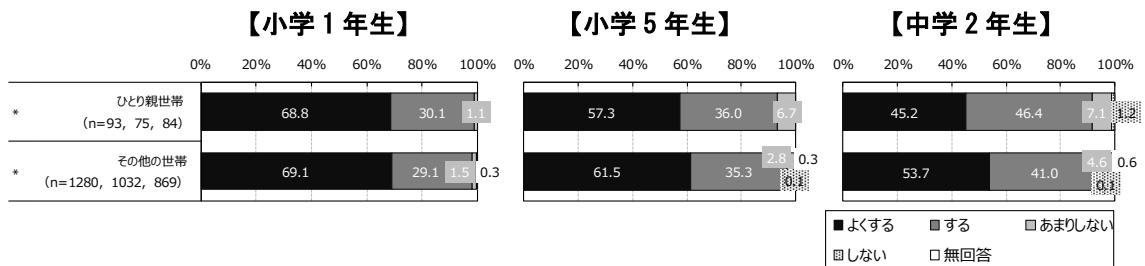
図表 30-1 A 子どもとよく会話するか



##### 《世帯別》

子どもとよく会話するかについては、いずれの学年・世帯においても「する」（「よくする」＋「する」）が、大半を占めています。「しない」（「あまりしない」＋「しない」）の割合は、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 30-2 A 子どもとよく会話するか

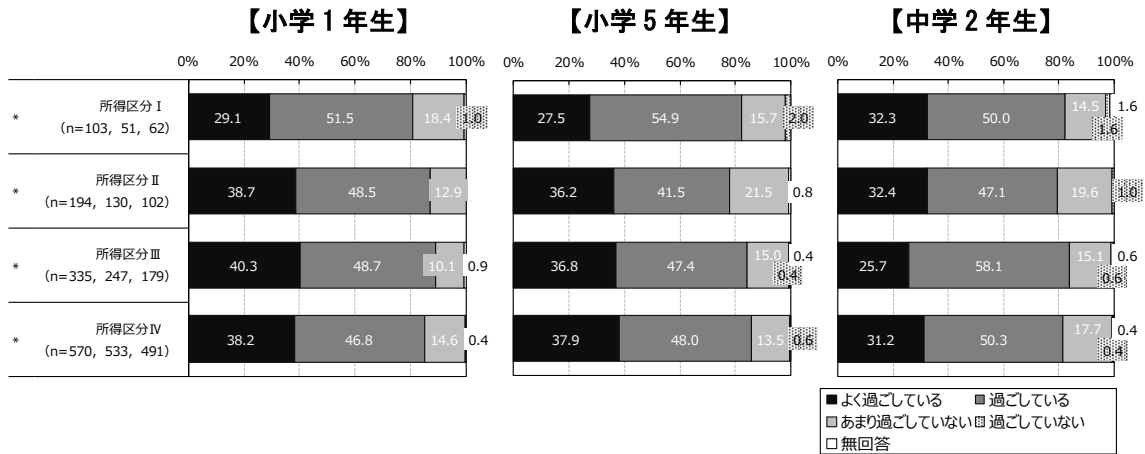


(1-2) B 子どもと十分な時間を過ごしているか

《所得区分別》

子どもと十分な時間を過ごしているかについては、いずれの学年・所得区分においても「過ごしている」（「よく過ごしている」＋「過ごしている」）が、大半を占めています。「あまり過ごしていない」の割合は、いずれの学年・所得区分においても1割以上となっています。

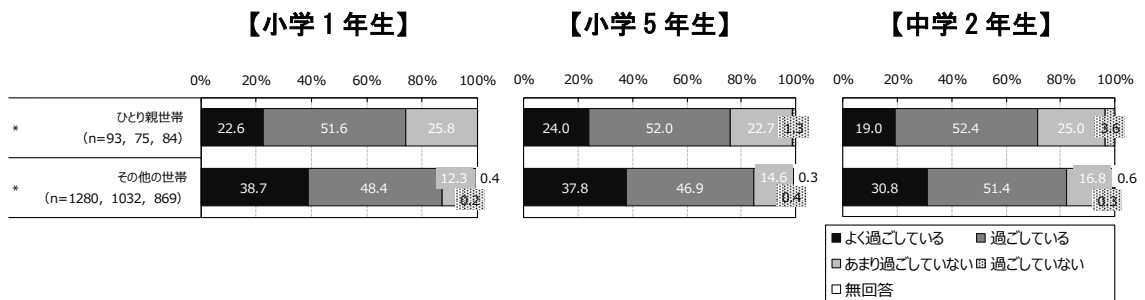
図表 30-3 B 子どもと十分な時間を過ごしているか



《世帯別》

子どもと十分な時間を過ごしているかについては、いずれの学年においても、ひとり親世帯では「過ごしている」（「よく過ごしている」＋「過ごしている」）の割合が7割以上、その他の世帯では8割以上となっています。「過ごしていない」（「あまり過ごしていない」＋「過ごしていない」）では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっており、中2で28.6%と最も高くなっています。

図表 30-4 B 子どもと十分な時間を過ごしているか

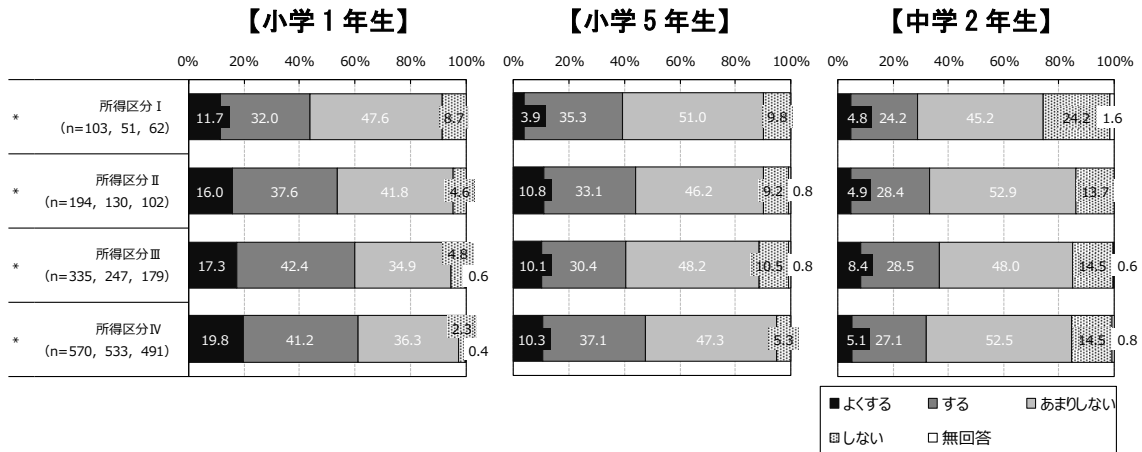


(1-3) C 子どもと読んだ本の感想を話し合ったりするか

《所得区分別》

子どもと読んだ本の感想を話し合ったりするかについては、「する」（「よくする」＋「する」）の割合は、小1では所得が上がるにつれて高くなっています。「しない」（「あまりしない」＋「しない」）では、小5・中2で高く、中2ではいずれの所得区分においても6割以上となっています。

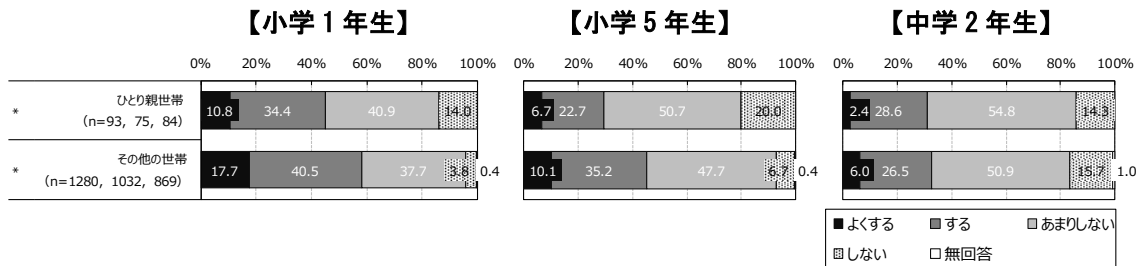
図表 30-5 C 子どもと読んだ本の感想を話し合ったりするか



《世帯別》

子どもと読んだ本の感想を話し合ったりするかについては、「する」（「よくする」＋「する」）は、小1のその他の世帯が58.2%と最も高くなっています。一方、「しない」（「あまりしない」＋「しない」）では、小1のその他の世帯を除き、いずれの学年・世帯においても半数以上となっており、小5のひとり親世帯が70.7%と最も高くなっています。

図表 30-6 C 子どもと読んだ本の感想を話し合ったりするか



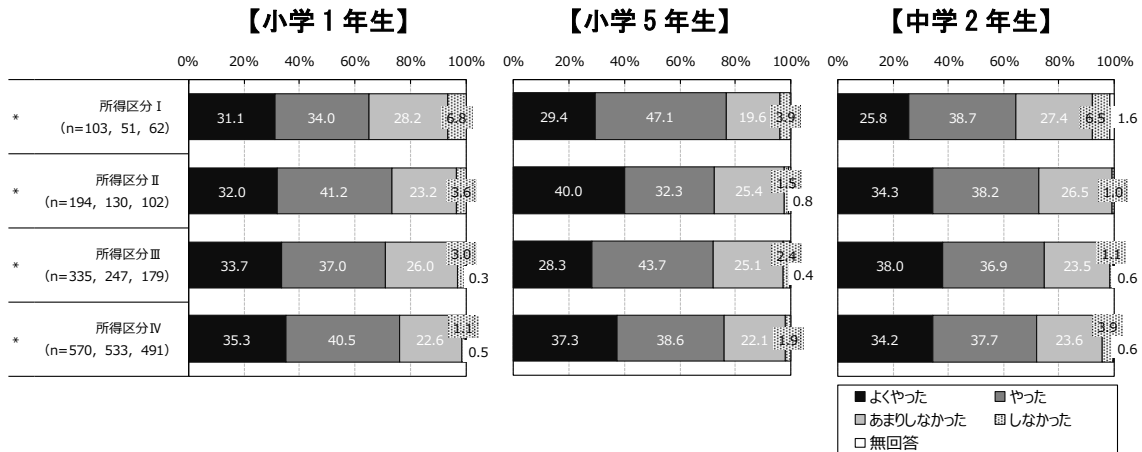


(1-4) D 子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしたか

《所得区分別》

子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしたかについては、いずれの学年・所得区分においても「する」（「よくする」＋「する」）の割合は6割以上となっており、小5の所得区分Iで76.5%と最も高くなっています。「しなかった」（「あまりしなかった」＋「しなかった」）では、小1の所得区分Iが35.0%と最も高くなっています。

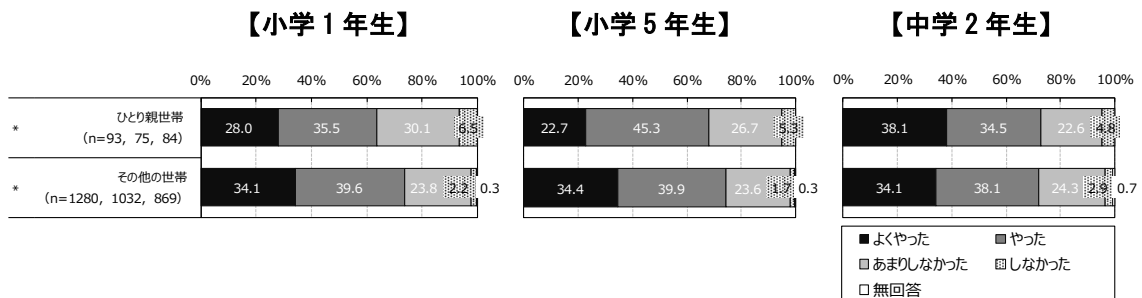
図表 30-7 D 子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしたか



《世帯別》

子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしたかについては、小1・小5のひとり親世帯では「する」（「よくする」＋「する」）の割合は6割以上となっており、中2のひとり親世帯と、いずれの学年においても、その他の世帯では7割以上となっています。小5のその他の世帯では74.3%となっており最も高くなっています。一方、「しなかった」（「あまりしなかった」＋「しなかった」）では、小1のひとり親世帯で36.6%と最も高くなっています。

図表 30-8 D 子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしたか

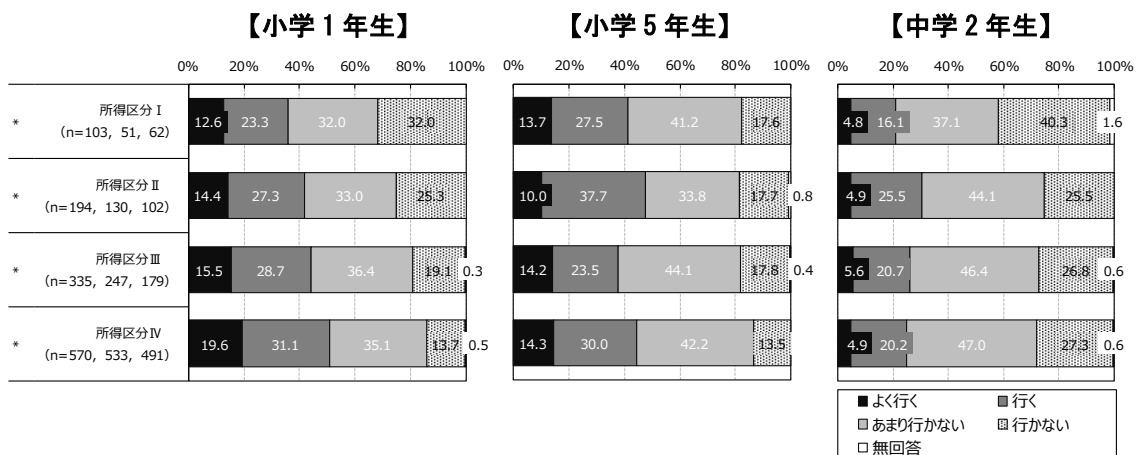


(1-5) E 子どもと一緒に図書館に行くか

《所得区分別》

子どもと一緒に図書館に行くかについては、小1の所得区分Ⅳを除く、いずれの学年・所得区分においても「行かない」（「あまり行かない」＋「行かない」）の割合が高く、半数を超えています。中2では、いずれの所得区分においても「行かない」が約7割となっています。「行く」（「よく行く」＋「行く」）では、小1の所得区分Ⅳが50.7%と最も高くなっており、半数を超えています。

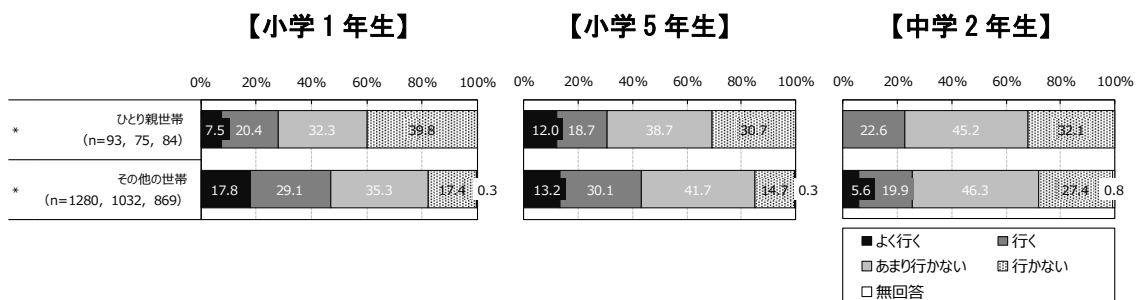
図表 30-9 E 子どもと一緒に図書館に行くか



《世帯別》

子どもと一緒に図書館に行くかについては、いずれの学年・世帯においても「行かない」（「あまり行かない」＋「行かない」）の割合が高く、半数を超えています。中2では、いずれの世帯においても「行かない」が7割以上となっています。「行く」（「よく行く」＋「行く」）では、小1のその他の世帯が46.9%と最も高くなっています。

図表 30-10 E 子どもと一緒に図書館に行くか

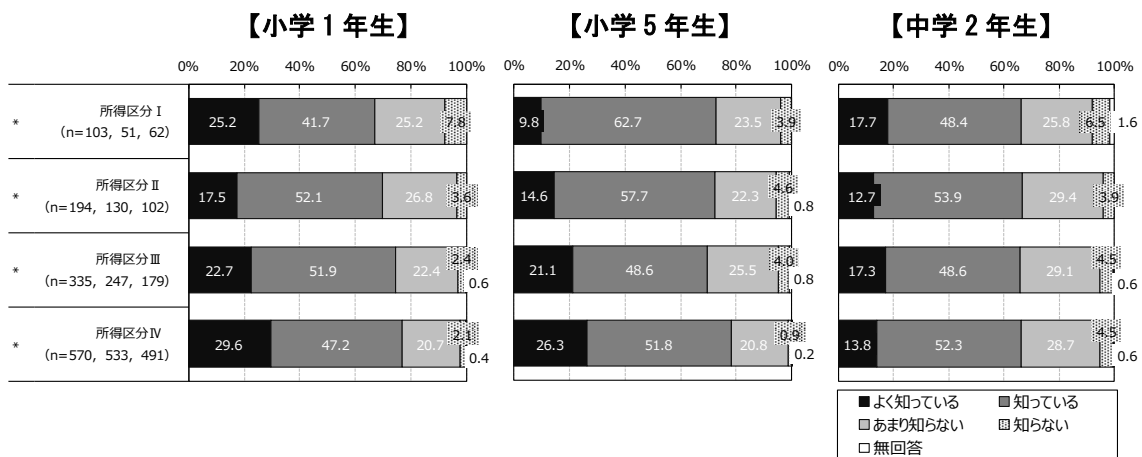


(1-6) F 子どもが将来の夢をどう思っているか知っているか

《所得区分別》

子どもが将来の夢をどう思っているか知っているかについては、いずれの学年・所得区分においても「知っている」（「よく知っている」＋「知っている」）の割合が6割以上となっており、小5の所得区分Ⅳで78.1%と最も高くなっています。「知らない」（「あまり知らない」＋「知らない」）では、いずれの学年・所得区分においても2割以上となっており、中2の所得区分Ⅲで33.6%と最も高くなっています。

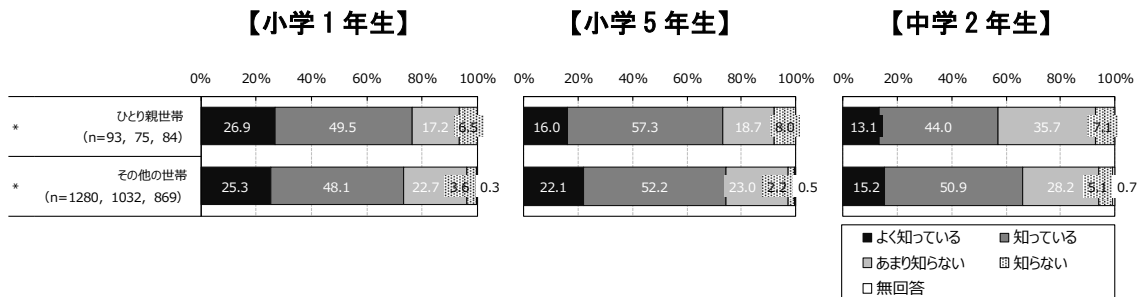
図表 30-11 F 子どもが将来の夢をどう思っているか知っているか



《世帯別》

子どもが将来の夢をどう思っているか知っているかについては、小1と小5のいずれの世帯においても「知っている」（「よく知っている」＋「知っている」）の割合が7割以上となっており、中2では、いずれの世帯においても半数以上となっています。「知らない」（「あまり知らない」＋「知らない」）では、小1と小5で、いずれの世帯においても2割以上となっており、中2では3割以上となっています。

図表 30-12 F 子どもが将来の夢をどう思っているか知っているか

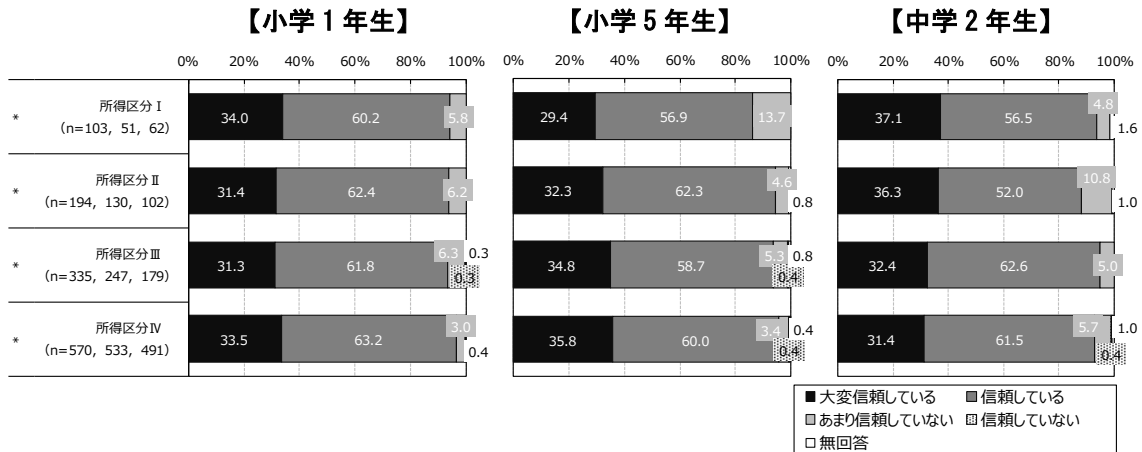


(1-7) G 子どもを信頼しているか

《所得区分別》

子どもを信頼しているかについては、いずれの学年・所得区分においても「信頼している」(「大変信頼している」+「信頼している」)が大半を占めており、小1の所得区分IVで96.7%と最も高くなっています。「信頼していない」(「あまり信頼していない」+「信頼していない」)では、小5の所得区分Iが13.7%と最も高くなっています。

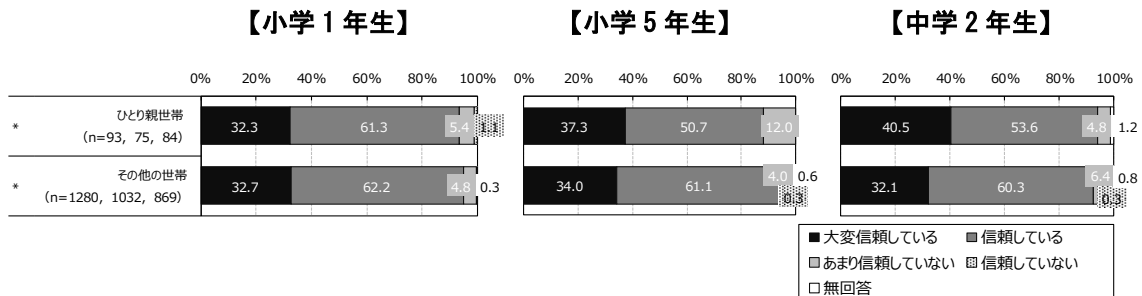
図表 30-13 G 子どもを信頼しているか



《世帯別》

子どもを信頼しているかについては、いずれの学年・世帯においても「信頼している」(「大変信頼している」+「信頼している」)が大半を占めており、小5のその他の世帯で95.1%と最も高くなっています。「信頼していない」(「あまり信頼していない」+「信頼していない」)では、小5のひとり親世帯が12.0%と最も高くなっています。

図表 30-14 G 子どもを信頼しているか



## 6. 4 あなたの地域や友人・知人、社会との関係について

### (1) 当てはまること

【小学1年生：問21、小学5年生・中学2年生：問18】

次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。

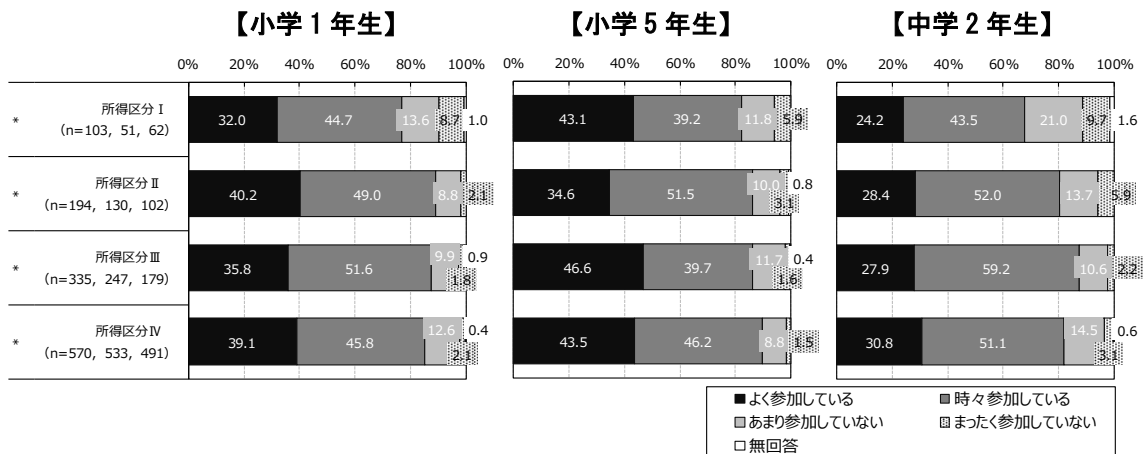
もっとも近いもの1つに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

#### (1-1) A 地域の行事への参加

##### ≪所得区分別≫

地域の行事への参加については、中2の所得区分Iを除く、いずれの所得区分においても「参加している」（「よく参加している」＋「時々参加している」）が大半を占めており、小5の所得区分IVが89.7%と最も高く、中2の所得区分Iが67.7%と最も低くなっています。「参加していない」（「あまり参加していない」＋「まったく参加していない」）では、いずれの学年においても、所得区分Iが最も高くなっており、中2が30.7%となっています。

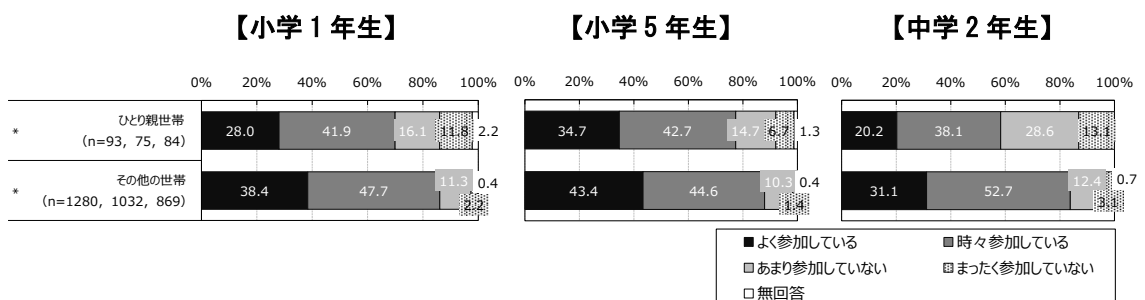
図表 31-1 A 地域の行事への参加



##### ≪世帯別≫

地域の行事への参加については、いずれの学年においても、その他の世帯で「参加している」（「よく参加している」＋「時々参加している」）の割合が8割以上となっており、小5が88.0%と最も高くなっています。ひとり親世帯では半数以上となっており、小5が77.4%と最も高くなっています。一方、「参加していない」（「あまり参加していない」＋「まったく参加していない」）では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっており、中2が41.7%と最も高くなっています。

図表 31-2 A 地域の行事への参加

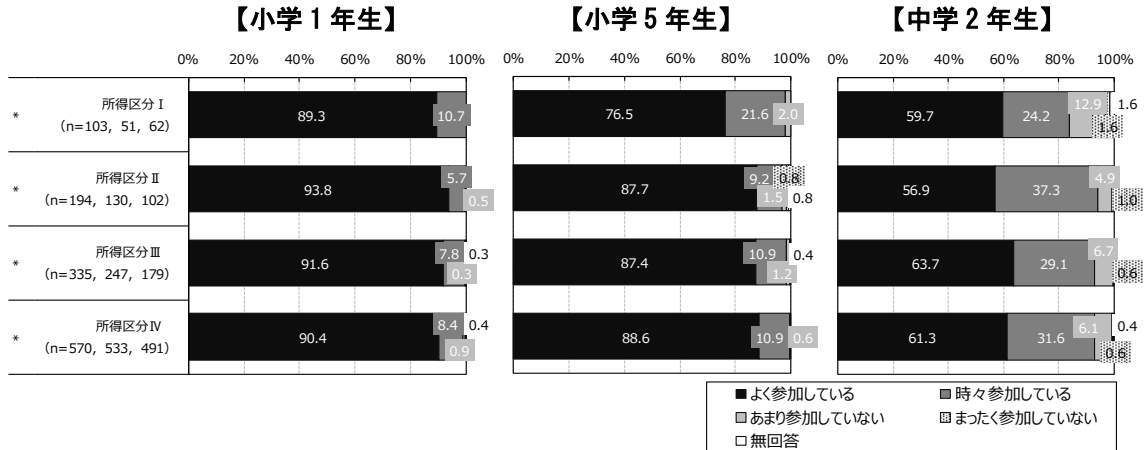


(1-2) B 学校行事への参加

《所得区分別》

学校行事への参加については、小1と小5ではいずれの所得区分においても「よく参加している」の割合が大半を占めており、小1の所得区分Ⅱが93.8%と最も高くなっています。中2ではいずれの所得区分においても「よく参加している」は半数以上となっており、「参加している」（「よく参加している」＋「時々参加している」）では、8割以上となっています。

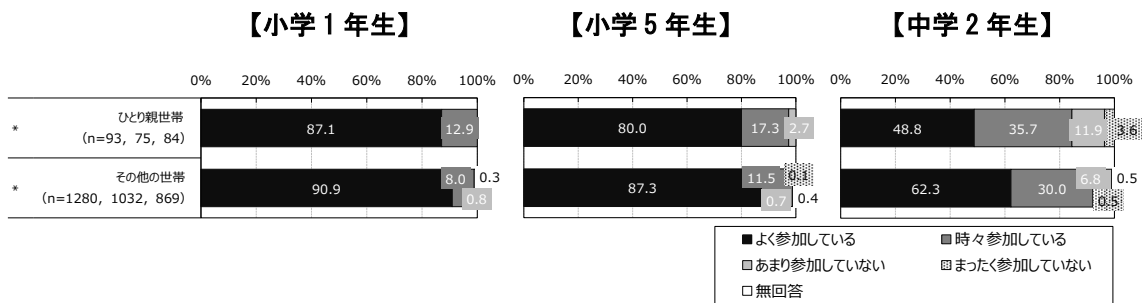
図表 31-3 B 学校行事への参加



《世帯別》

学校行事への参加については、いずれの学年・世帯においても「参加している」（「よく参加している」＋「時々参加している」）の割合が大半を占めており、小1のひとり親世帯が100%となっています。

図表 31-4 B 学校行事への参加

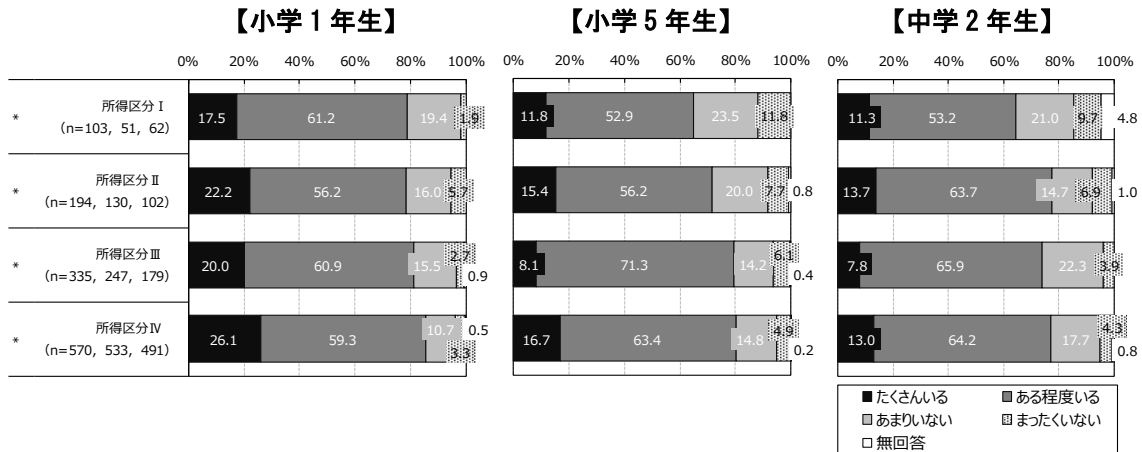


(1-3) C 子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる親戚

《所得区分別》

子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる親戚については、いずれの学年・所得区分においても「いる」（「たくさんいる」＋「ある程度いる」）の割合が6割以上となっており、小1の所得区分Ⅳが85.4%と最も高くなっています。「いない」（「あまりいない」＋「まったくいない」）では、小5の所得区分Ⅰが35.3%と最も高くなっています。

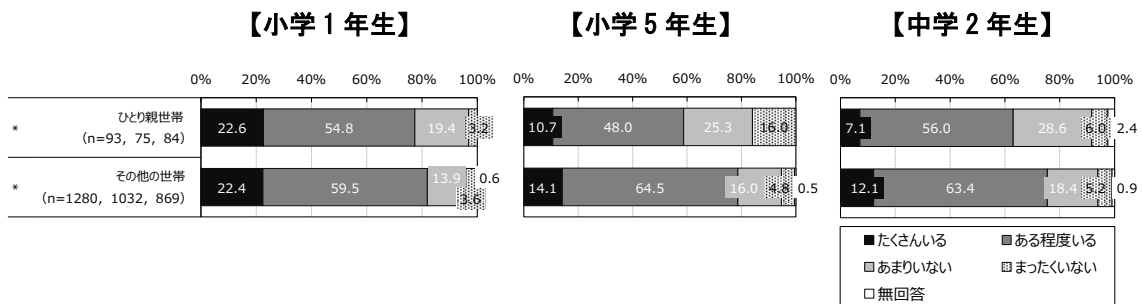
図表 31-5 C 子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる親戚



《世帯別》

子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる親戚については、いずれの学年においても、ひとり親世帯では「いる」（「たくさんいる」＋「ある程度いる」）の割合が半数以上となっており、小1で77.4%と最も高くなっています。その他の世帯では、いずれの学年においても7割以上となっており、小1が81.9%と最も高くなっています。「いない」（「あまりいない」＋「まったくいない」）では、いずれの学年においても、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっており、小5が41.3%と最も高くなっています。

図表 31-6 C 子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる親戚

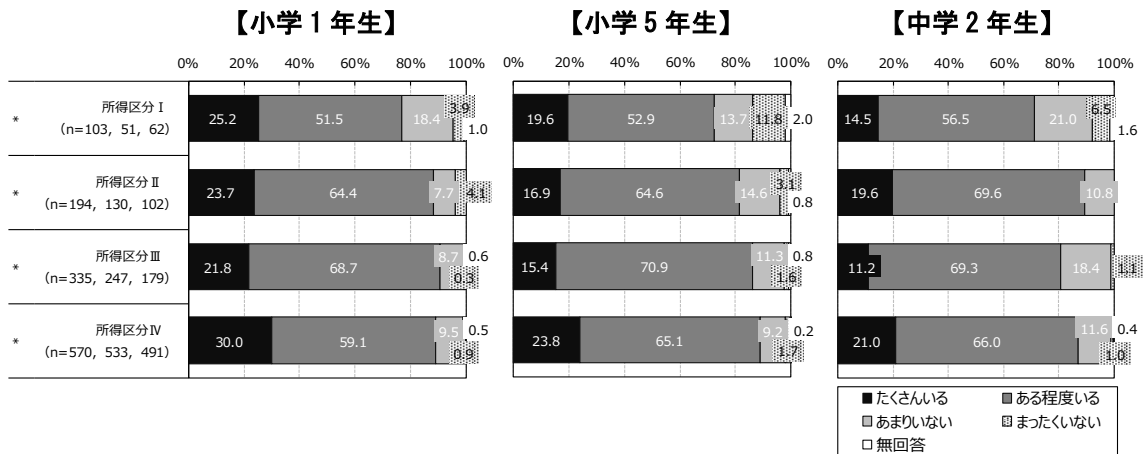


(1-4) D 子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人

《所得区分別》

子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人については、いずれの学年においても所得区分Ⅰでは「いる」（「たくさんいる」＋「ある程度いる」）の割合が7割以上、他の所得区分では8割以上となっており、大半を占めています。「いない」（「あまりいない」＋「まったくいない」）では、いずれの学年においても、所得区分Ⅰで2割以上となっており、中2が27.5%と最も高くなっています。

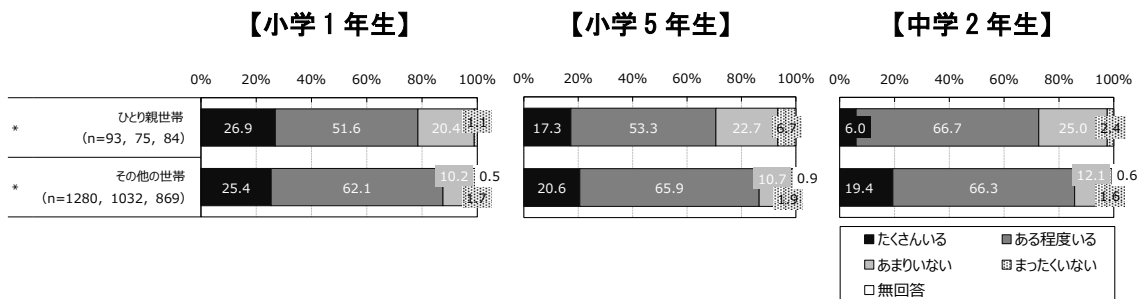
図表 31-7 D 子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人



《世帯別》

子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人については、ひとり親世帯ではいずれの学年においても、「いる」（「たくさんいる」＋「ある程度いる」）の割合が7割以上、その他の世帯では8割以上となっており、大半を占めています。いずれの世帯においても、小1の割合が最も高くなっています。「いない」（「あまりいない」＋「まったくいない」）では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高く、小5が29.4%と最も高くなっています。

図表 31-8 D 子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人



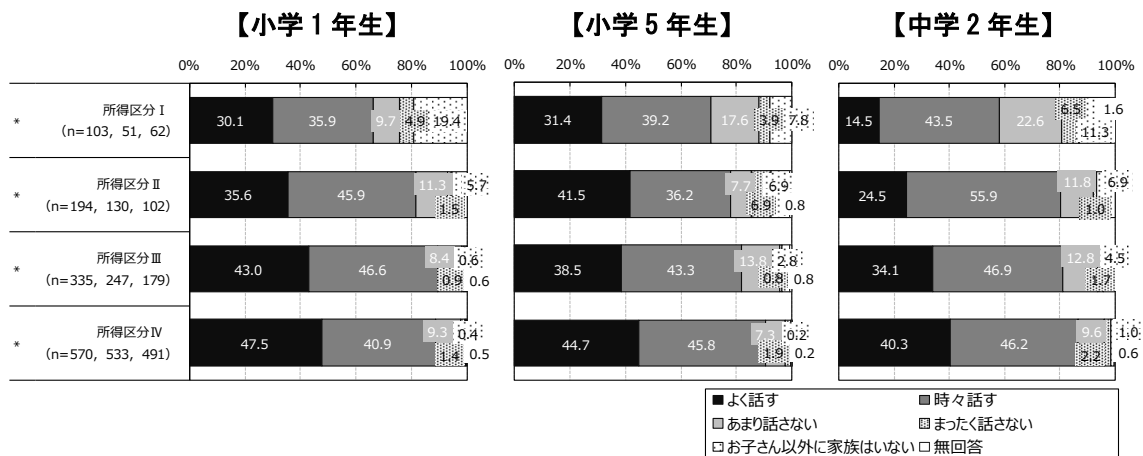


(1-5) E 同居している家族との間での子育てや子どもの教育についての話し合い

《所得区分別》

同居している家族との間での子育てや子どもの教育についての話し合いについては、小1と中2の所得区分Iを除く、いずれの所得区分においても「話す」（「よく話す」＋「時々話す」）の割合が7割以上となっており、小5の所得区分IVが90.5%と最も高くなっています。「話さない」（「あまり話さない」＋「まったく話さない」）では、中2の所得区分Iが29.1%となっており、最も高くなっています。

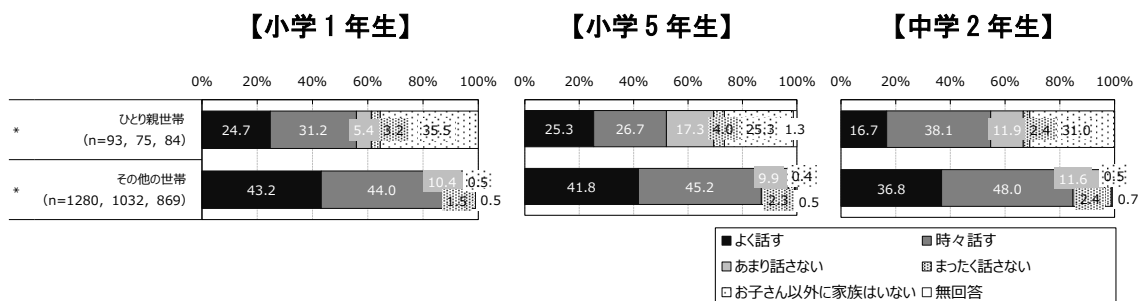
図表 31-9 E 同居している家族との間での子育てや子どもの教育についての話し合い



《世帯別》

同居している家族との間での子育てや子どもの教育についての話し合いについては、いずれの学年においても「話す」（「よく話す」＋「時々話す」）の割合が、ひとり親世帯が半数以上となっています。一方、その他の世帯では8割以上となっており、大半を占めています。「話さない」（「あまり話さない」＋「まったく話さない」）では、小5のひとり親世帯が21.3%と最も高くなっています。「お子さん以外に家族はいない」では、小1のひとり親世帯が35.5%と最も高くなっています。

図表 31-10 E 同居している家族との間での子育てや子どもの教育についての話し合い

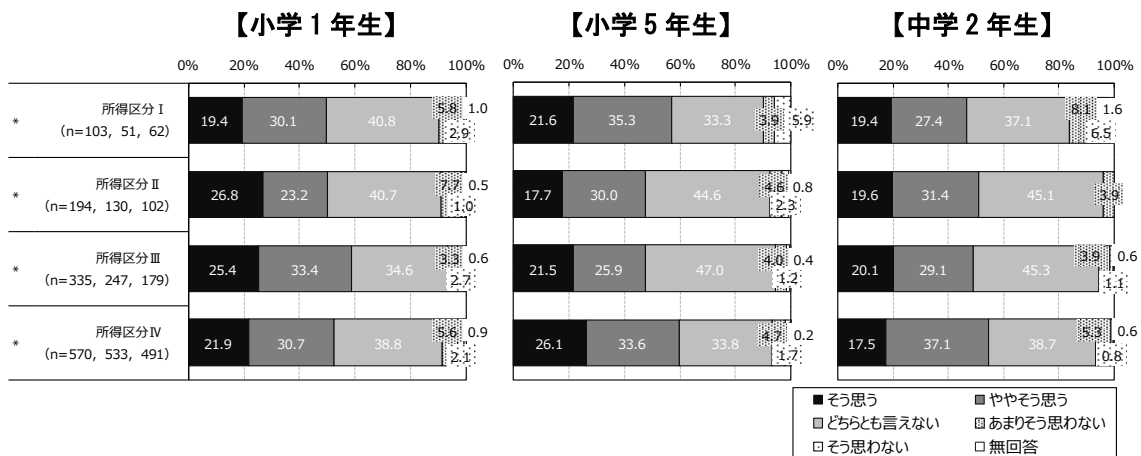


(1-6) F 生活上の困難を解決するために、地域の人々は、お互いに協力すべきか

《所得区分別》

生活上の困難を解決するために、地域の人々は、お互いに協力すべきかについては、いずれの学年・所得区分においても「思う」（「そう思う」＋「ややそう思う」）の割合が5割前後となっており、小5の所得区分Ⅳが59.7%と最も高くなっています。「思わない」（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）では、中2の所得区分Ⅰが14.6%となっており、他の所得区分では1割未満となっています。

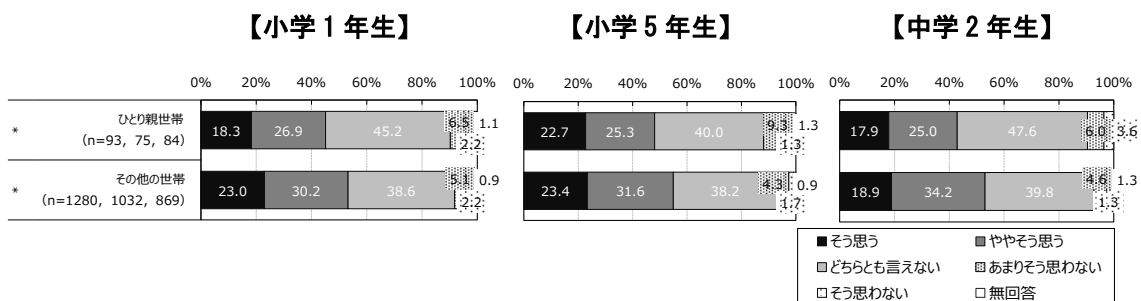
図表 31-11 F 生活上の困難を解決するために、地域の人々は、お互いに協力すべきか



《世帯別》

生活上の困難を解決するために、地域の人々は、お互いに協力すべきかについては、いずれの学年においても、その他の世帯では「思う」（「そう思う」＋「ややそう思う」）の割合が半数を超えており、小5が55.0%と最も高くなっています。「思わない」（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）では、小5のひとり親世帯が10.6%となっており、他の学年・世帯ではいずれも1割未満となっています。

図表 31-12 F 生活上の困難を解決するために、地域の人々は、お互いに協力すべきか



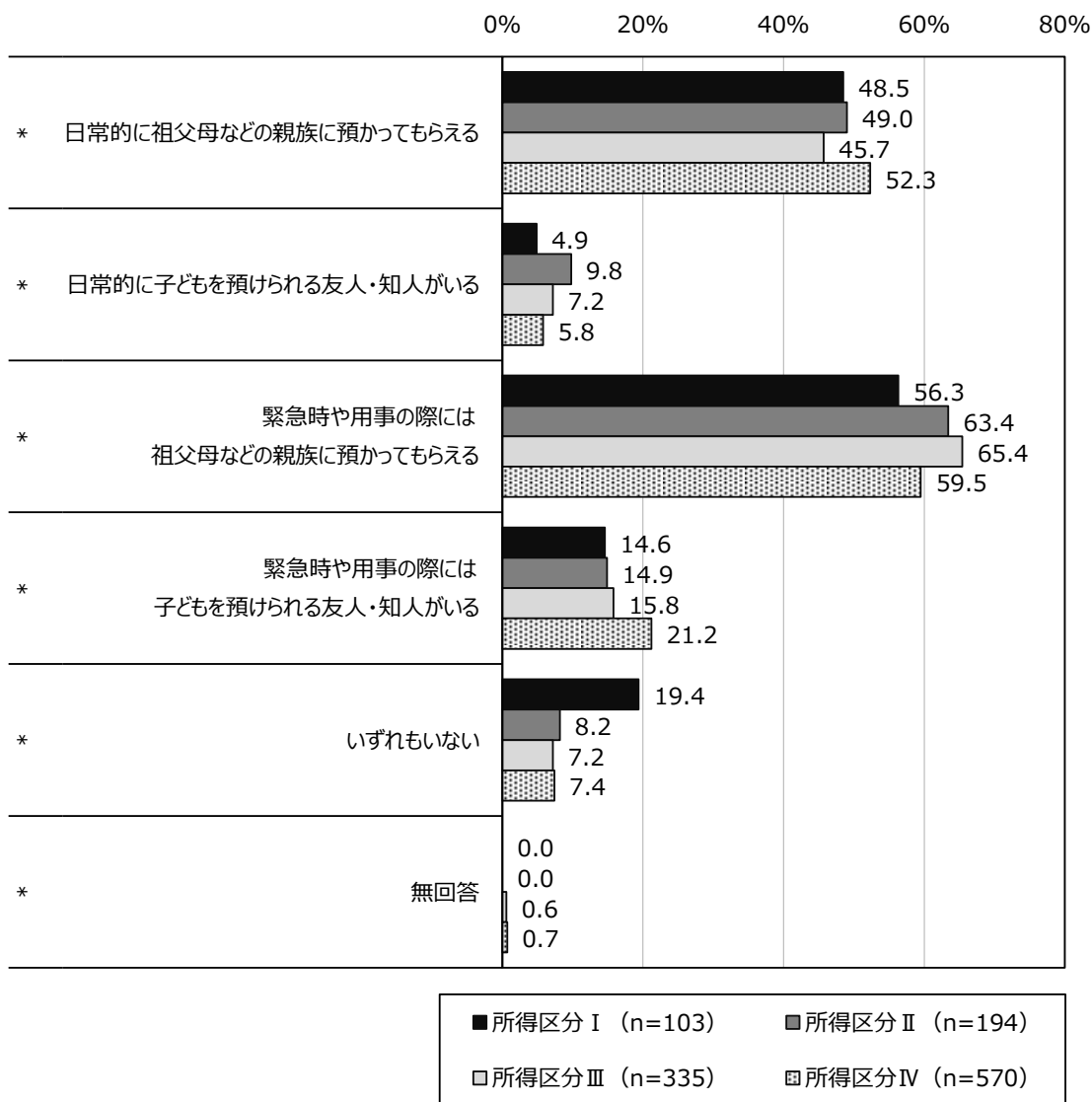
(2) 子どもを預かってもらえる人の有無

【小学1年生のみ：問22】  
 お子さんを預かってもらえる人の有無について教えてください。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも) ※複数回答

《所得区分別》

子どもを預かってもらえる人の有無については、いずれの所得区分においても「緊急時や用事の際には祖父母などの親族に預かってもらえる」が最も高くなっており、次いで「日常的に祖父母などの親族に預かってもらえる」、次いで所得区分Ⅰでは「いずれもない」となっており、他の所得区分では「緊急時や用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」となっています。

図表 32-1 子どもを預かってもらえる人の有無  
 【小学1年生】

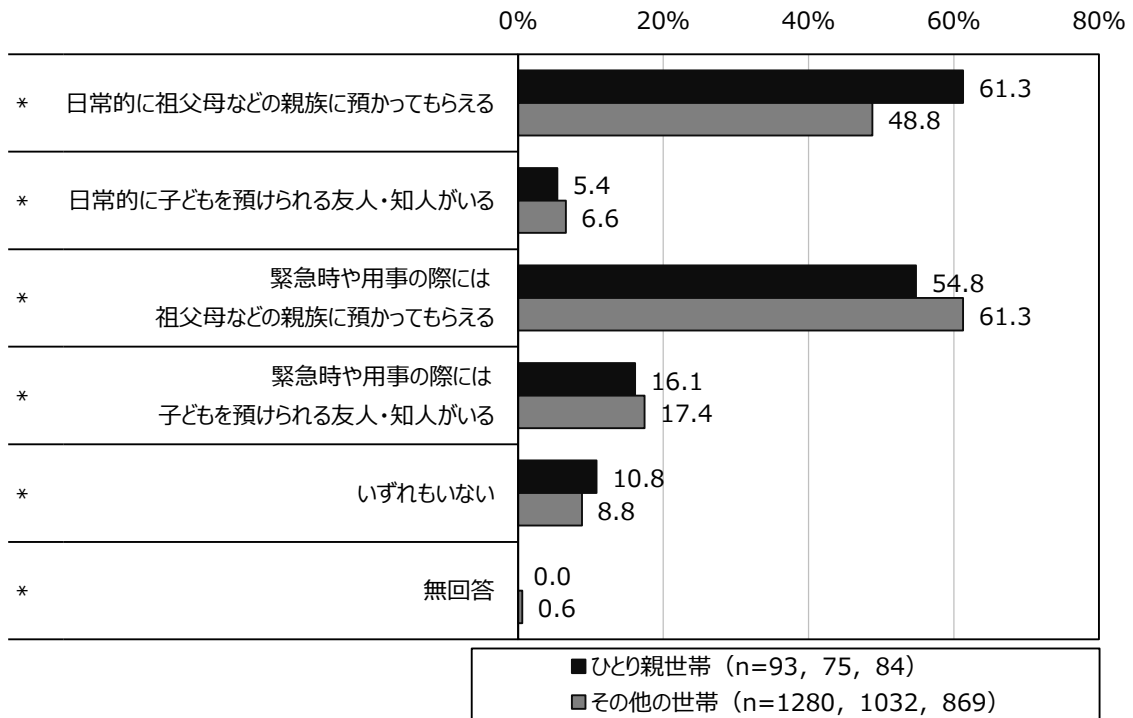


《世帯別》

子どもを預かってもらえる人の有無については、ひとり親世帯では「日常的に祖父母などの親族に預かってもらえる」が 61.3%と最も高くなっており、その他の世帯では「緊急時や用事の際には祖父母などの親族に預かってもらえる」が 61.3%と最も高くなっています。

図表 32-2 子どもを預かってもらえる人の有無

【小学1年生】



## 6. 5 健康状況について

### (1) 健康状態

【小学1年生：問23、小学5年生・中学2年生：問19】

あなたとお子さんの健康状態についてお伺いします。

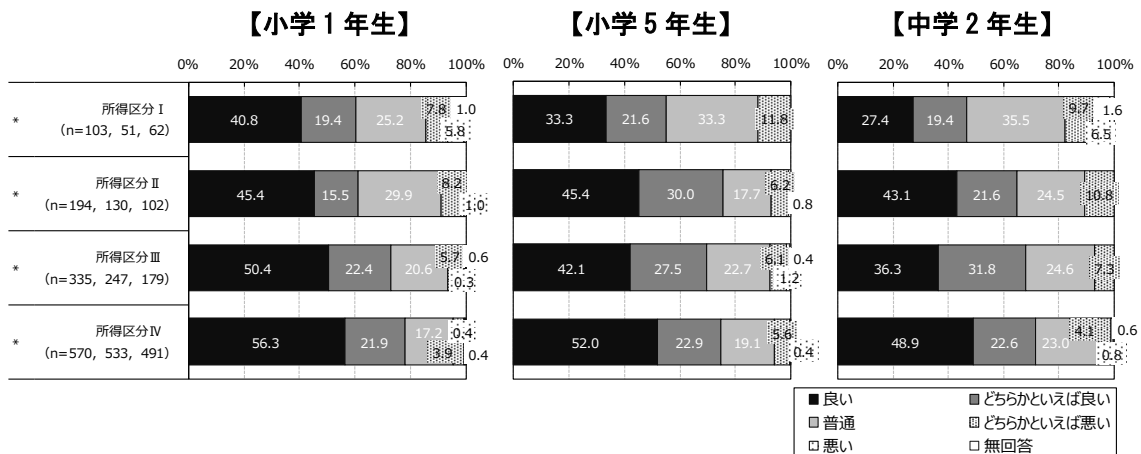
もっとも近いもの1つに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

#### (1-1) A 保護者(回答者)の健康状態

##### ≪所得区分別≫

保護者(回答者)の健康状態については、小5と中2の所得区分Iを除く、いずれの学年・所得区分においても「良い」(「良い」+「どちらかといえば良い」)の割合が6割以上となっており、小1の所得区分IVが78.2%と最も高くなっています。「悪い」(「どちらかといえば悪い」+「悪い」)では、所得区分が低いほど高くなる傾向があり、中2の所得区分Iが16.2%と最も高くなっています。

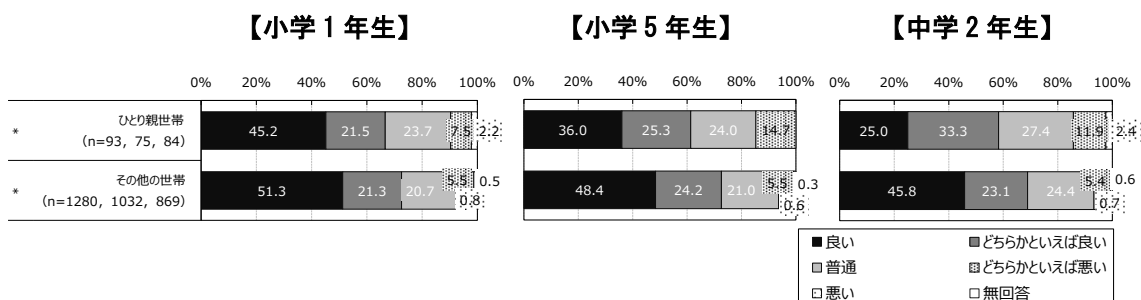
図表 33-1 A 保護者(回答者)の健康状態



##### ≪世帯別≫

保護者(回答者)の健康状態については、中2のひとり親世帯を除く、いずれの学年・世帯においても「良い」(「良い」+「どちらかといえば良い」)の割合が6割以上となっており、最も高かったのは、小1と小5のその他の世帯で、ともに72.6%となっています。「悪い」(「どちらかといえば悪い」+「悪い」)では、その他の世帯が1割未満となっています。一方、ひとり親世帯では、小5と中2で1割以上となっており、小5の14.7%が最も高くなっています。

図表 33-2 A 保護者(回答者)の健康状態

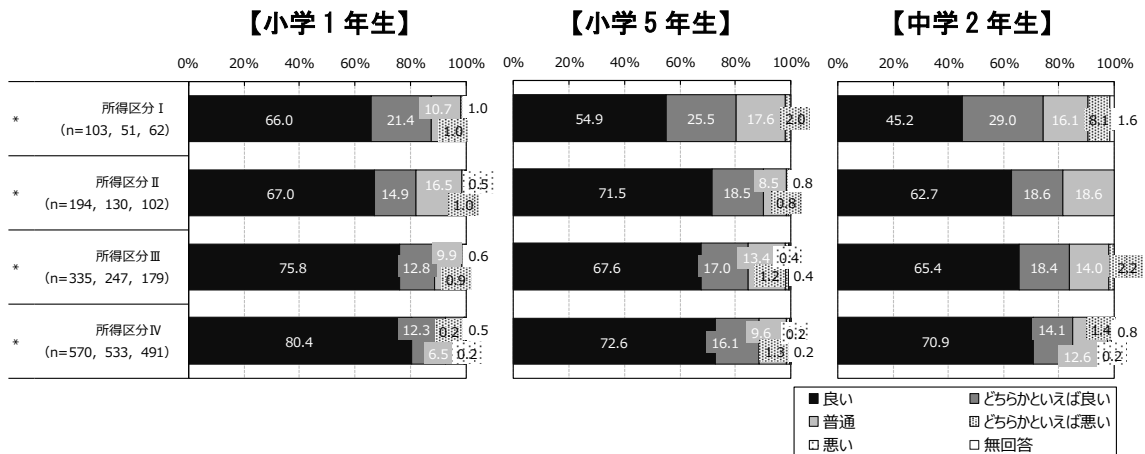


## (1-2) B 子どもの健康状態

### 《所得区分別》

子どもの健康状態については、「良い」（「良い」＋「どちらかといえば良い」）の割合が、中2の所得区分Ⅰでは7割以上、いずれの学年においても、他の所得区分では8割以上となっており、大半を占めています。「悪い」（「どちらかといえば悪い」＋「悪い」）では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

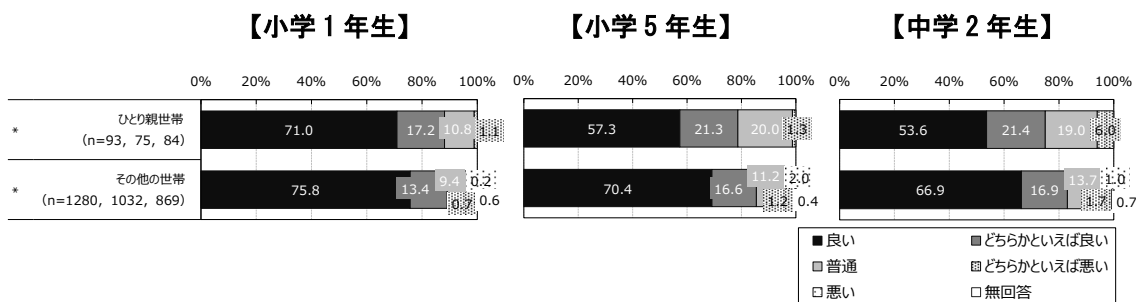
図表 33-3 B 子どもの健康状態



### 《世帯別》

子どもの健康状態については、「良い」（「良い」＋「どちらかといえば良い」）の割合が、小5と中2のひとり親世帯では7割以上、その他の世帯では8割以上となっており、小1のその他の世帯が89.2%と最も高くなっています。「悪い」（「どちらかといえば悪い」＋「悪い」）では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 33-4 B 子どもの健康状態に



(2) 心の状態

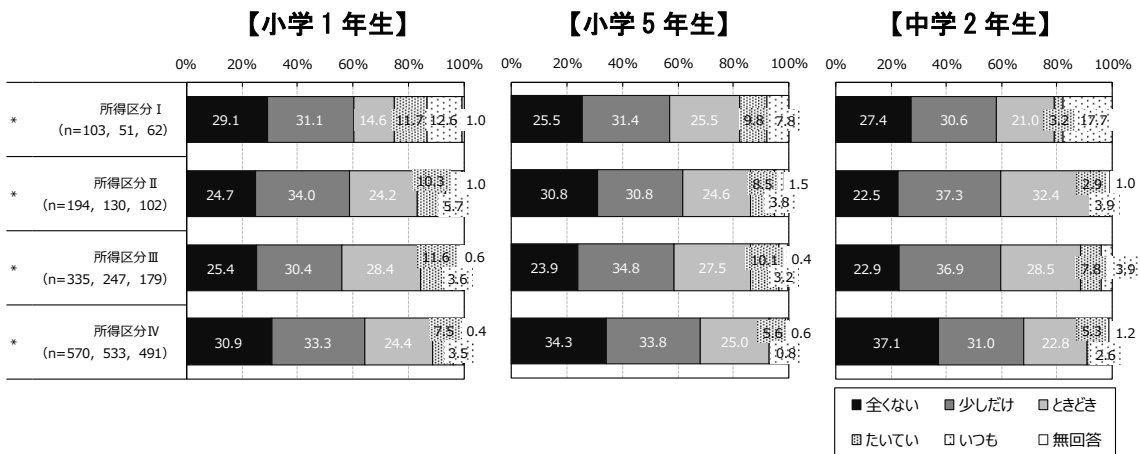
【小学1年生：問24、小学5年生・中学2年生：問20】  
 あなたの心の状態についてお聞きします。  
 過去30日の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか。  
 A～Jについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

(2-1) A 理由もなく疲れ切ったように感じたか

《所得区分別》

理由もなく疲れ切ったように感じたかについては、いずれの学年においても「全くない」の割合が所得区分Ⅳと小5の所得区分Ⅱで3割を超えています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、中2の所得区分Ⅱが69.7%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、小1と中2の所得区分Ⅰが2割以上となっており、小1の24.3%が最も高くなっています。

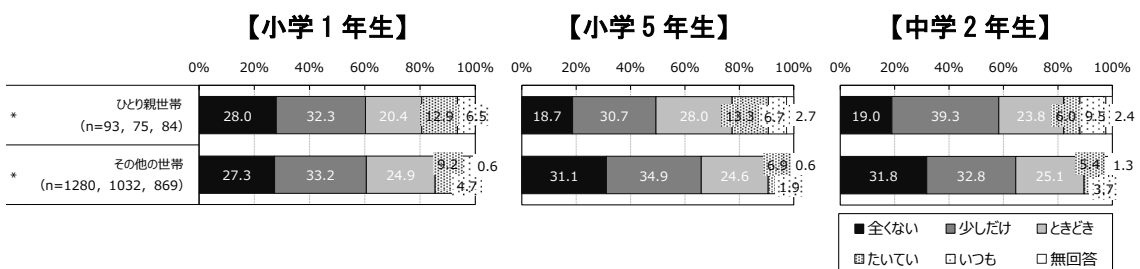
図表 34-1 A 理由もなく疲れ切ったように感じたか



《世帯別》

理由もなく疲れ切ったように感じたかについては、いずれの学年・世帯においても「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)の割合が半数以上となっており、中2のひとり親世帯が63.1%と最も高くなっています。「全くない」では、中2のその他の世帯が31.8%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高く、小5が20.0%と最も高くなっています。

図表 34-1 A 理由もなく疲れ切ったように感じたか

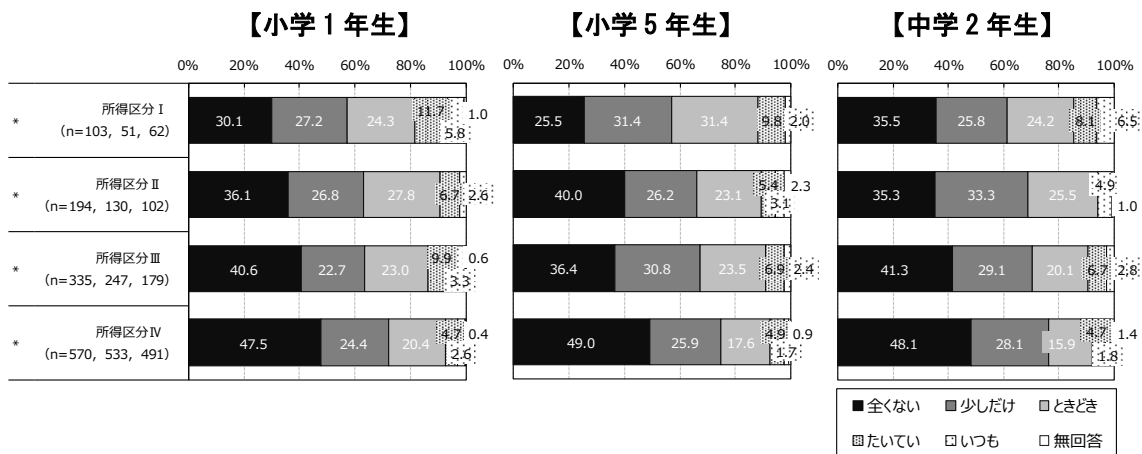


(2-2) B 神経過敏に感じたか

《所得区分別》

神経過敏に感じたかについては、「全くない」がいずれの学年においても所得区分Ⅳの割合が約半数となっており、小5の所得区分Ⅳが49.0%と最も高くなっています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、小5の所得区分Ⅰが62.8%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、いずれの学年においても、所得区分Ⅰと小1の所得区分Ⅲが1割以上となっています。

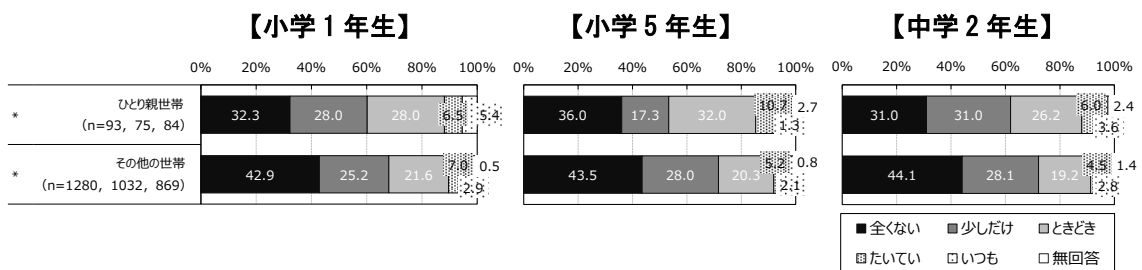
図表 34-3 B 神経過敏に感じたか



《世帯別》

神経過敏に感じたかについては、いずれの学年・世帯においても「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)の割合が高く、中2のひとり親世帯が57.2%と最も高くなっています。「全くない」では、その他の世帯で、いずれの学年においても4割以上となっており、中2が44.1%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、いずれの学年においても、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高く、小5が12.0%と最も高くなっています。

図表 34-4 B 神経過敏に感じましたか



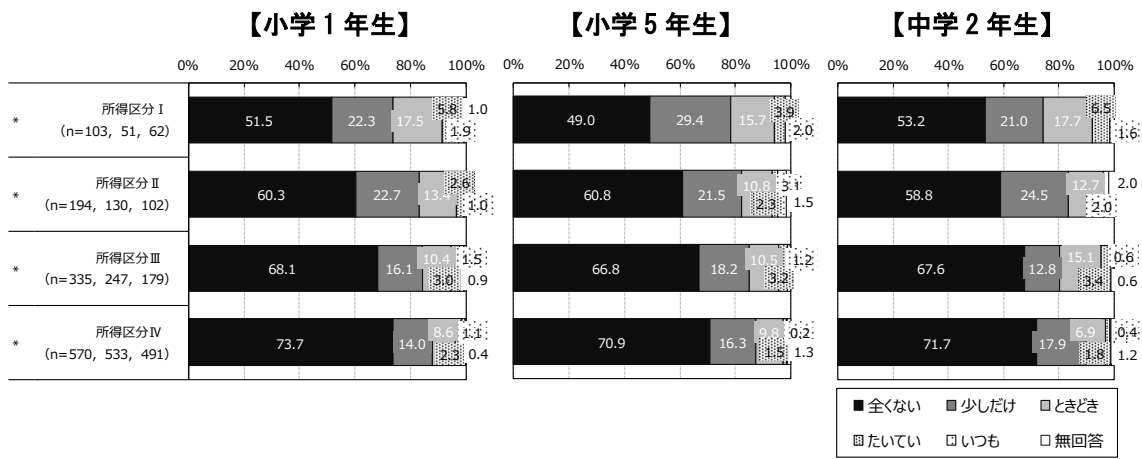


(2-3) C どうしても落ち着けないくらいに、神経過敏に感じたか

《所得区分別》

どうしても落ち着けないくらいに、神経過敏に感じたかについては、小5の所得区分Iを除く、いずれの学年・所得区分においても「全くない」の割合が半数以上となっており、所得区分IVでは7割以上となっています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、所得区分が低いほど割合が高く、小5の所得区分Iが45.1%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

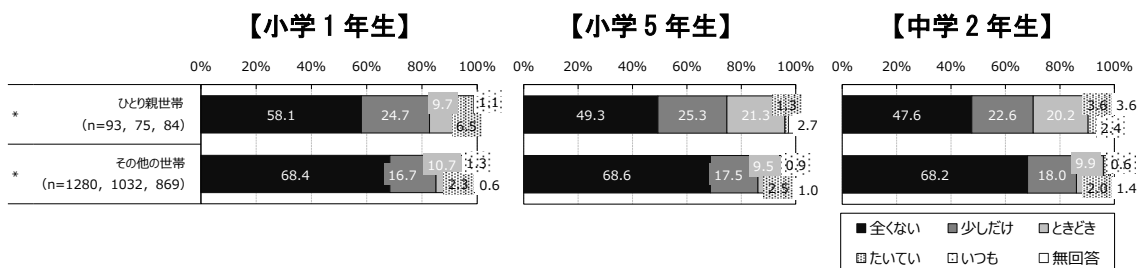
図表 34-5 C どうしても落ち着けないくらいに、神経過敏に感じたか



《世帯別》

どうしても落ち着けないくらいに、神経過敏に感じたかについては、いずれの学年・世帯においても「全くない」の割合が高くなっています。その他の世帯では6割以上となっており、小5が68.6%と最も高くなっています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高く、小5が46.6%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 34-6 C どうしても落ち着けないくらいに、神経過敏に感じたか

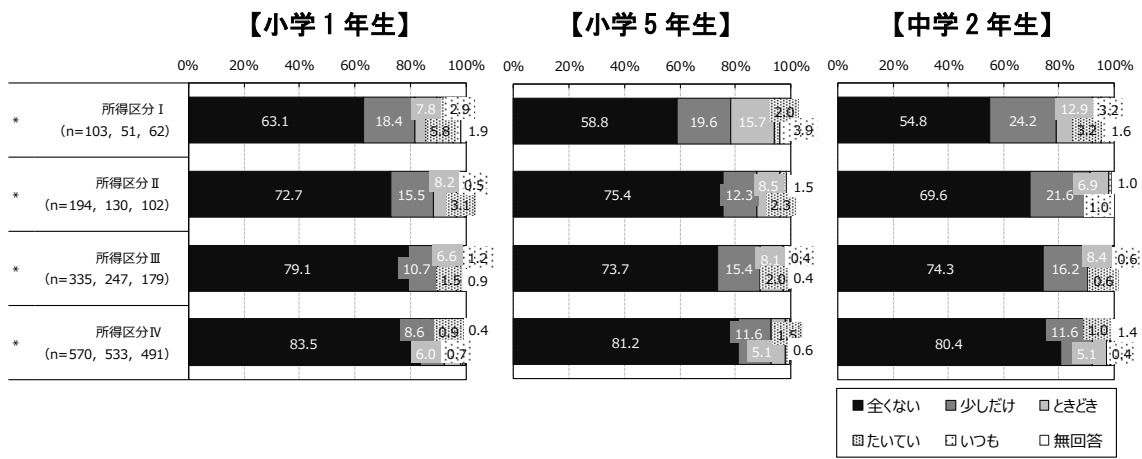


(2-4) D 絶望的だと感じたか

《所得区分別》

絶望的だと感じたかについては、いずれの学年においても、所得が上がるにつれて「全くない」の割合が高くなる傾向があります。所得区分Ⅳでは、いずれの学年においても「全くない」が8割以上となっており、大半を占めています。「たまに」（「少しだけ」＋「ときどき」）では、所得が低いほど高くなる傾向があり、中2の所得区分Ⅰが37.1%と最も高くなっています。「常に」（「たいてい」＋「いつも」）では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています

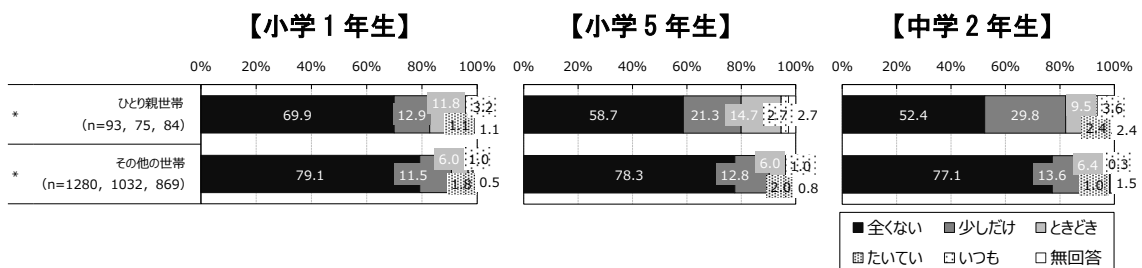
図表 34-7 D 絶望的だと感じたか



《世帯別》

絶望的だと感じたかについては、いずれの学年・世帯においても「全くない」の割合が高くなっています。いずれの学年においても、その他の世帯では7割以上となっており、小1が79.1%と最も高くなっています。「たまに」（「少しだけ」＋「ときどき」）では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高く、中2が39.3%と最も高くなっています。「常に」（「たいてい」＋「いつも」）では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています

図表 34-8 D 絶望的だと感じたか

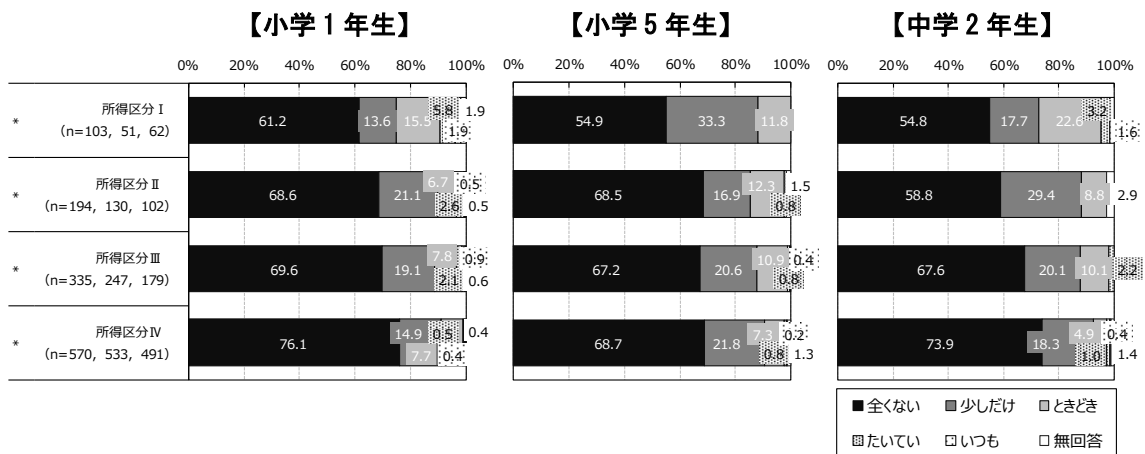


(2-5) E そわそわ、落ち着かなく感じたか

《所得区分別》

そわそわ、落ち着かなく感じたかについては、いずれの学年・所得区分においても「全くない」の割合が半数以上となっており、所得が上がるにつれて割合が高くなる傾向があります。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、所得が低いほど割合が高くなる傾向があり、小5の所得区分Ⅰが45.1%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

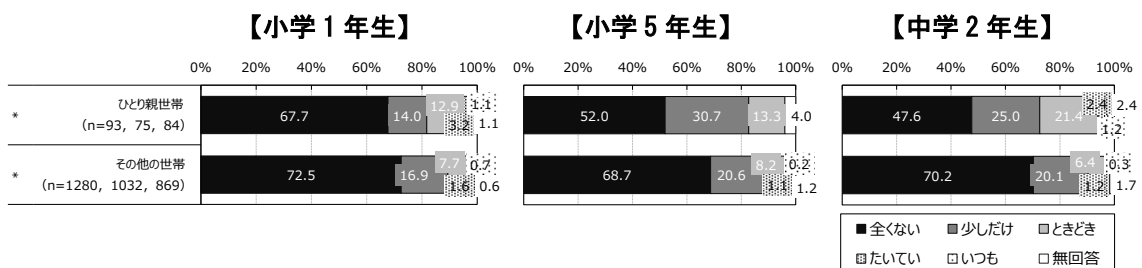
図表 34-9 E そわそわ、落ち着かなく感じたか



《世帯別》

そわそわ、落ち着かなく感じたかについては、中2のひとり親世帯を除き「全くない」の割合が半数以上となっており、小1のその他の世帯が72.5%と最も高くなっています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高く、中2が46.4%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 34-10 E そわそわ、落ち着かなく感じたか

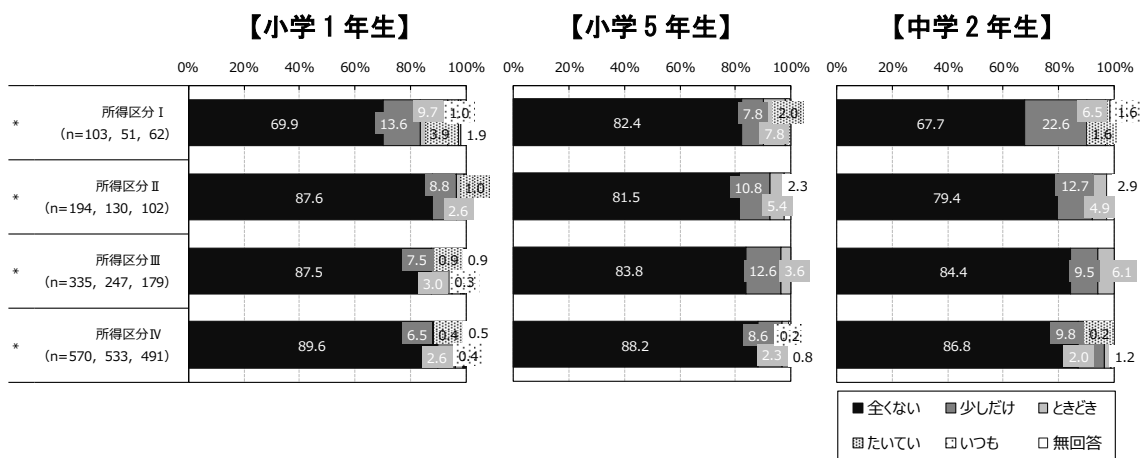


(2-6) F じっと座ってられないほど落ち着かなく感じたか

《所得区分別》

じっと座ってられないほど落ち着かなく感じたかについては、いずれの学年・所得区分においても「全くない」の割合が6割以上となっており、所得が上がるにつれて、割合が高くなる傾向があります。いずれの学年においても、所得区分Ⅳが最も高く、小1が89.6%と最も高くなっています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、所得が低いほど割合が高くなる傾向があり、中2の所得区分Ⅰが29.1%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています

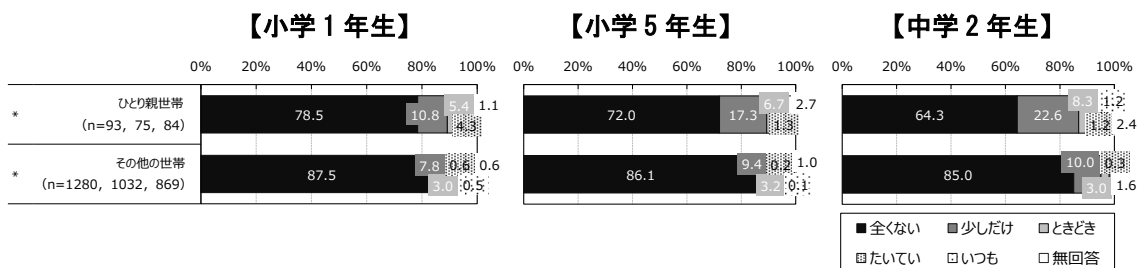
図表 34-11 F じっと座ってられないほど落ち着かなく感じたか



《世帯別》

じっと座ってられないほど落ち着かなく感じたかについては、いずれの学年・世帯においても「全くない」の割合が最も高く、その他の世帯では8割以上と大半を占めています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高く、中2の30.9%が最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています

図表 34-12 F じっと座ってられないほど落ち着かなく感じたか

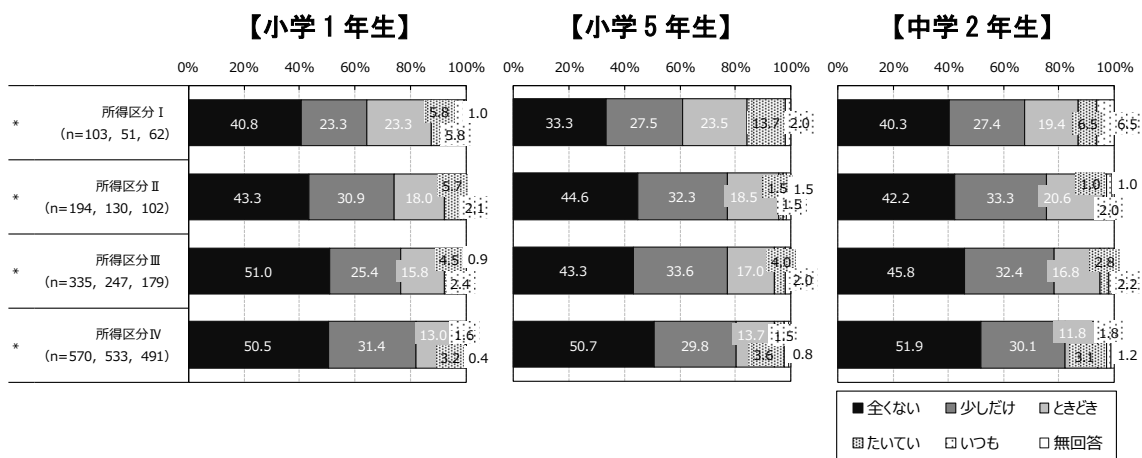


(2-7) G ゆううつに感じたか

《所得区分別》

ゆううつに感じたかについては、小5の所得区分Ⅰを除く、いずれの学年・所得区分においても「全くない」の割合が4割以上となっており、所得が上がるにつれて、割合が高くなる傾向があり、中2の所得区分Ⅳが51.9%と最も高くなっています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、いずれの学年・所得区分においても4割以上となっており、中2の所得区分Ⅱが53.9%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、いずれの学年においても、所得区分Ⅰでは1割以上となっており、他の所得区分では1割未満となっています。

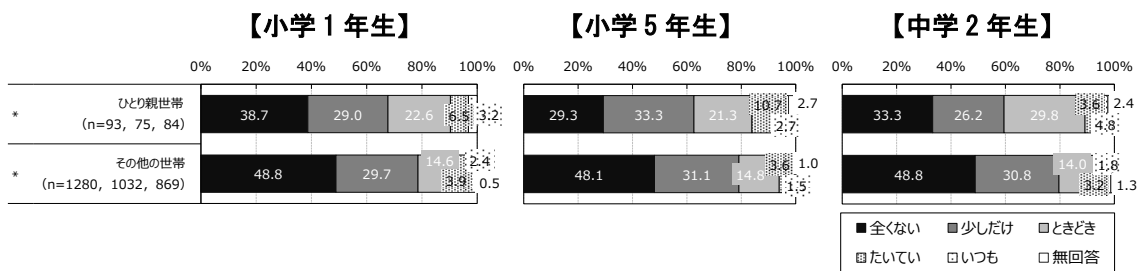
図表 34-13 G ゆううつに感じたか



《世帯別》

ゆううつに感じたかについては、いずれの学年においても、ひとり親世帯では「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)の割合が半数以上となっており、中2では56.0%と最も高くなっています。その他の世帯では、いずれの学年においても「全くない」が4割以上となっており、小1・中2が48.8%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、小5のひとり親世帯が13.4%となっており、その他の世帯では、いずれの学年においても1割未満となっています。

図表 34-14 G ゆううつに感じたか

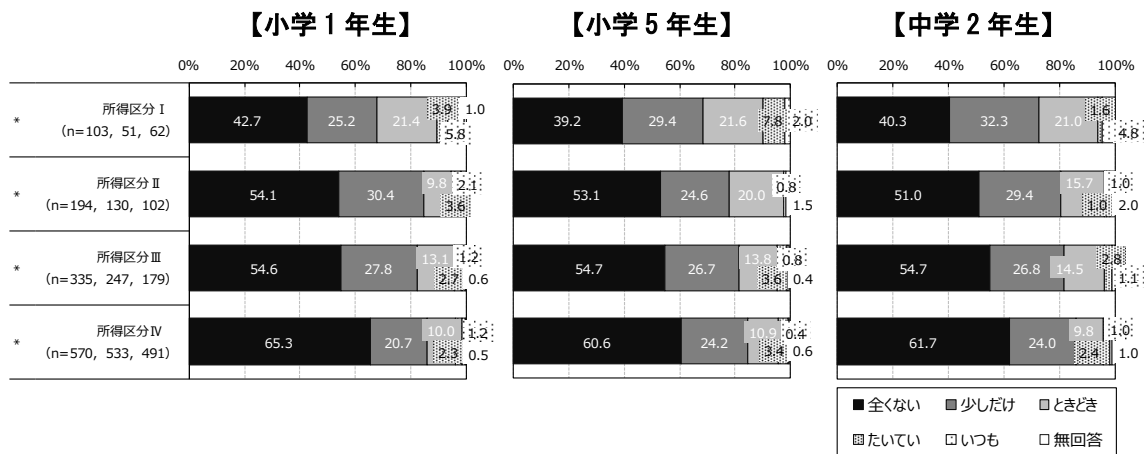


(2-8) H 気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れないように感じたか

《所得区分別》

気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れないように感じたかについては、いずれの学年においても「全くない」は所得が上がるにつれて、割合が高くなる傾向があり、小1の所得区分Ⅳが65.3%と最も高くなっています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、いずれの学年においても、所得が低いほど割合が高くなる傾向があり、中2の所得区分Ⅰが53.3%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

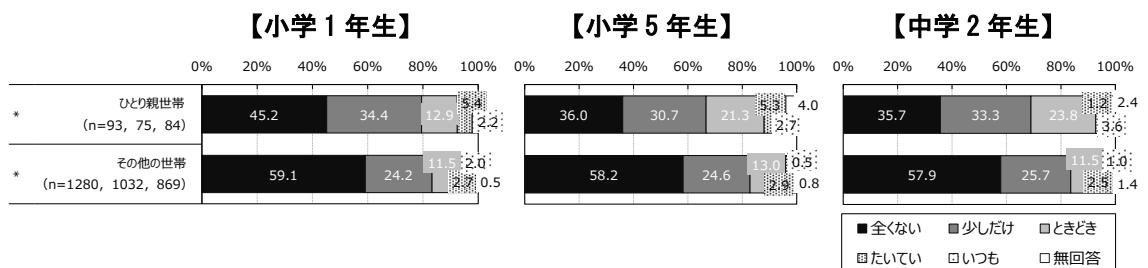
図表 34-15 H 気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れないように感じたか



《世帯別》

気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れないように感じたかについては、いずれの学年においても、ひとり親世帯では「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)の割合が高く、中2では57.1%と最も高くなっています。一方、その他の世帯では、いずれの学年においても「全くない」が半数以上となっており、小1では59.1%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 34-16 H 気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れないように感じたか

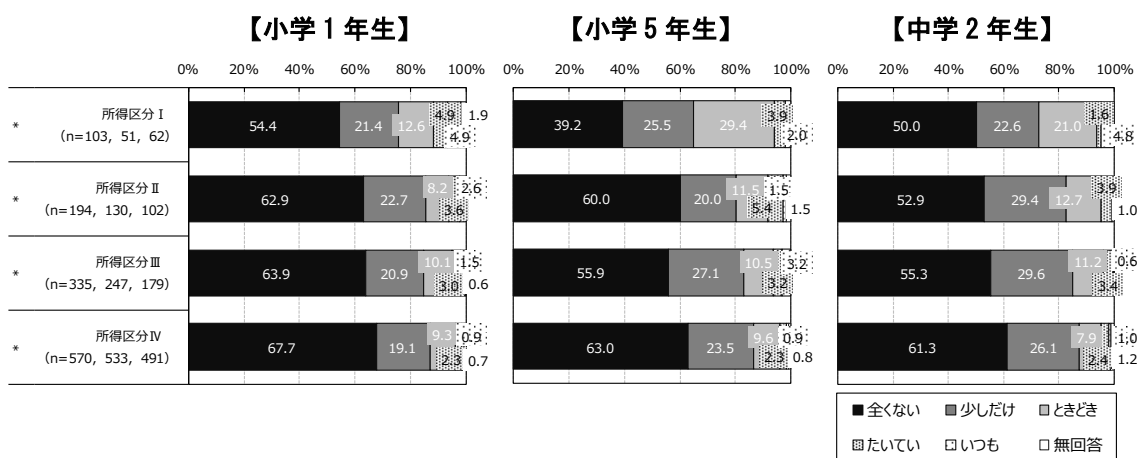


(2-9) I 何をするのも骨折りだと感じたか

《所得区分別》

何をするのも骨折りだと感じたかについては、小5の所得区分Iを除いた、いずれの学年・所得区分においても、「全くない」の割合が半数以上となっており、所得が上がるにつれて、割合が高くなる傾向があり、小1の所得区分IVが67.7%と最も高くなっています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、いずれの学年においても、所得が低いほど割合が高くなる傾向があり、小5の所得区分Iが54.9%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

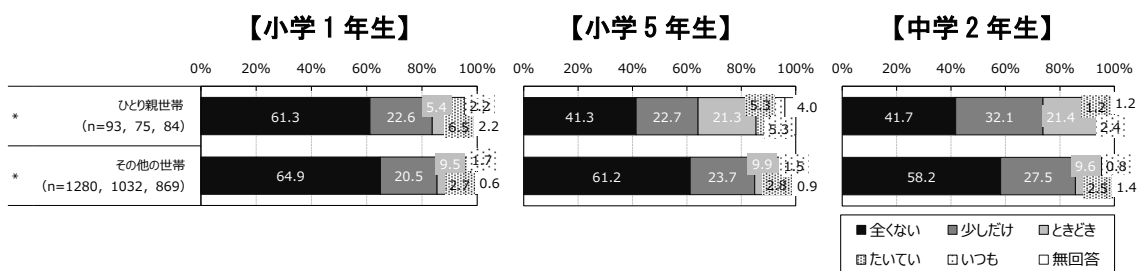
図表 34-17 I 何をするのも骨折りだと感じたか



《世帯別》

何をするのも骨折りだと感じたかについては、小5と中2のひとり親世帯では「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)の割合が高く、中2では53.5%と最も高くなっています。一方、いずれの学年においても、その他の世帯と小1のひとり親世帯では「全くない」が半数以上となっており、小1のその他の世帯で64.9%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、小5のひとり親世帯では10.6%となっており、他の学年・世帯ではいずれも1割未満となっています。

図表 34-18 I 何をするのも骨折りだと感じたか

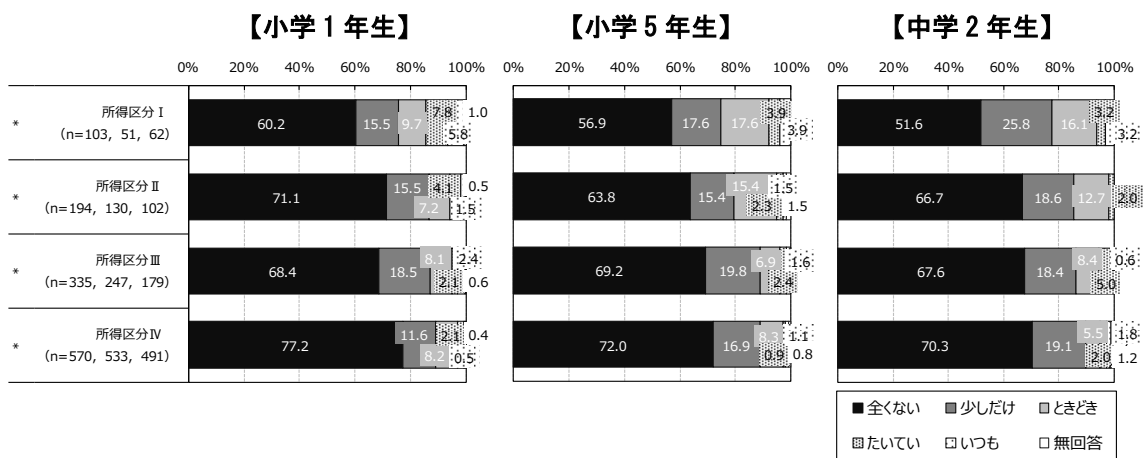


(2-10) J 自分は価値のない人間だと感じたか

《所得区分別》

自分は価値のない人間だと感じたかについては、いずれの学年・所得区分においても、「全くない」の割合が半数以上となっており、所得が上がるにつれて、割合が高くなる傾向があり、小1の所得区分Ⅳが77.2%と最も高くなっています。「たまに」（「少しだけ」＋「ときどき」）では、いずれの学年においても、所得が低いほど割合が高くなる傾向があり、中2の所得区分Ⅰが41.9%と最も高くなっています。「常に」（「たいてい」＋「いつも」）では、小1の所得区分Ⅰが13.6%となっており、他の所得区分ではいずれも1割未満となっています。

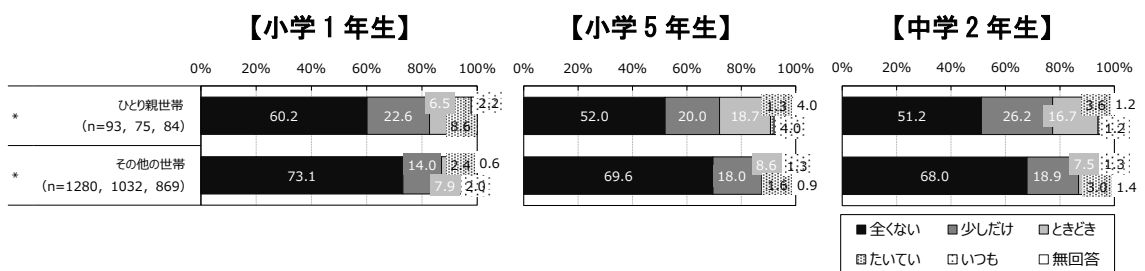
図表 34-19 J 自分は価値のない人間だと感じたか



《世帯別》

自分は価値のない人間だと感じたかについては、いずれの学年・世帯においても「全くない」の割合が高く、小1のその他の世帯が73.1%と最も高くなっています。いずれの学年においても、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が割合は高くなっています。一方、「たまに」（「少しだけ」＋「ときどき」）では、いずれの学年においても、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高く、中2が42.9%と最も高くなっています。「常に」（「たいてい」＋「いつも」）では、小1のひとり親世帯が10.8%となっており、他の学年・世帯ではいずれも1割未満となっています。

図表 34-20 J 自分は価値のない人間だと感じましたか





## 6.6 人生経験について

### (1) 母親の最終学歴

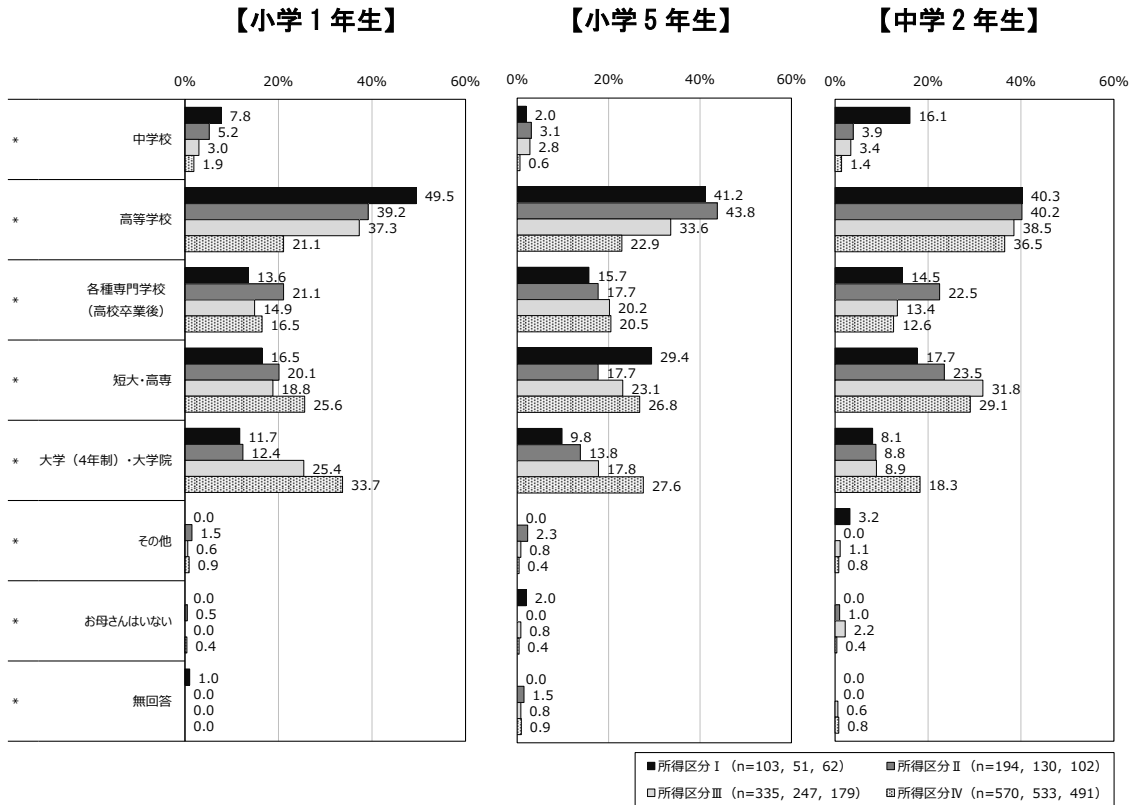
【小学1年生：問26、小学5年生・中学2年生：問22】

お子さんのお母さん（またはお母さんに代わる方）の最終学歴を教えてください。  
あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

《所得区分別》

母親の最終学歴については、小1・小5では、所得区分Ⅰ・Ⅱ・Ⅲは「高等学校」が最も高く、所得区分Ⅳでは「大学（4年制）・大学院」が最も高くなっています。中2では、いずれの所得区分においても「高等学校」が最も高くなっており、次いで「短大・高専」となっています。

図表 35-1 母親の最終学歴



《世帯別》

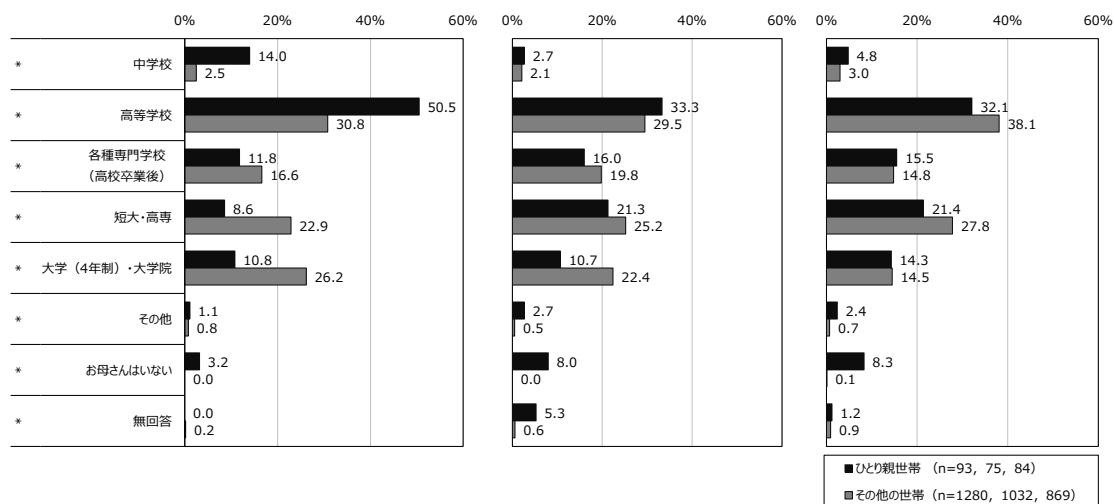
母親の最終学歴については、いずれの学年・世帯においても「高等学校」が最も高くなっています。小1のひとり親世帯では50.5%と半数以上となっています。

図表 35-2 母親の最終学歴

【小学1年生】

【小学5年生】

【中学2年生】



## (2) 父親の最終学歴

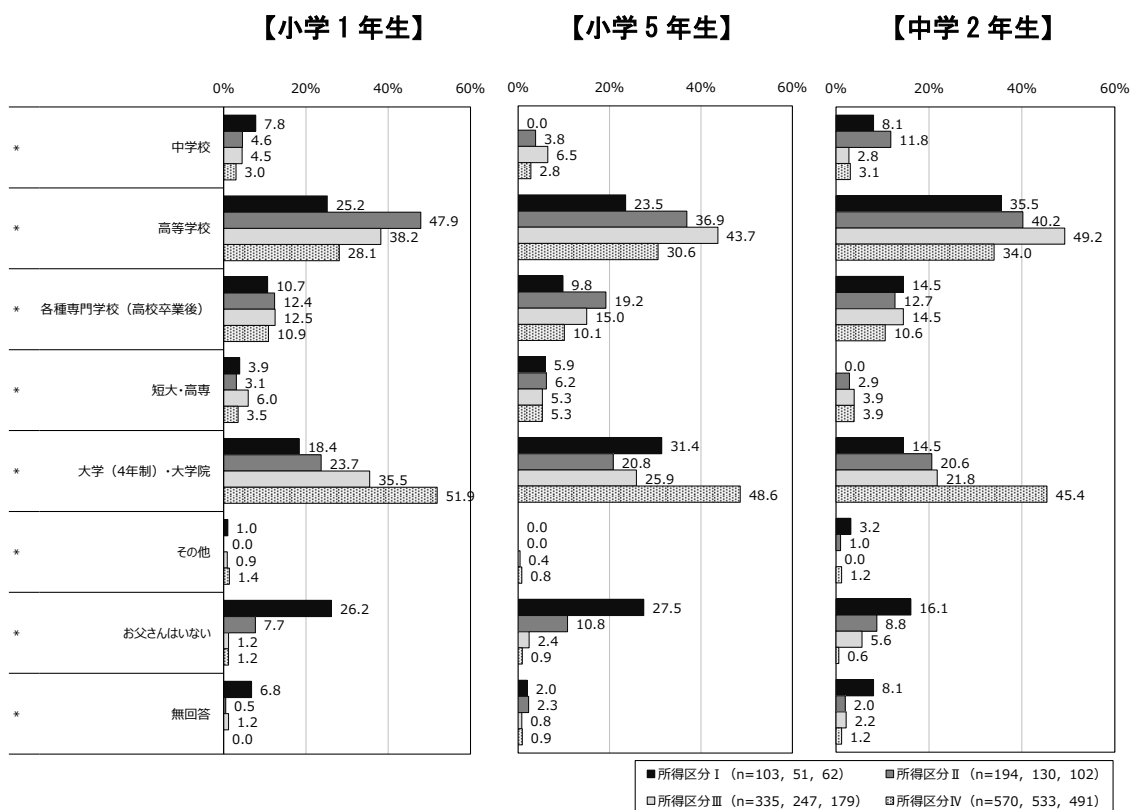
【小学1年生：問27、小学5年生・中学2年生：問23】

お子さんのお父さん（またはお父さんに代わる方）の最終学歴を教えてください。  
 あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

### 《所得区分別》

父親の最終学歴については、小1・中2では所得区分Ⅰ・Ⅱ・Ⅲは「高等学校」が最も高く、所得区分Ⅳでは「大学（4年制）・大学院」が最も高くなっています。小5では、所得区分ⅠとⅣでは「大学（4年制）・大学院」が最も高くなっており、所得区分ⅡとⅢでは「高等学校」が最も高くなっています。

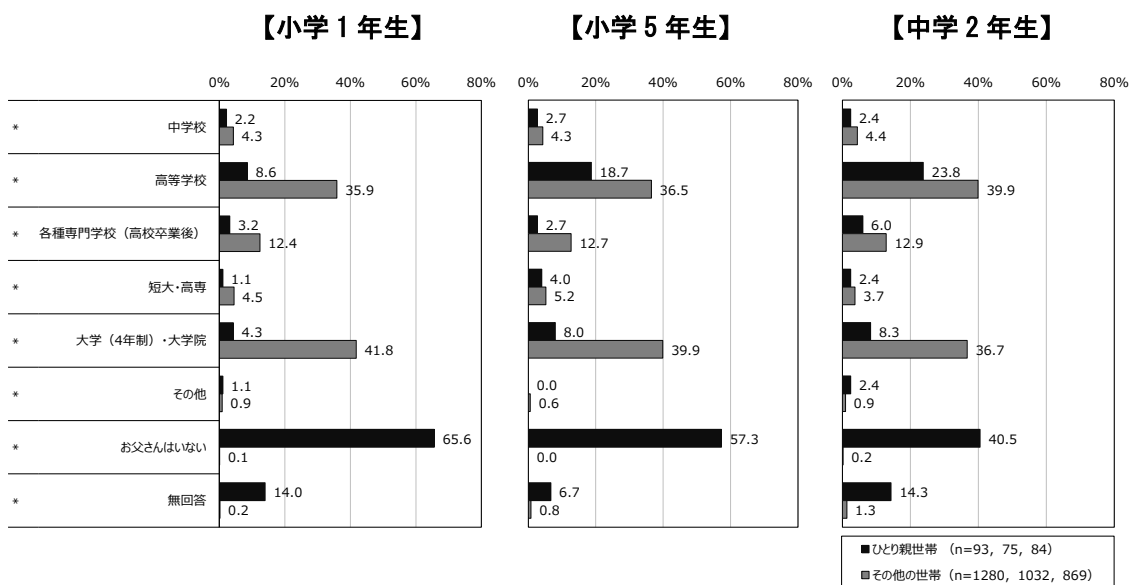
図表 36-1 父親の最終学歴



《世帯別》

父親の最終学歴については、小1と小5のその他の世帯では「大学（4年制）・大学院」が最も高く、中2のその他の世帯では「高等学校」が最も高くなっています。

図表 36-2 父親の最終学歴



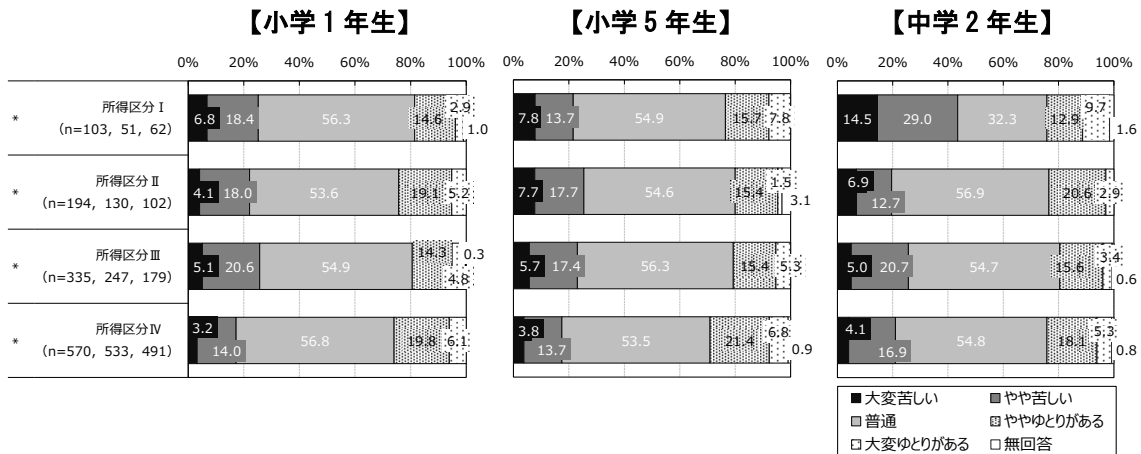
### (3) 15 歳頃の家庭の暮らし向き

【小学 1 年生：問 29、小学 5 年生・中学 2 年生：問 25】  
 あなたの 15 歳頃のご家庭の暮らし向きはどうだったと感じますか。  
 あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

#### 《所得区分別》

15 歳頃の家庭の暮らし向きについては、中 2 の所得区分 I を除く、いずれの学年・所得区分においても「普通」の割合が半数以上を超えており、中 2 の所得区分 II が 56.9%と最も高くなっています。「苦しい」(「大変苦しい」+「やや苦しい」)は、中 2 の所得区分 I が 43.5%と最も高くなっています。「ゆとりがある」(「ややゆとりがある」+「大変ゆとりがある」)では、小 5 の所得区分 IV が 28.2%と最も高くなっています。

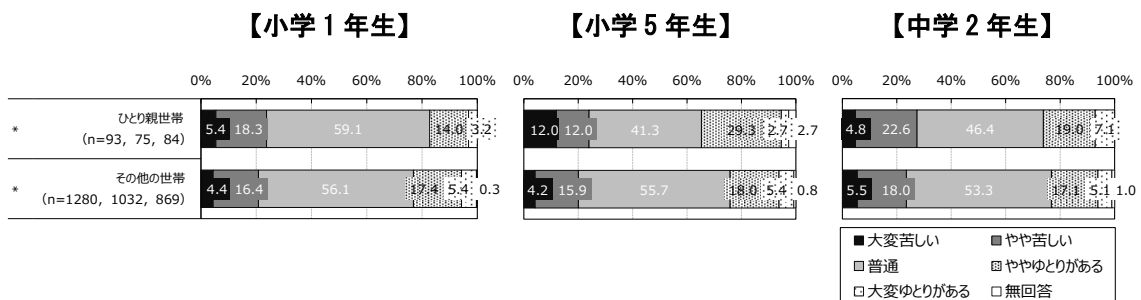
図表 37-1 15 歳頃の家庭の暮らし向き



#### 《世帯別》

15 歳頃の家庭の暮らし向きについては、いずれの学年・世帯においても「普通」の割合が高く、小 1 のひとり親世帯が 59.1%と最も高くなっています。「苦しい」(「大変苦しい」+「やや苦しい」)は、いずれの学年・世帯においても 2 割以上となっており、中 2 のひとり親世帯が 27.4%と最も高くなっています。「ゆとりがある」(「ややゆとりがある」+「大変ゆとりがある」)では、小 5 のひとり親世帯が 32.0%と最も高くなっています。

図表 37-2 15 歳頃の家庭の暮らし向き



## 6. 7 現在の暮らしについて

### (1) 家庭の現在の暮らし向き

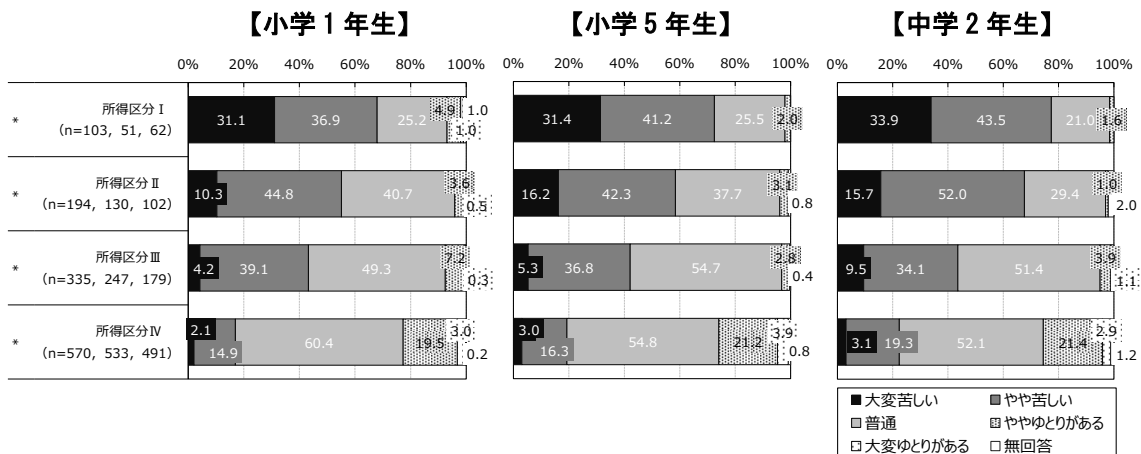
【小学1年生：問30、小学5年生・中学2年生：問26】

あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。  
 あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

#### 《所得区分別》

家庭の現在の暮らし向きについては、いずれの学年においても、所得区分Ⅰ・Ⅱでは「やや苦しい」の割合が最も高くなっており、所得区分ⅢとⅣでは「普通」が最も高くなっています。「大変苦しい」では、いずれの学年においても、所得区分Ⅰが3割を超えています。「ゆとりがある」（「ややゆとりがある」＋「大変ゆとりがある」）では、いずれの学年においても、所得区分Ⅳで2割以上となっており、小5の25.1%が最も高くなっています。

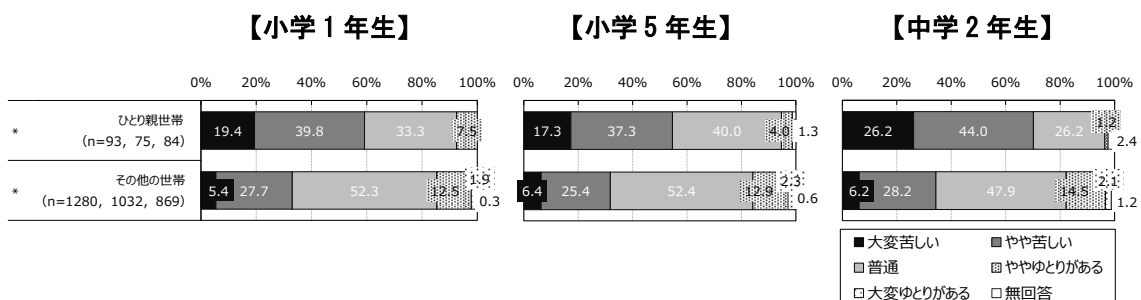
図表 38-1 家庭の現在の暮らし向き



#### 《世帯別》

家庭の現在の暮らし向きについては、いずれの学年においても、ひとり親世帯では「苦しい」（「大変苦しい」＋「やや苦しい」）の割合が半数以上となっており、中2が70.2%と最も高くなっています。一方、いずれの学年においても、その他の世帯では「普通」の割合が高く、小5が52.4%と最も高くなっています。「ゆとりがある」（「ややゆとりがある」＋「大変ゆとりがある」）では、いずれの学年においても、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が割合は高く、中2が16.6%と最も高くなっています。

図表 38-2 家庭の現在の暮らし向き



## (2) 家庭の通常の家計状況

【小学1年生：問31、小学5年生・中学2年生：問27】

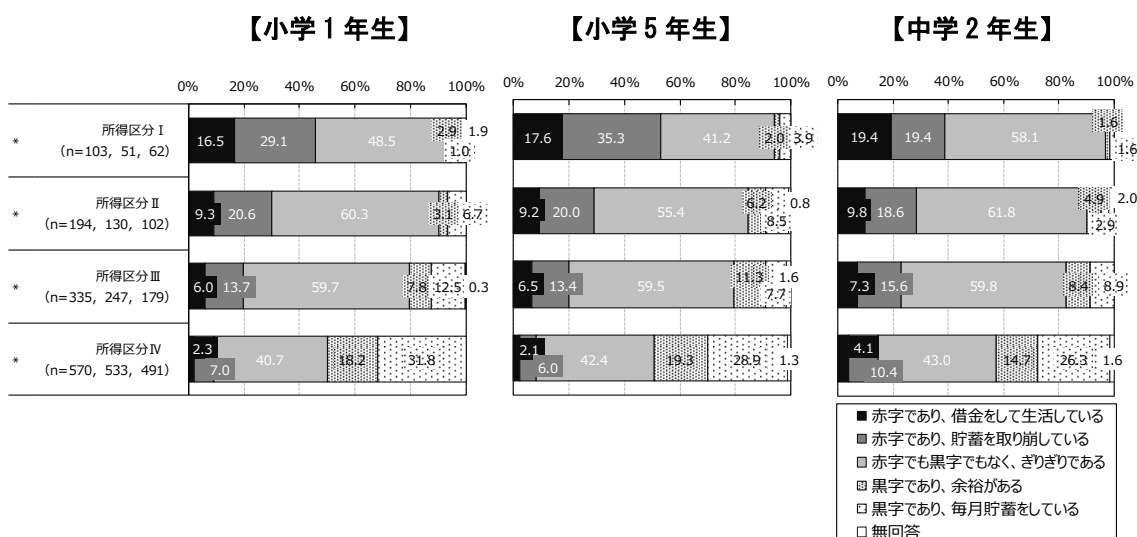
あなたのご家庭の通常の家計について、もっとも近いものに○をつけてください。

(○はひとつ) ※なお、住宅ローンの支払いなどは貯蓄ではなく、支出としてください。

### 《所得区分別》

家庭の通常の家計状況については、いずれの学年・所得区分においても「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」の割合が最も高くなっています。「赤字であり、借金をして生活している」は、いずれの学年において、も所得区分Ⅰで1割以上おり、中2が19.4%と最も高くなっています。「赤字であり、貯蓄を取り崩している」では、所得が低いほど割合が高くなっており、小5の所得区分Ⅰが35.3%と最も高くなっています。一方、「黒字である」(「黒字であり、余裕がある」+「黒字であり、毎月貯蓄をしている」)では、いずれの学年においても、所得が上がるにつれて割合が高くなっており、小1の所得区分Ⅳが50.0%と半数になっています。

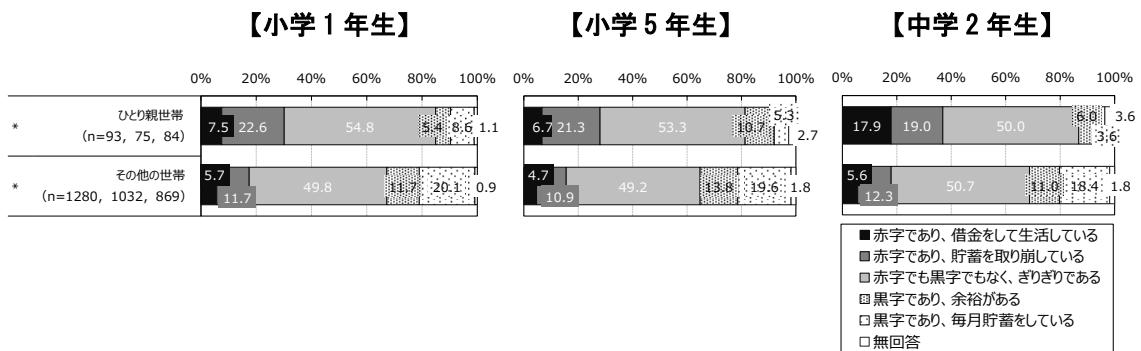
図表 39-1 家庭の通常の家計状況



《世帯別》

家庭の通常の家計状況については、いずれの学年・世帯においても「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」が最も高く、小1のひとり親世帯が54.8%と最も高くなっています。「赤字である」（「赤字であり、借金をして生活している」＋「赤字であり、貯蓄を取り崩している」）では、いずれの学年においても、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高く、中2が36.9%と最も高くなっています。一方、「黒字である」（「黒字であり、余裕がある」＋「黒字であり、毎月貯蓄をしている」）では、いずれの学年においても、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が割合は高く、小5が33.4%と最も高くなっています。

図表 39-2 家庭の通常の家計状況





(3) 経済的な理由から食料や衣料が買えないことがあったか

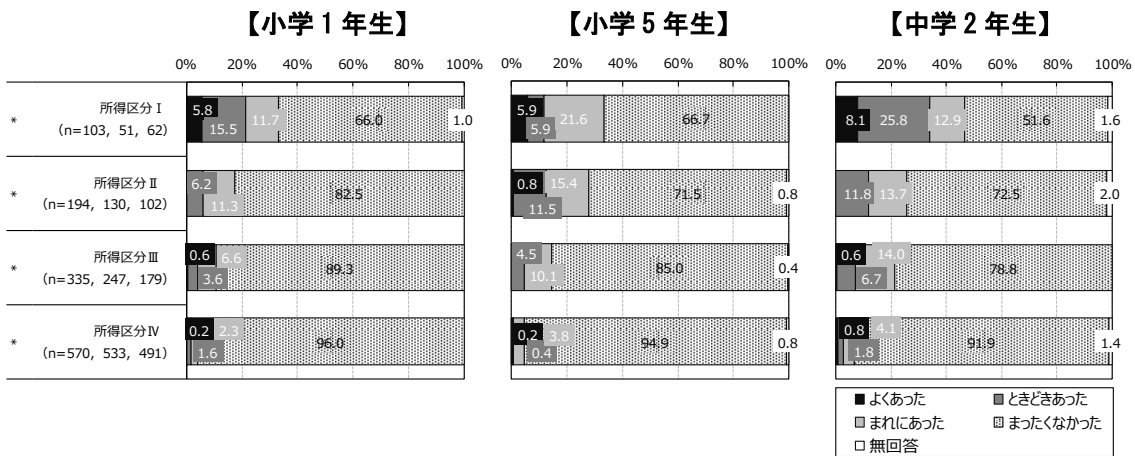
【小学1年生：問32、小学5年生・中学2年生：問28】  
 あなたの世帯では、過去1年間の間に、経済的な理由で家族が必要とする食料や衣料（嗜好品は含みません）が買えないことがありましたか。  
 あてはまるものに○をつけてください。（○はそれぞれひとつ）

(3-1) A 食料が買えなかった経験

《所得区分別》

食料が買えなかった経験については、いずれの学年・所得区分においても「まったくなかった」が最も高く、所得が上がるにつれて割合が高くなっています。所得区分Ⅳでは9割以上となっており、大半を占めています。「よくあった」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。「ややあった」（「ときどきあった」＋「まれにあった」）では、所得が低くなるほど割合が高くなっており、中2の所得区分Ⅰが38.7%と最も高くなっています。

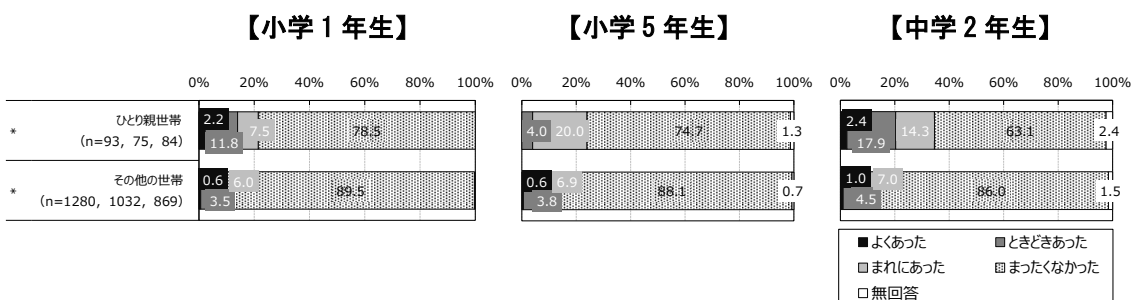
図表 40-1 A 食料が買えなかった経験



《世帯別》

食料が買えなかった経験については、いずれの学年・世帯においても「まったくなかった」が最も高く、その他の世帯では8割以上となっており、大半を占めています。「よくあった」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。「ややあった」（「ときどきあった」＋「まれにあった」）では、いずれの学年においても、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっており、中2が32.2%と最も高くなっています。

図表 40-2 A 食料が買えなかった経験

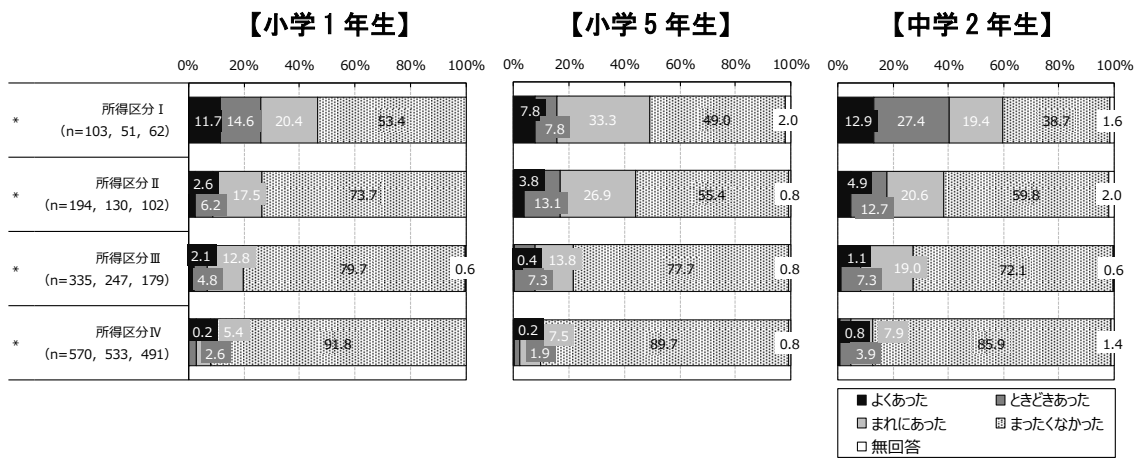


### (3-2) B 衣料が買えなかった経験

#### 《所得区分別》

衣料が買えなかった経験については、いずれの学年・所得区分においても「まったくなかった」が最も高く、所得が上がるにつれて割合が高くなっています。いずれの学年においても、所得区分Ⅳでは8割以上となっており、大半を占めています。「よくあった」では、小1と中2の所得区分Ⅰで1割以上となっています。「ややあった」「ときどきあった」+「まれにあった」では、いずれの学年においても所得が低くなるほど割合が高くなっており、中2の所得区分Ⅰが46.8%と最も高くなっています。

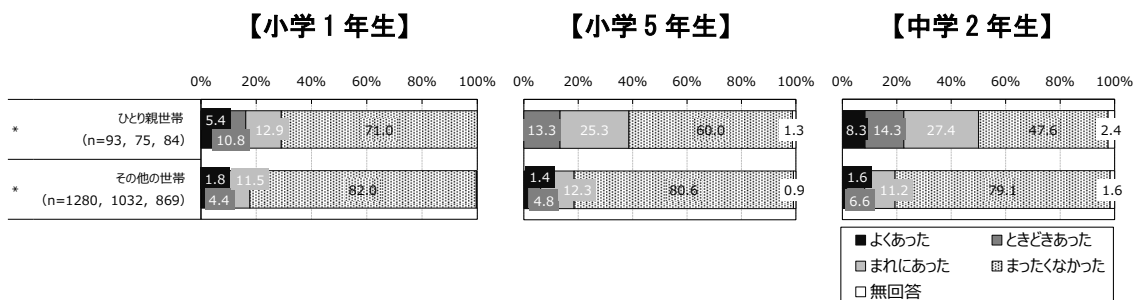
図表 40-3 B 衣料が買えなかった経験



#### 《世帯別》

衣料が買えなかった経験については、中2のひとり親世帯を除き、いずれの学年・世帯においても「まったくなかった」の割合が6割を超えています。小1と小5のその他の世帯では、8割を超えており、大半を占めています。「よくあった」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。「ややあった」「ときどきあった」+「まれにあった」では、いずれの学年においても、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっており、中2が41.7%と最も高くなっています。

図表 40-4 B 衣料が買えなかった経験



(4) 経済的な理由から月々の支払い、家賃・住宅ローンの滞納、債務の返済ができなかったことがあったか

【小学1年生：問33、小学5年生・中学2年生：問29】

あなたの世帯では、過去1年間の間に、経済的な理由で月々の料金の支払い、家賃・住宅ローンの滞納、債務の返済ができないことがありましたか。

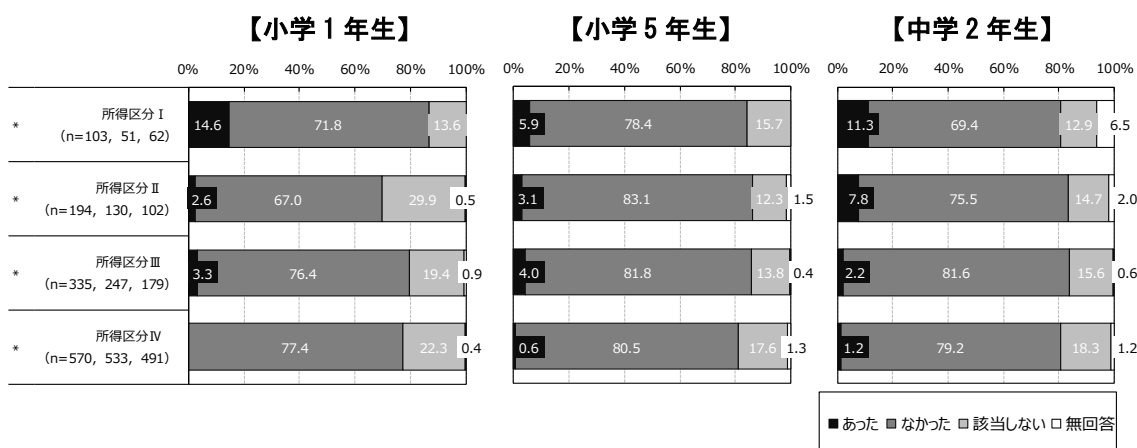
A～Hについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

(4-1) A 電気料金の未払い

《所得区分別》

電気料金の未払いについては、いずれの学年・所得区分においても「なかった」が最も高くなっており、大半を占めています。「あった」では、小1と中2の所得区分Iで1割以上となっています。

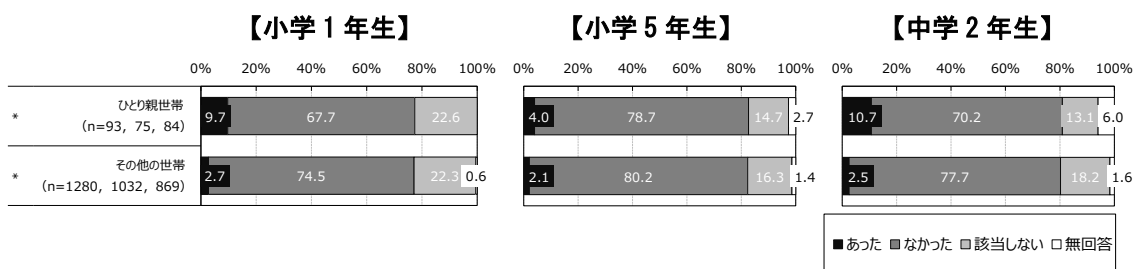
図表 41-1 A 電気料金の未払い



《世帯別》

電気料金の未払いについては、該当しないを除き、いずれの学年・世帯においても「なかった」が最も高くなっており、大半を占めています。「あった」では、中2のひとり親世帯が10.7%となっており、他の学年・世帯ではいずれも1割未満となっています。

図表 41-2 A 電気料金の未払い

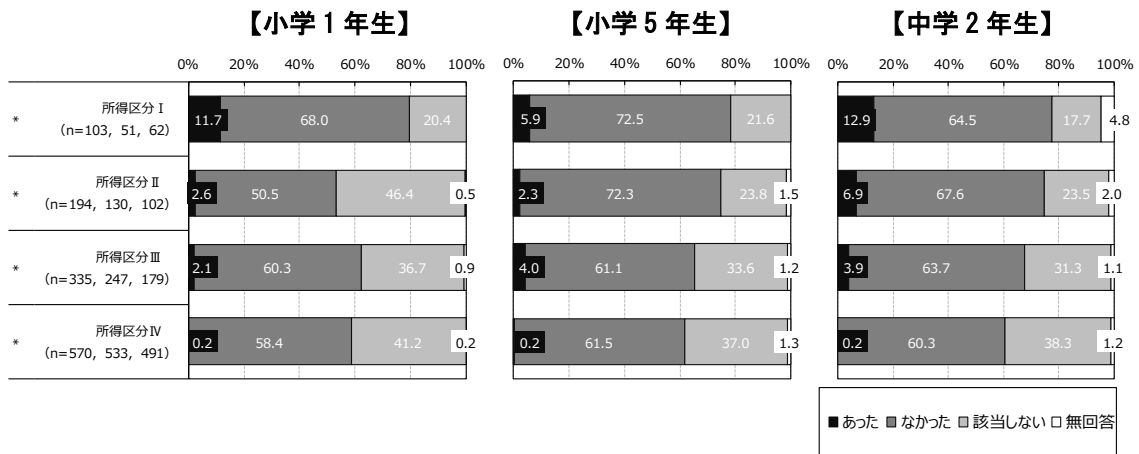


## (4-2) B ガス料金の未払い

### 《所得区分別》

ガス料金の未払いについては、いずれの学年・所得区分においても「なかった」が最も高くなっており、該当しないを除くと大半を占めています。「あった」では、小1と中2の所得区分Ⅰで1割以上となっています。

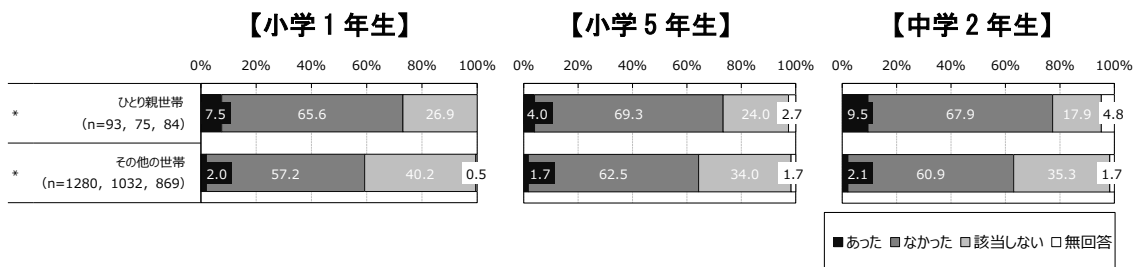
図表 41-3 B ガス料金の未払い



### 《世帯別》

ガス料金の未払いについては、該当しないを除き、いずれの学年・世帯においても「なかった」が最も高くなっており、大半を占めています。「あった」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 41-4 B ガス料金の未払い

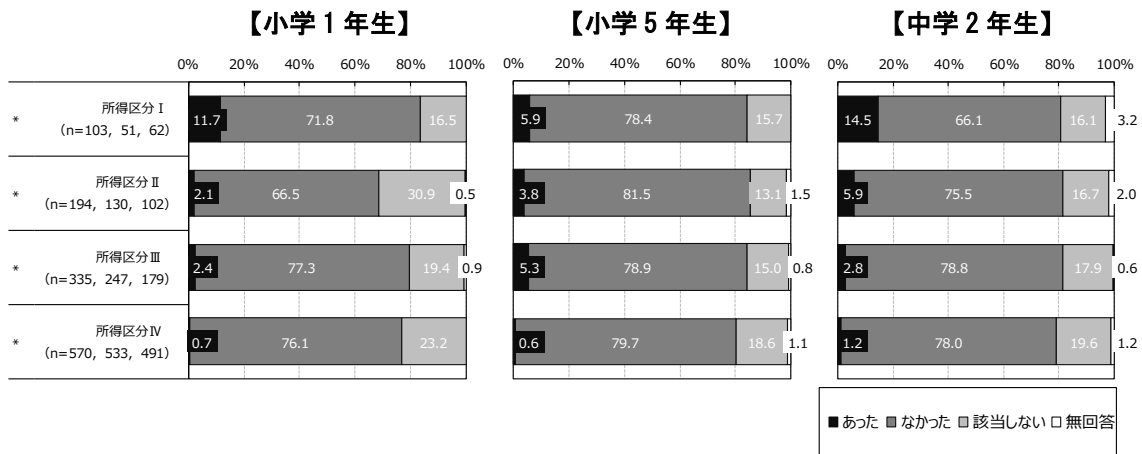


(4-3) C 水道料金の未払い

《所得区分別》

水道料金の未払いについては、いずれの学年・所得区分においても「なかった」が最も高くなっており、該当しないを除くと大半を占めています。「あった」では、小1と中2の所得区分Iで1割以上となっています。

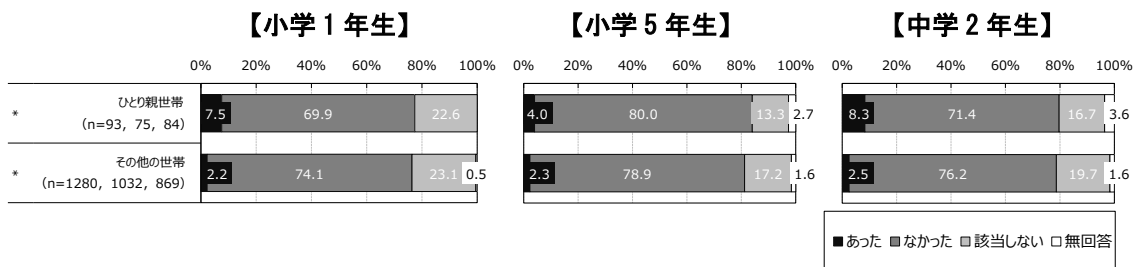
図表 41-5 C 水道料金の未払い



《世帯別》

水道料金の未払いについては、該当しないを除き、いずれの学年・世帯においても「なかった」が最も高くなっており、大半を占めています。「あった」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 41-6 C 水道料金の未払い

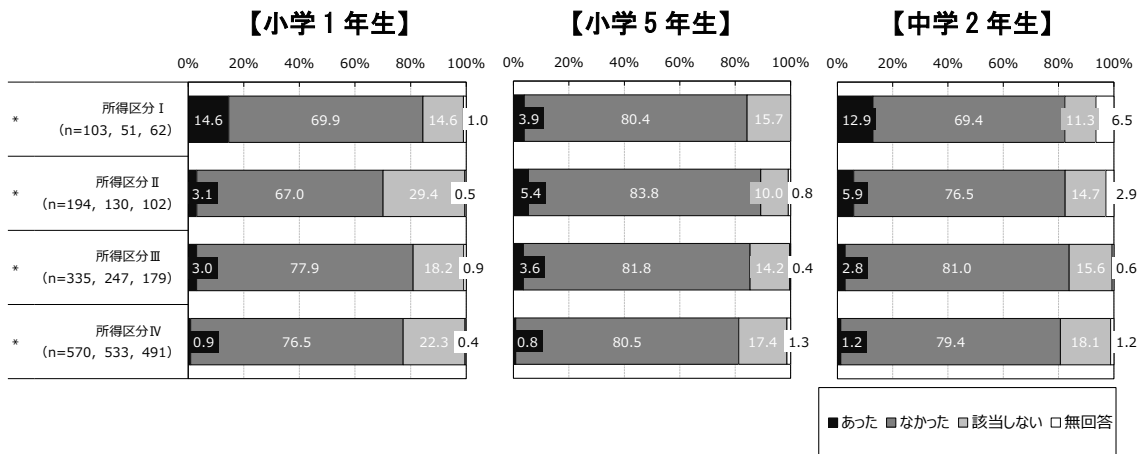


(4-4) D 電話料金の未払い

《所得区分別》

電話料金の未払いについては、いずれの学年・所得区分においても「なかった」が最も高くなっており、該当しないを除くと大半を占めています。「あった」では、小1と中2の所得区分Iで1割以上となっています。

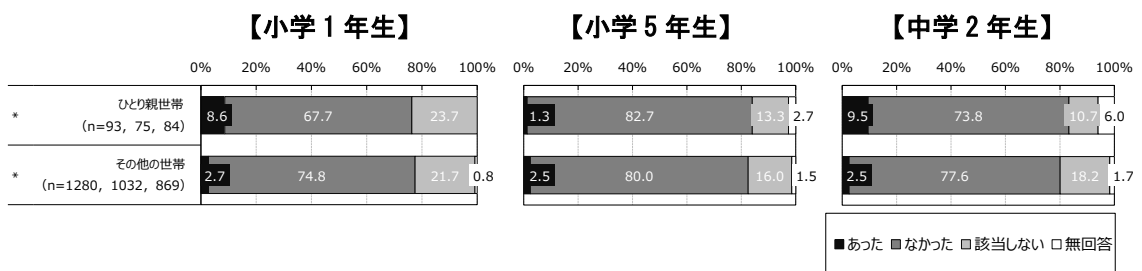
図表 41-7 D 電話料金の未払い



《世帯別》

電話料金の未払いについては、該当しないを除き、いずれの学年・世帯においても「なかった」が最も高くなっており、大半を占めています。「あった」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 41-8 D 電話料金の未払い

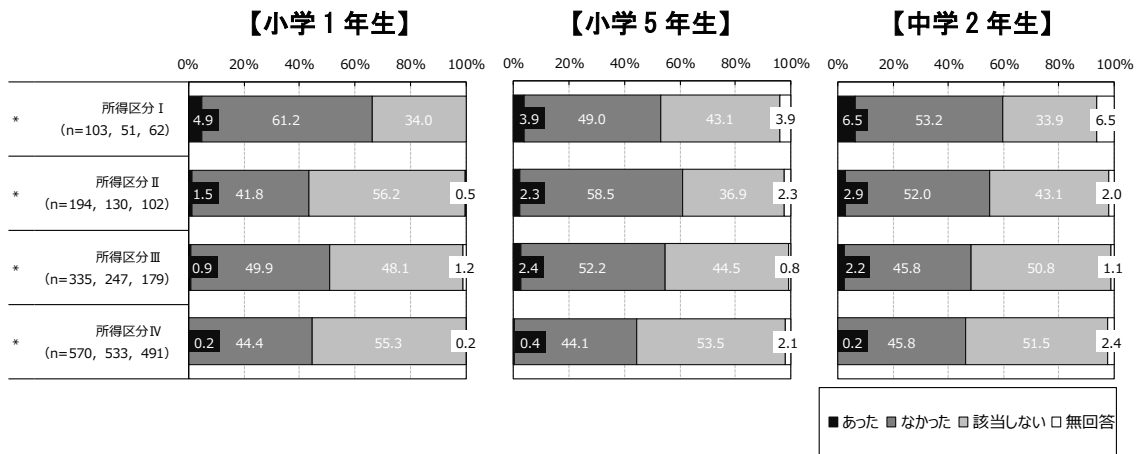


(4-5) E 家賃の滞納

《所得区分別》

家賃の滞納については、該当しないを除き、いずれの学年・所得区分においても「なかった」が最も高くなっています。「あった」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

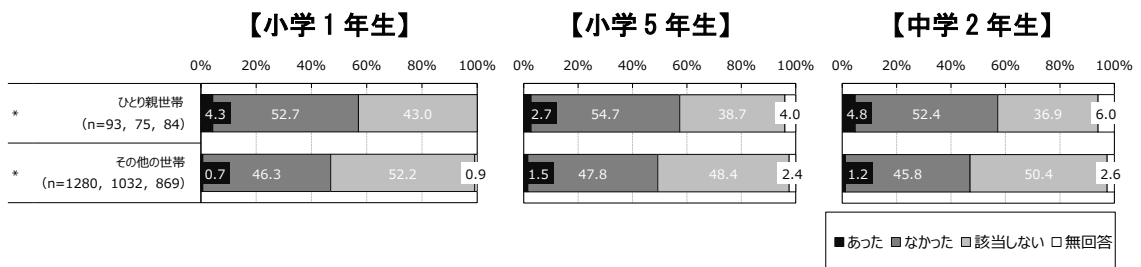
図表 41-9 E 家賃の滞納



《世帯別》

家賃の滞納については、該当しないを除き、いずれの学年・世帯においても「なかった」が最も高くなっており、大半を占めています。「あった」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

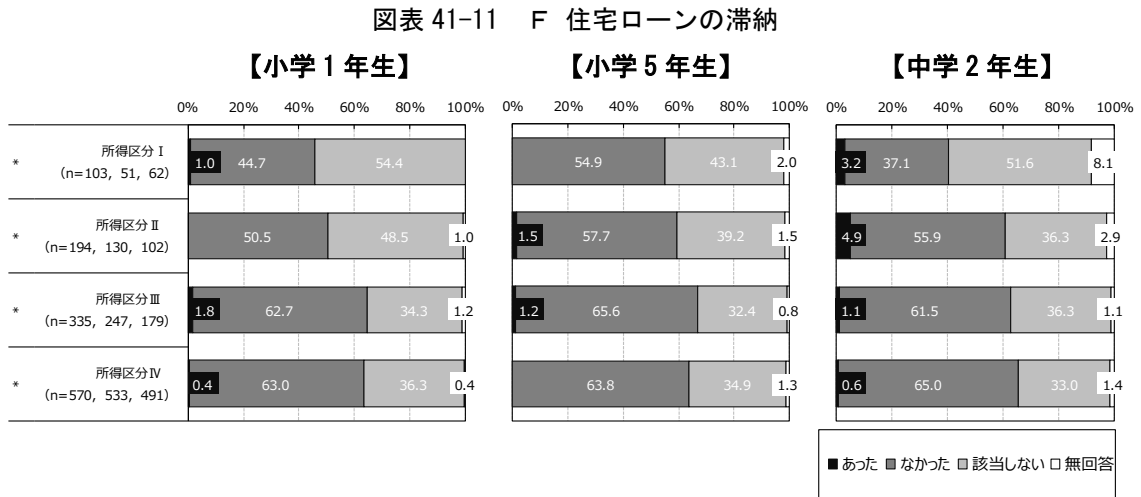
図表 41-10 E 家賃の滞納



## (4-6) F 住宅ローンの滞納

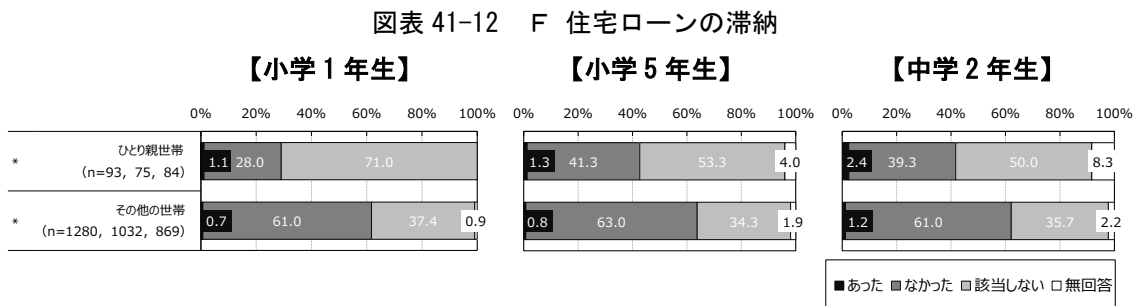
### 《所得区分別》

住宅ローンの滞納については、該当しないを除き、いずれの学年・所得区分においても「なかった」が最も高くなっています。「あった」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。



### 《世帯別》

住宅ローンの滞納については、該当しないを除き、いずれの学年・世帯においても「なかった」が最も高くなっており、大半を占めています。「あった」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。



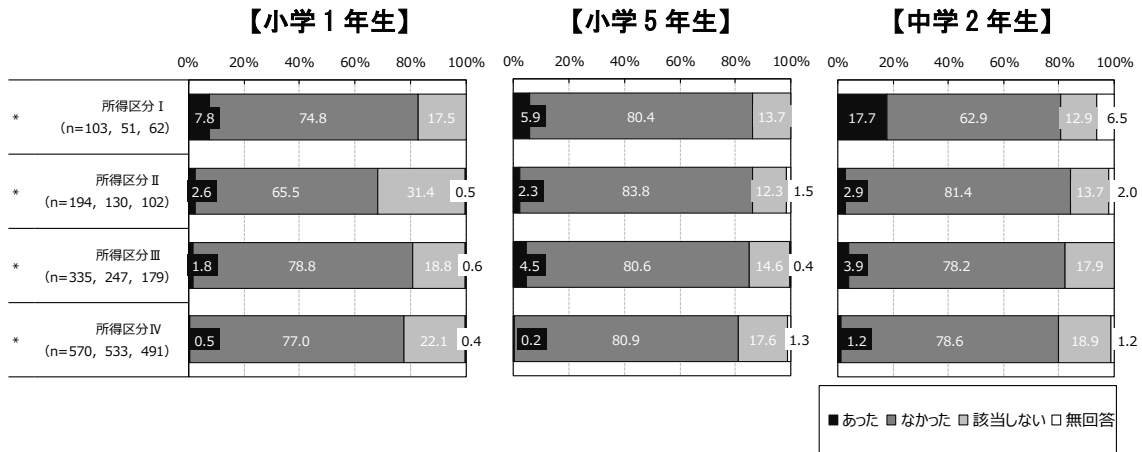


(4-7) G 給食費の滞納

《所得区分別》

給食費の滞納については、いずれの学年・所得区分においても「なかった」が最も高くなっており、該当しないを除くと大半を占めています。「あった」では、中2の所得区分Ⅰのみ1割以上となっています。

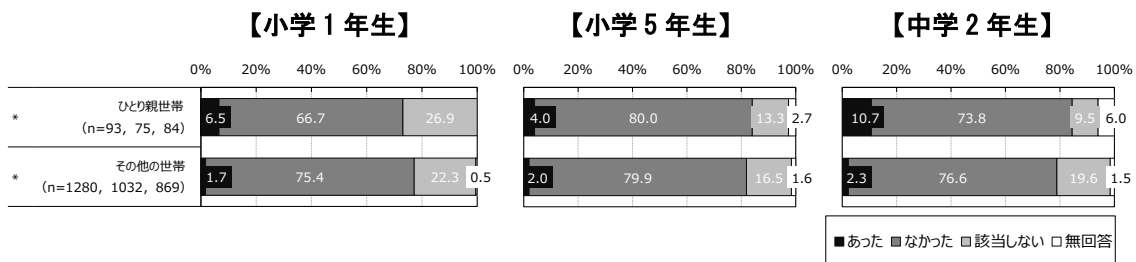
図表 41-13 G 給食費の滞納



《世帯別》

給食費の滞納については、該当しないを除き、いずれの学年・世帯においても「なかった」が最も高くなっており、大半を占めています。「あった」では、中2のひとり親世帯で10.7%となっており、他の学年・世帯ではいずれも1割未満となっています。

図表 41-14 G 給食費の滞納

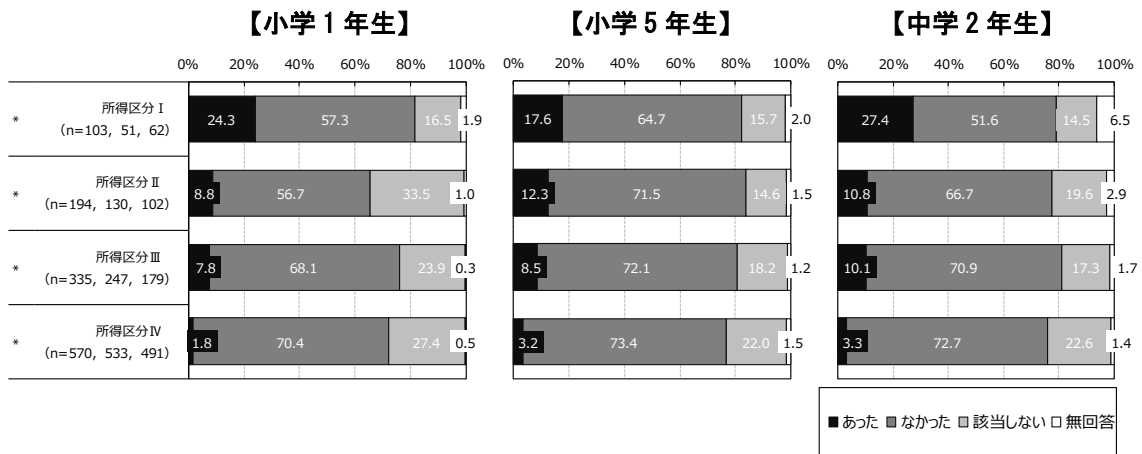


(4-8) H その他の未払い

《所得区分別》

その他の未払いについては、いずれの学年・所得区分においても「なかった」が最も高くなっており、該当しないを除くと大半を占めています。「あった」では、小1と中2の所得区分Ⅰで2割以上となっています。

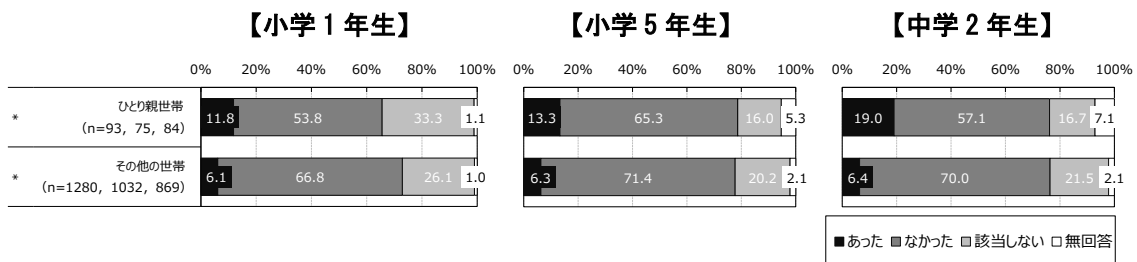
図表 41-15 H その他の未払い



《世帯別》

その他の未払いについては、該当しないを除き、いずれの学年・世帯においても「なかった」が最も高くなっており、大半を占めています。「あった」では、いずれの学年においても、ひとり親世帯が1割以上となっており、その他の世帯では1割未満となっています。

図表 41-16 H その他の未払い



## 6. 8 支出について

### (1) 子ども 1 人の学校以外の教育費

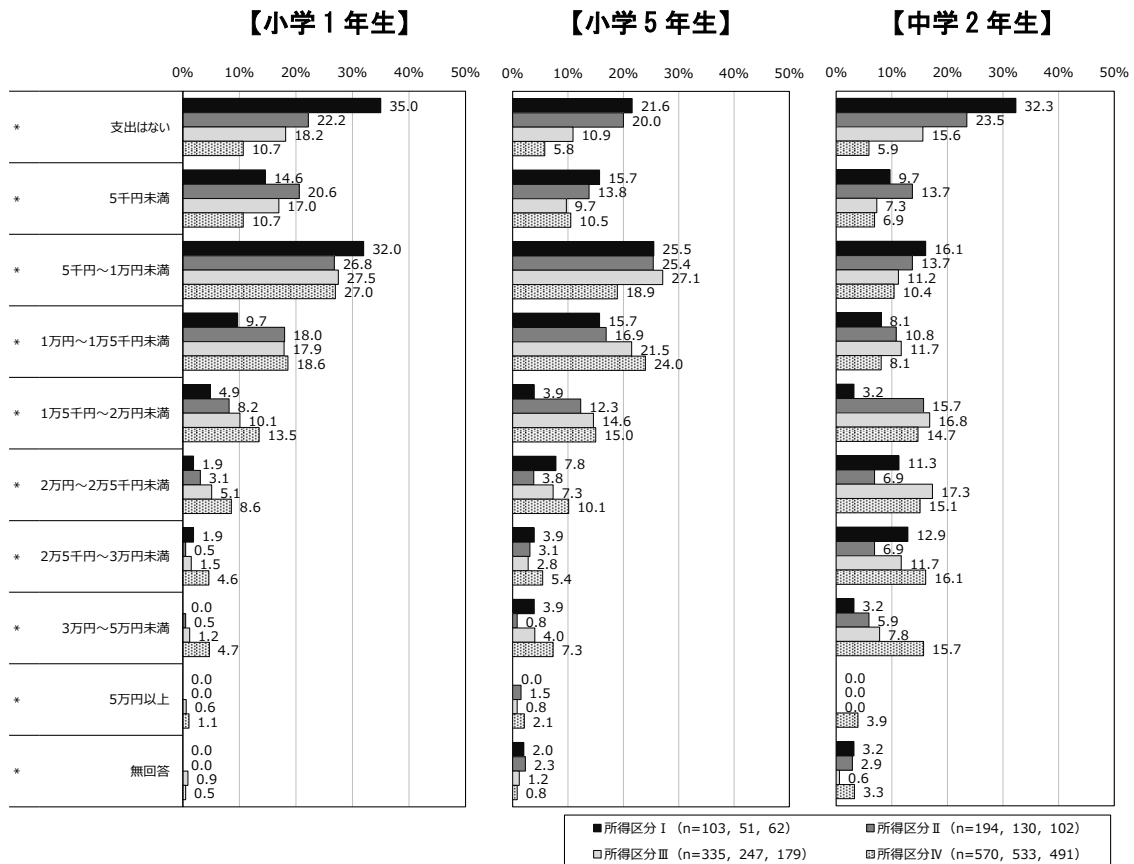
【小学 1 年生：問 42、小学 5 年生・中学 2 年生：問 38】

このアンケート調査の対象となっているお子さん 1 人について、学校以外の教育（学習塾や習い事）にかかる 1 ヶ月あたりの平均の支出はどれくらいですか。  
 あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

#### 《所得区分別》

子ども 1 人の学校以外の教育費については、小 1 の所得区分 I では「支出はない」が 35.0%と最も高く、「5 千円～1 万円未満」では、所得区分 II が 26.8%・III が 27.5%・IV が 27.0%とそれぞれ最も高くなっています。小 5 では「5 千円～1 万円未満」で所得区分 I が 25.5%・II が 25.4%・III が 27.1%とそれぞれ最も高く、所得区分 IV では「1 万円～1 万 5 千円未満」が 24.0%と最も高くなっています。中 2 では「支出はない」で所得区分 I が 32.3%・II が 23.5%とそれぞれ最も高く、所得区分 III では「2 万円～2 万 5 千円未満」が 17.3%、所得区分 IV では「2 万 5 千円～3 万円未満」が 16.1%とそれぞれ最も高くなっています。

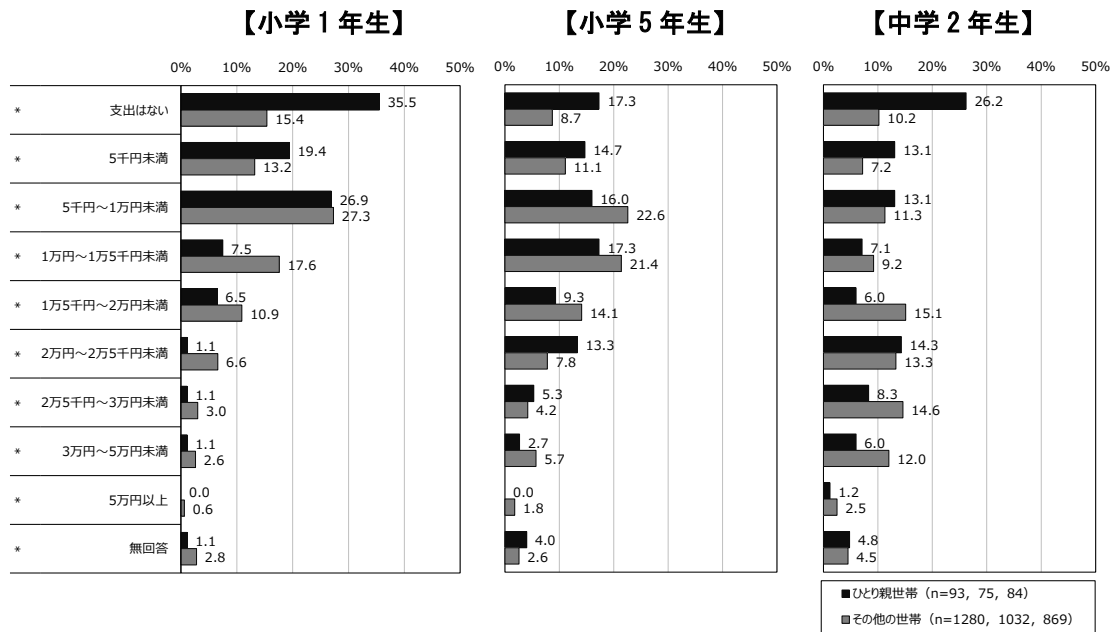
図表 42-1 子ども 1 人の学校以外の教育費



《世帯別》

子ども1人の学校以外の教育費については、小1のひとり親世帯では「支出はない」が35.5%と最も高く、その他の世帯では「5千円～1万円未満」が27.3%と最も高くなっています。小5のひとり親世帯では「支出はない」、「1万円～1万5千円未満」が17.3%とそれぞれ最も高く、その他の世帯では「5千円～1万円未満」が22.6%と最も高くなっています。中2のひとり親世帯では「支出はない」が26.2%と最も高く、その他の世帯では「1万5千円～2万円未満」が15.1%と最も高くなっています。いずれの学年においても、ひとり親世帯では「支出はない」の割合が高くなっています。

図表 42-2 子ども1人の学校以外の教育費



## 6.9 お子さんへの支援について

### (1) 利用したいと思うもの

【小学1年生：問43-1、小学5年生・中学2年生：問39-1】

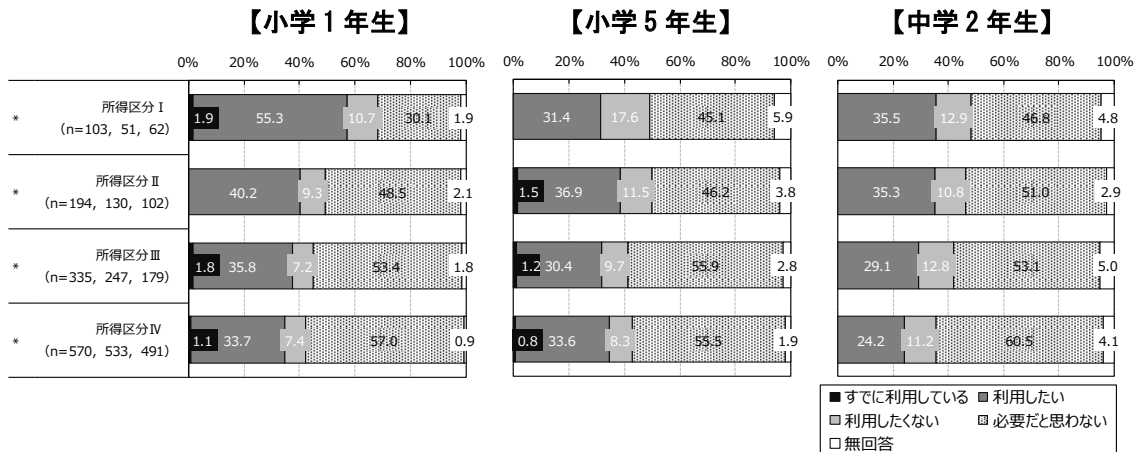
次のうち、利用したいと思うものについて、あてはまるものに○をつけてください。  
(それぞれ○はひとつ)

#### (1-1) A 子ども食堂

##### 《所得区分別》

子ども食堂については、「すでに利用している」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。「利用したい」では、小1の所得区分Ⅰが55.3%と最も高く、半数を超えています。「利用したくない」では、小5の所得区分Ⅰが17.6%と最も高くなっています。「必要だと思わない」では、いずれの学年においても、所得が上がるにつれて割合が高くなる傾向があり、所得区分ⅢとⅣでは半数を超えています。

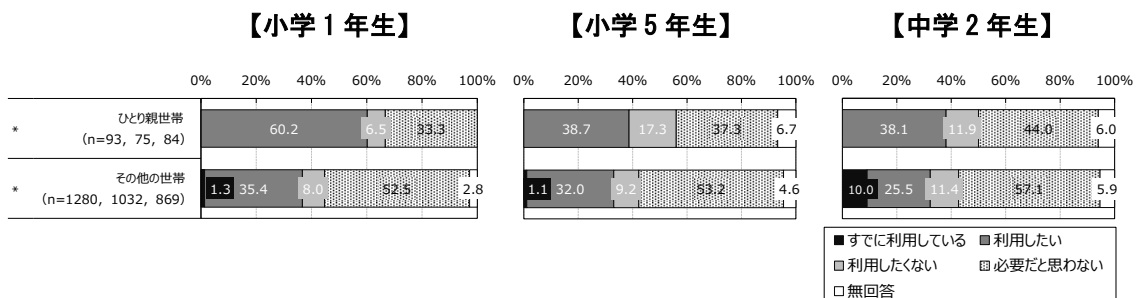
図表 43-1 A 子ども食堂



##### 《世帯別》

子ども食堂については、「すでに利用している」では、中2のその他の世帯で10.0%となっており、他の学年・世帯では、いずれも1割未満となっています。「利用したい」では、小1のひとり親世帯のみ60.2%となっており、半数を超えています。「利用したくない」では、小5のひとり親世帯が17.3%と最も高くなっています。「必要だと思わない」では、いずれの学年においても、その他の世帯で半数以上となっており、中2が57.1%と最も高くなっています。

図表 43-2 A 子ども食堂

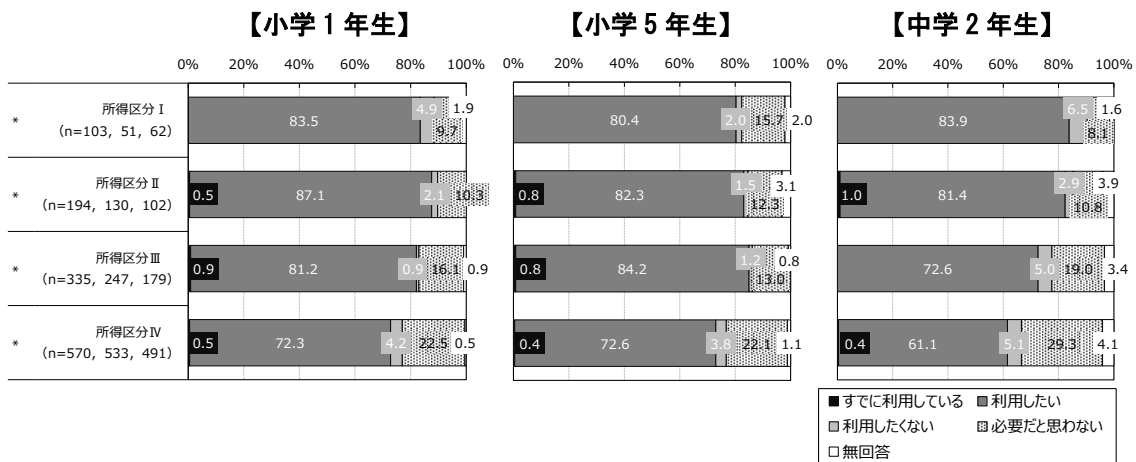


(1-2) B 子どものための無料の学習塾

《所得区分別》

子どものための無料の学習塾については、「すでに利用している」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。「利用したい」では、いずれの学年・所得区分においても最も高くなっていますが、中2の所得区分IVでは約6割となっています。「利用したくない」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。「必要だと思わない」では、所得が上がるにつれて高くなる傾にあり、中2の所得区分IVでは29.3%と最も高くなっています。

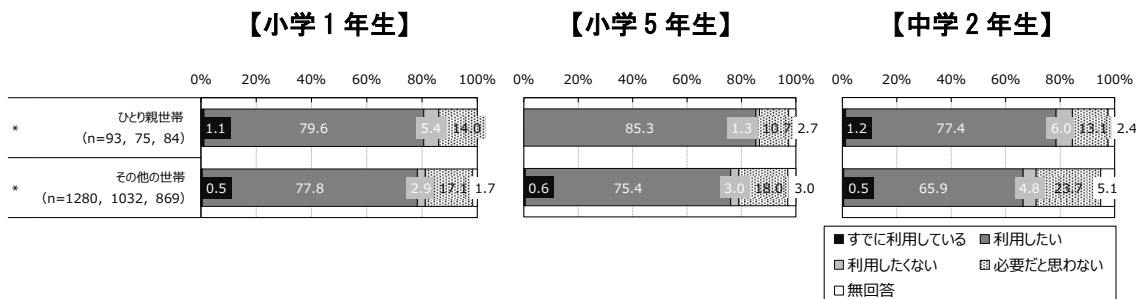
図表 43-3 B 子どものための無料の学習塾



《世帯別》

子どものための無料の学習塾については、「すでに利用している」、「利用したくない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。「利用したい」では、いずれの学年・世帯においても割合は高くなっており、小5のひとり親世帯が85.3%と最も高くなっています。「必要だと思わない」では、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が割合は高くなっており、中2が23.7%と最も高くなっています。

図表 43-4 B 子どものための無料の学習塾

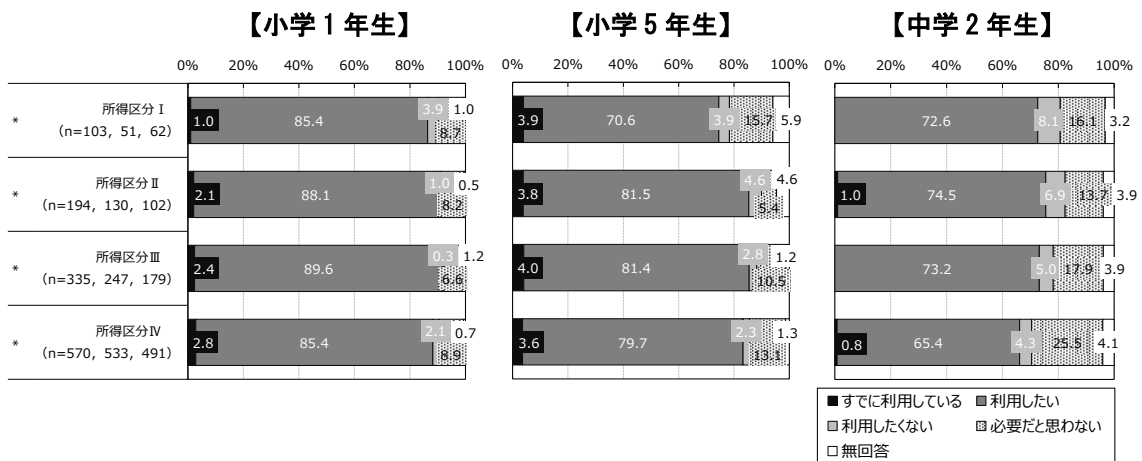


(1-3) C 子どものための無料の体験活動

《所得区分別》

子どものための無料の体験活動については、「すでに利用している」、「利用したくない」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。「利用したい」では、いずれの所得区分においても小1が最も高く、学年が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。一方「必要だと思わない」では、学年が上がるにつれて割合が高くなる傾向があり、中2の所得区分IVが25.5%と最も高くなっています。

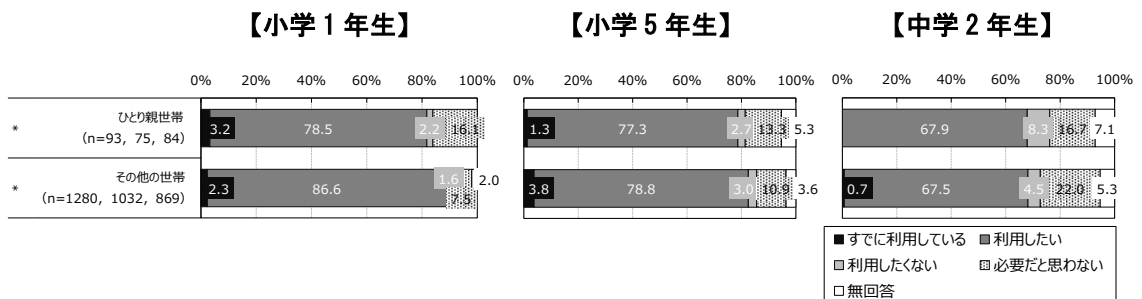
図表 43-5 C 子どものための無料の体験活動



《世帯別》

子どものための無料の体験活動については、「すでに利用している」、「利用したくない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。「利用したい」では、いずれの学年・世帯においても、割合は最も高くなっていますが、学年が上がるにつれて割合は低くなっています。「必要だと思わない」では、中2のその他の世帯が22.0%と最も高くなっています。

図表 43-6 C 子どものための無料の体験活動



(2) 利用したくない・必要だと思わない理由

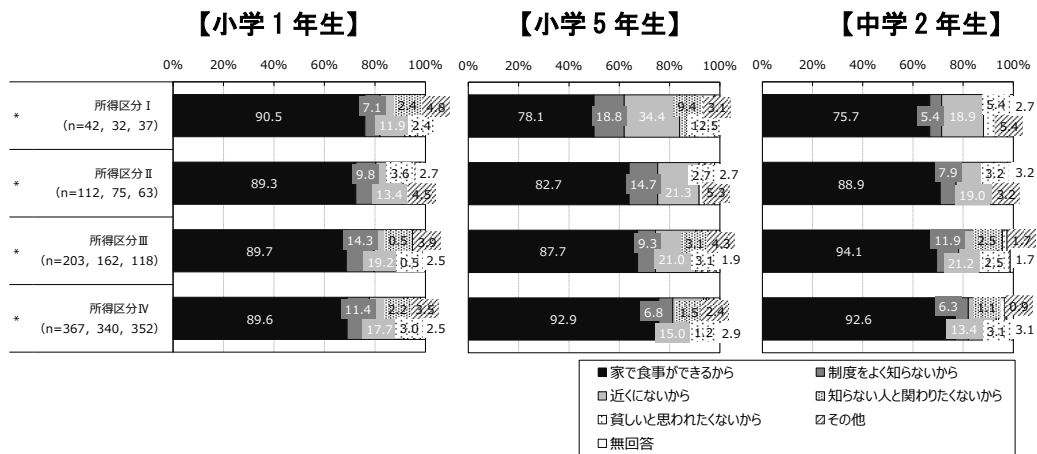
【小学1年生：問43-2、小学5年生・中学2年生：問39-2】  
 ※問43-1（問39-1）で「1 利用したくない」「4 必要だと思わない」と回答した方に伺います。その理由としてあてはまるものに○をつけてください。  
 （○はいくつでも） ※複数回答

(2-1) A 子ども食堂

《所得区分別》

子ども食堂については、いずれの学年・所得区分においても「家で食事ができるから」が最も高くなっています。「制度をよく知らないから」では、小5の所得区分Iが18.8%と最も高くなっています。「近くはないから」では、いずれの学年・所得区分においても1割以上となっており、小5の所得区分Iが34.4%と最も高くなっています。「知らない人と関わりたくないから」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。「貧しいと思われたくないから」では、小5の所得区分Iが12.5%、他の所得区分が1割未満となっています。

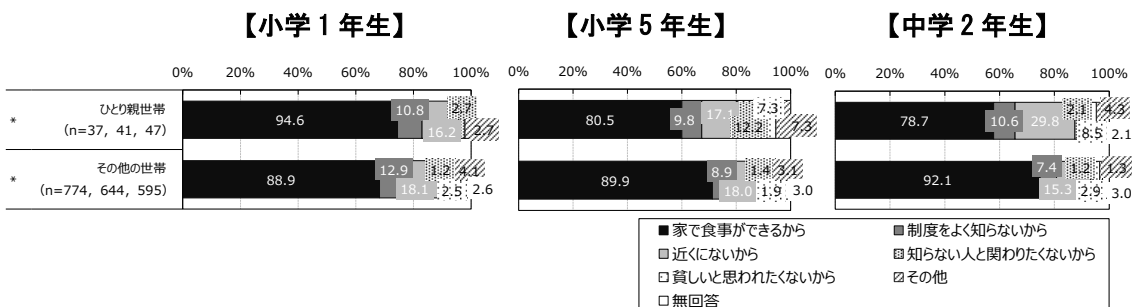
図表 44-1 A 子ども食堂



《世帯別》

子ども食堂については、いずれの学年・世帯においても「家で食事ができるから」が最も高く、大半を占めています。「制度をよく知らないから」では、小1のその他の世帯が12.9%と最も高くなっています。「近くはないから」では、中2のひとり親世帯が29.8%と最も高くなっています。「知らない人と関わりたくないから」では、小5のひとり親世帯が12.2%となっており、他の学年・世帯においては1割未満となっています。「貧しいと思われたくないから」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 44-2 A 子ども食堂



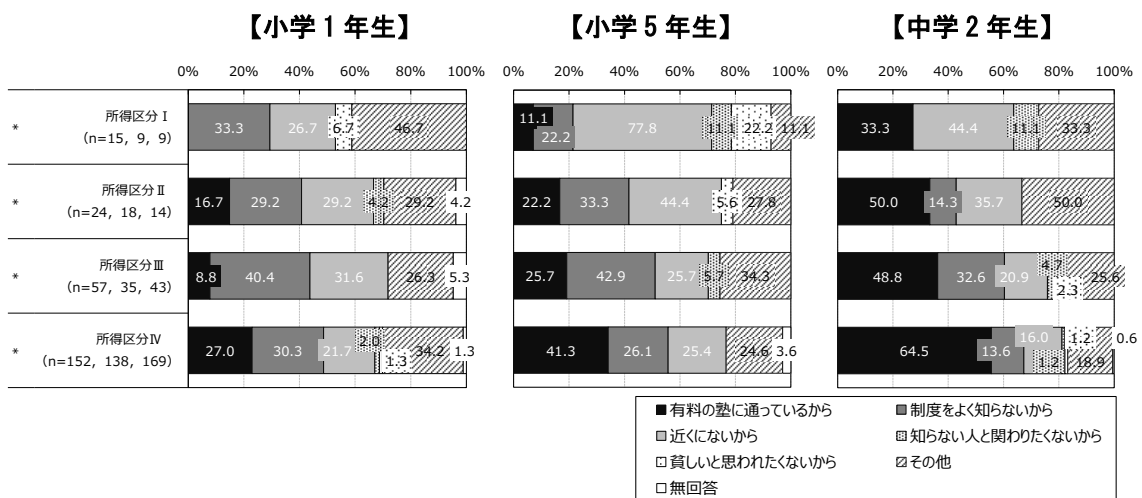


(2-2) B 子どものための無料の学習塾

《所得区分別》

子どものための無料の学習塾については、いずれの所得区分においても学年が上がるにつれて「有料の塾に通っているから」の割合が高くなる傾向があり、中2の所得区分Ⅳが64.5%と最も高くなっています。「制度をよく知らないから」では、いずれの学年においても、所得区分Ⅲが最も高くなっており、小5が42.9%となっています。「近くにないから」では、小5の所得区分Ⅰが77.8%と最も高くなっています。「知らない人と関わりたくないから」では、小5と中2の所得区分Ⅰがそれぞれ11.1%となっています。「貧しいと思われたくないから」では、小5の所得区分Ⅰが22.2%と最も高くなっています。

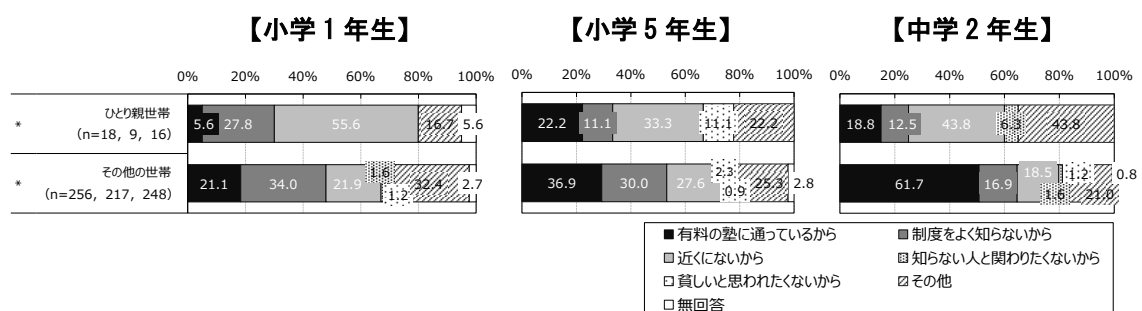
図表 44-3 B 子どものための無料の学習塾



《世帯別》

子どものための無料の学習塾については、「有料の塾に通っているから」では、中2のその他の世帯のみ半数を超えており、61.7%と最も高くなっています。「制度をよく知らないから」では、いずれの学年においても、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が割合は高くなっており、小1が34.0%と最も高くなっています。「近くにないから」では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高く、小1が55.6%と最も高くなっています。「知らない人と関わりたくないから」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。「貧しいと思われたくないから」では、小5のひとり親世帯が11.1%となっており、他の学年・世帯では1割未満となっています。

図表 44-4 B 子どものための無料の学習塾

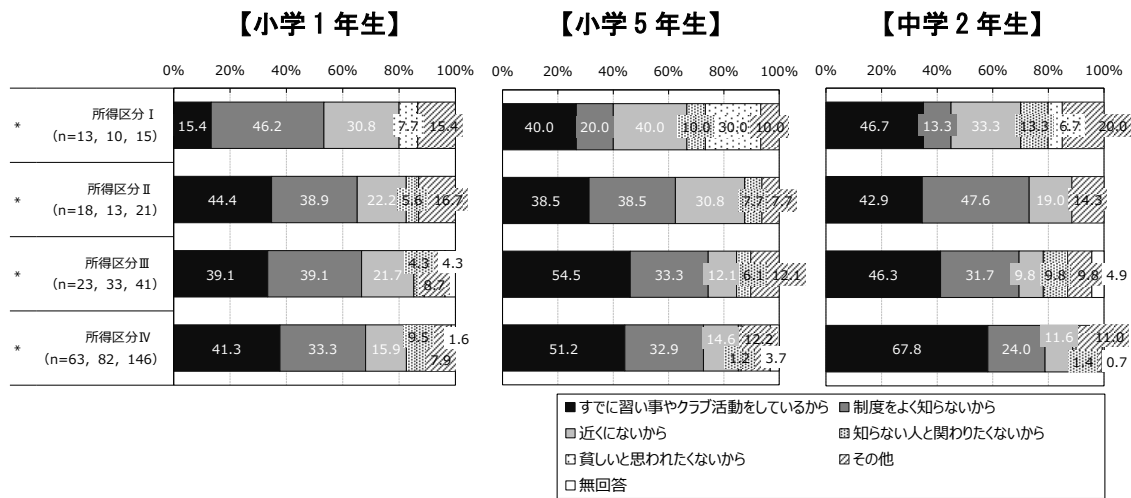


(2-3) C 子どものための無料の体験活動

《所得区分別》

子どものための無料の体験活動については、「すでに習い事やクラブ活動をしているから」では、中2の所得区分Ⅳが67.8%と最も高くなっています。「制度をよく知らないから」は、中2の所得区分Ⅱが47.6%と最も高くなっています。「近くにないから」では、小5の所得区分Ⅰが40.0%と最も高くなっています。「知らない人と関わりたくないから」では、小5と中2の所得区分Ⅰがおよそ1割、他の所得区分では1割未満となっています。「貧しいと思われたくないから」では、小5の所得区分が3割、他の所得区分では1割未満となっています。

図表 44-5 C 子どものための無料の体験活動



《世帯別》

子どものための無料の体験活動については、「すでに習い事やクラブ活動をしているから」では、いずれの学年においても、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が割合は高く、中2が60.4%と最も高くなっています。「制度をよく知らないから」では、いずれの世帯においても、小1で4割を超えており、ひとり親世帯が47.1%と最も高くなっています。「近くにないから」では、小5のひとり親世帯が33.3%と最も高くなっています。「知らない人と関わりたくないから」では、中2のひとり親世帯が14.3%となっており、他の学年・世帯では1割未満となっています。「貧しいと思われたくないから」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 44-5 C 子どものための無料の体験活動

